

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第223集

ひめした よせじま しもかけ
姫下遺跡Ⅱ・寄島遺跡Ⅱ・下懸遺跡Ⅲ

2024

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

序

安城市は西三河平野の中心に所在します。戦前から農業を中心に発展し、「日本のデンマーク」と称されることもありました。近年では企業進出が進み工業発展が著しい状況です。このため人口増加、都市化が進み、道路建設、河川改修など各種インフラの整備が行われています。今回報告する三遺跡の調査はこれに伴うものであります。

姫下遺跡・寄島遺跡・下懸遺跡は鹿乗川流域遺跡群に含まれます。愛知県埋蔵文化財センターは平成10年より発掘調査に関わり、これまでに約6万㎡の調査を実施してまいりました。本調査により、新たな遺構・遺物が確認され、より一層この遺跡群の知見を深めるものとなりました。今後もこれらの遺跡の調査が予定されており、その礎となると思われます。本書により地域の歴史がなおいっそう明らかになることを期待するものです。

最後に発掘調査にあたりまして御理解、御協力をいただきました地元住民の方々をはじめ、関係者並びに関係機関に御礼を申し上げます。

令和6年3月

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
理事長 岡本範重

例言

1. 本書は愛知県安城市小川町地内に所在する姫下遺跡（遺跡番号 540121）寄島遺跡（遺跡番号 540124）下懸遺跡（遺跡番号 540127）の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は中小河川改良事業（鹿乗川）および緊急防災対策河川事業（鹿乗川）に伴うもので、愛知県建設局河川課から愛知県教育委員会および愛知県県民文化局を通じて委託され、公益財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センターが実施した。発掘調査の現場作業は株式会社ユニオン（姫下遺跡平成 26 年度および寄島遺跡平成 26 年度）株式会社アート（寄島遺跡平成 28 年度および下懸遺跡平成 28・30 年度）株式会社アコード（姫下遺跡令和 3 年度）に業務委託した。整理作業及び報告書作成は本センターが行った。
3. 調査期間は姫下遺跡平成 26 年 11 月～平成 27 年 3 月・令和 3 年 7 月～9 月 寄島遺跡平成 26 年 6 月～12 月・平成 29 年 1 月～2 月 下懸遺跡平成 29 年 1 月～2 月・平成 30 年 11 月～平成 31 年 1 月である。
4. 調査は武部真木、永井宏幸、酒井俊彦が担当した。
5. 調査に際して以下の関係機関から指導・協力を受けた。
愛知県教育委員会文化財保護室・愛知県埋蔵文化財調査センター・愛知県県民文化局・愛知県建設局河川課知立建設事務所
6. 遺物実測と実測図トレースについては株式会社四門に業務委託した。
7. 本書の編集と本文の執筆は、明示したものを除いて酒井俊彦が行った。
8. 今回の調査で使用した座標は、国土交通省告示に定められた国土座標（平面直角座標）第 VII 系に基づくものであり、海拔標高は T.P.（東京湾平均海面高度）による。
9. 調査記録（図面・写真資料・日誌等）は本センターが保管している。
10. 出土遺物は愛知県埋蔵文化財調査センターが保管している。
11. 調査及び本書の作成に当たり、次の諸氏に御指導・御助言を賜った。
伊藤秋男氏（南山大学名誉教授）

目次

第1章 調査の概要

第1節 調査の経緯と経過	
1.調査の経緯	1
2.調査の経過	1
第2節 遺跡の立地と環境	
1.地理的環境	4
2.歴史的環境	4

第2章 遺構

第1節 姫下遺跡	
平成26年度14区	7
令和3年度21区	23
第2節 寄島遺跡	
平成26年度14A区	27
平成26年度14B区	36
平成26年度14C区	44
平成26年度14D区	48
平成26年度14E区	49
第3節 寄島遺跡・下懸遺跡	
平成28年度16区	55
第4節 下懸遺跡	
平成30年度18A区・18B区	60

第3章 遺物

第1節 姫下遺跡	
平成26年度14区	64
令和3年度21区	65
第2節 寄島遺跡	
平成26年度14A区	70
平成26年度14B区	70
平成26年度14C区	71
平成26年度14D区	72
平成26年度14E区	72
第3節 寄島遺跡・下懸遺跡	
平成28年度16区	82
第4節 下懸遺跡	
平成30年度18A区・18B区	92

第4章 自然科学的分析

鹿乗川流域に分布する遺跡の地下の地層	96
--------------------	----

第5章 総括

鹿乗川流域の古墳時代前期集落	100
----------------	-----

図表目次

第1図 調査区位置図 (1/5000)	3	第48図 14E区中央部遺構の断面 (1/50)	52
第2図 遺跡位置図	5	第49図 002SD断面・013SD断面 (1/50)	53
第3図 周辺の道路	6	第50図 001NR北壁断面 (1/80)	53
第4図 基本層序	7	第51図 14E区全体図 (1/250)	54
第5図 021SK・143SK (1/50)	9	第52図 基本層序	55
第6図 097SI (1/50)	10	第53図 遺物出土位置断面 (1/50)	55
第7図 107SI・152SI (1/50)	11	第54図 調査区北半遺物出土位置 (1/100)	56
第8図 127SI (1/50)	12	第55図 調査区南半遺物出土位置 (1/40)	57
第9図 159SI・241SI・242SI・243SI・242SI (断面1/80平面1/100)	13	第56図 西壁断面 (1/80)	58
第10図 159SI・241SI・242SI・243SI・242SI断面 (1/80)	14	第57図 調査区全体図 (1/200)	59
第11図 244SI (1/50)	15	第58図 基本層序	61
第12図 279SB (1/50)	17	第59図 001SD (1/50)	61
第13図 280SB (1/50)	18	第60図 古墳時代堅穴建物・土坑 (1/50)	62
第14図 281SB (1/50)	19	第61図 調査区全体図 (1/250)	63
第15図 007NR (断面1/80平面1/200)	20	第62図 姫下遺跡14区出土土器1	66
第16図 上面遺構 (1/250)	21	第63図 姫下遺跡14区出土土器2	67
第17図 下面遺構 (1/250)	22	第64図 姫下遺跡14区出土土器3	68
第18図 中西部の遺構 (1/50)	24	第65図 姫下遺跡14区出土土器4・石製品	69
第19図 南西部の遺構 (1/50)	25	第66図 姫下遺跡21区出土土器	69
第20図 023SE (1/50)	25	第67図 雲島遺跡14区出土土器1	73
第21図 002NR断面 (1/80)	26	第68図 雲島遺跡14区出土土器2	74
第22図 調査区全体図 (1/250)	26	第69図 雲島遺跡14区出土土器3	75
第23図 南壁断面 (1/80)	26	第70図 雲島遺跡14区出土土器4	76
第24図 14A～14D区基本層序	28	第71図 雲島遺跡14区出土土器5・14A区石製品	77
第25図 北部の遺構 (1/50)	29	第72図 雲島遺跡14区出土土器6	78
第26図 025SD断面 (1/50)	30	第73図 雲島遺跡14区出土土器7	79
第27図 006SD・100SD断面 (1/100)	30	第74図 雲島遺跡14区出土土器8	80
第28図 026NR断面 (1/100)	31	第75図 雲島遺跡14区出土土器9	81
第29図 14A区上面北半 (1/250)	32	第76図 雲島遺跡14C区・14E区石製品	81
第30図 14A区上面南半 (1/250)	33	第77図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土土器1	83
第31図 14A区下面北半 (1/250)	34	第78図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土土器2	84
第32図 14A区下面南半 (1/250)	35	第79図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土土器3	85
第33図 014SI (1/50)	37	第80図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土土器4	86
第34図 005SI・010SI・011SI (1/50)	38	第81図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土土器5	87
第35図 006SD断面 (1/100)	39	第82図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土土器6	88
第36図 002SK断面 (1/50)	39	第83図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土土器7	89
第37図 14B区上面北半 (1/250)	40	第84図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土土器8	90
第38図 14B区上面南半 (1/250)	41	第85図 雲島遺跡・下懸遺跡16区出土木製品	91
第39図 14B区下面北半 (1/250)	42	第86図 下懸遺跡18区出土土器1	93
第40図 14B区下面南半 (1/250)	43	第87図 下懸遺跡18区出土土器2	94
第41図 14C区東半 (1/50)	45	第88図 下懸遺跡18区出土土器3	95
第42図 14C区西半 (1/50)	46	第89図 雲島遺跡14E区における発掘地点	98
第43図 14C区全体図 (1/200)	47	第90図 雲島遺跡14E区深掘による地質柱状図	98
第44図 14D区全体図 (1/100)	48	第91図 姫下遺跡21区における深掘および南西端部発掘断面における地質柱状図	99
第45図 南壁断面 (1/100)	48	第92図 姫下遺跡21区、南側中央付近の深掘による地質柱状図	99
第46図 14E区基本層序	49	第93図 姫下遺跡21区南西端部側の地質断面における地質柱状図	99
第47図 14E区中央部 (1/50)	51	第94図 古墳時代前期の居住域と墓域	102

第1章 調査の概要

第1節 調査の経緯と経過

1. 調査の経緯

本書は姫下遺跡・寄島遺跡・下懸遺跡を報告の対象としている。この3遺跡の調査は愛知県教育委員会を通じて愛知県建設局河川課知立事務所から中小河川改良事業（鹿乗川）および緊急防災対策事業（鹿乗川）の事前調査として委託を受けて実施した。

これらの遺跡は安城市に所在する鹿乗川流域遺跡群の一部である。愛知県埋蔵文化財センターは遺跡群の調査を平成10年度（1998年）より実施している。令和3年度まで今回の3遺跡以外に調査対象となった遺跡は上橋下遺跡、惣作遺跡、五反田遺跡、宮下遺跡、宮下南遺跡、亀塚遺跡、向田遺跡の8遺跡である（第3図参照）。また、鹿乗川流域の試掘調査を実施している。試掘調査を除いて遺跡群の設定調査区は80区で調査面積は約6万㎡である。

姫下遺跡は本センターが調査対象とする以前より矢作川右岸の沖積地に展開する既知の遺跡として遺跡地図等に記載されている。本遺跡は平成10年度と平成16年度の鹿乗川流域の試掘調査によって調査対象となった。平成17年度に2調査区3470㎡、平成18年度に3調査区3950㎡の調査を行い、平成24年度に報告書を刊行している（第1図）。本書では第3回と第4回の調査が報告の対象となる。

寄島遺跡も既知の遺跡であり、平成10年度と平成18年度の鹿乗川流域の試掘調査によって調査対象となった。平成19年度に3調査区3465㎡、平成23年度に3調査区2135㎡、平成24年度に2調査区3000㎡、平成25年度に2調査区2110㎡の調査を行い、平成29年度に報告書を刊行している（第1図）。本書では第5回と第6回の調査が報告の対象となる。

下懸遺跡は既知の遺跡として登録されており、平成10年度と平成12年度の鹿乗川流域の試掘調査によって調査対象となった。平成12年度に4調査区3700㎡の調査を行い、平成21年度に報告書を刊行している。その後、平成21年度に4調査区2140㎡、平成25年度に3区2130㎡、平成26年度に4調査区210㎡、平成28年度に1調査区280㎡の調査を行い、平成30年度に報告書を刊行している（第1図）。本書では第6回と第7回の調査が報告の対象となる。

2. 調査の経過

姫下遺跡

姫下遺跡はこれまで2年5調査区のべ7420㎡の調査を行っている。調査の対象となる区域は、鹿乗川に平行して走る道路の東側耕作地である。調査後の用水路移設区域で南北に長い区画となっている。今回の調査は遺跡範囲中央部の北側である。平成26年度の調査では平成18年度06C区の北側耕作地に調査区（14区）を設定した。令和3年度の調査はこの調査区の北側耕作地に調査区（21区）を設定した。21区は遺跡南辺である。南側は寄島遺跡であり、本報告書の対象となる寄島遺跡14E区が設定された。姫下遺跡の調査概要は下記の通りである。

平成26年度調査区（14区）

調査事由：中小河川改良事業（鹿乗川）

調査期間：2014年11月～2015年3月

調査面積：1200㎡

調査担当者：酒井俊彦

令和3年度調査区(21区)

調査事由:緊急防災対策河川事業(鹿乗川)

調査期間:2021年7月～9月

調査面積:620㎡

調査担当者:武部真木

寄島遺跡

寄島遺跡はこれまで4年10調査区のべ10710㎡の調査を行っている。鹿乗川導水路に沿う南北道路に接する用水路移設区域となる耕作地の調査を実施した。今回は遺跡南部の道路部分が調査対象となり、細長い区画の調査となった。14A区と14B区は南北方向の道路、14C区と14D区は東西方向の道路である。また、遺跡範囲北辺の姫下遺跡に接する部分において姫下21区南側に接する14E区を設定した。14E区は用水路移設区域である。寄島遺跡の調査概要は下記の通りである。

平成26年度調査区(14A区～14E区)

調査事由:中小河川改良事業(鹿乗川)

調査期間:2014年6月～12月

調査面積:2740㎡

調査担当者:酒井俊彦

寄島遺跡・下懸遺跡

寄島遺跡16区・下懸遺跡16区は寄島遺跡南辺から下懸遺跡北辺にかけて一区画として同時に調査を行い、遺構・遺物を一括して扱っている調査区である。当調査区は南北に平行して走る鹿乗川と鹿乗川導水路に挟まれた堤防部分である。寄島遺跡・下懸遺跡の調査概要は下記の通りである。

平成28年度調査区(16区)

調査事由:中小河川改良事業(鹿乗川)

調査期間:2017年1月～2月

調査面積:720㎡(寄島遺跡468㎡・下懸遺跡252㎡)

調査担当者:永井宏幸

下懸遺跡

下懸遺跡はこれまで5年16調査区のべ8180㎡の調査を行なっている。調査の対象となったのは南北に平行して走る鹿乗川と鹿乗川導水路に挟まれた堤防部分である。調査区域の制約から南北に長い調査区の形状となっている。調査区は遺跡範囲の北部に相当し、既報告の11B区の北側となる。18A区と18B区の2調査区を設定した。下懸遺跡の調査概要は下記の通りである。

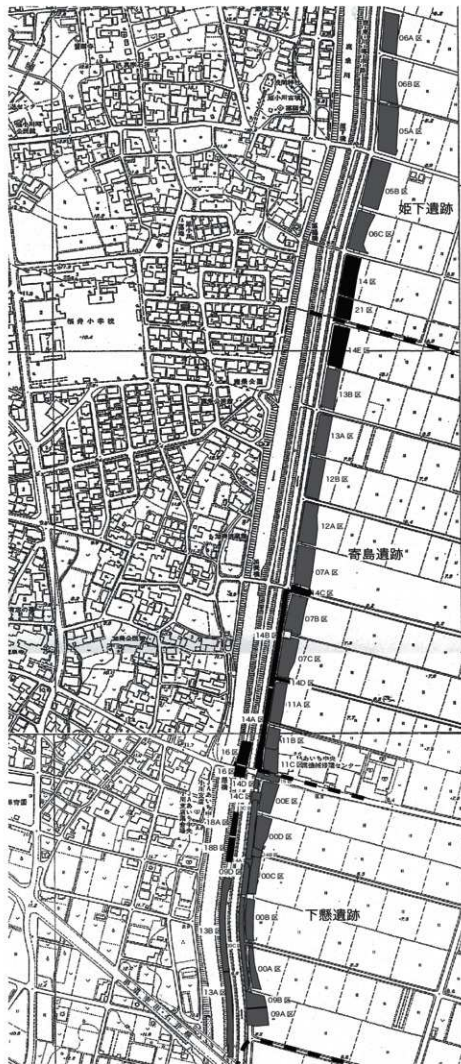
平成30年度調査区(18区)

調査事由:中小河川改良事業(鹿乗川)

調査期間:2018年11月～2019年1月

調査面積:900㎡

調査担当者:酒井俊彦



第1図 調査区位置図(1/5000)

第2節 遺跡の立地と環境

1. 地理的環境

本書が報告の対象とする姫下遺跡・寄島遺跡・下懸遺跡は愛知県西三河地域安城市南東部に所在する(第2図)。この3遺跡は愛知県中央部を北から南に流れる矢作川の中流域右岸に位置し、矢作川が形成する沖積地に立地する(第3図)。遺跡の標高は約7mである。現在、遺跡の大部分は水田などの耕作地と道路となっており、一部は鹿乗川と鹿乗川専水路間の堤防部分にも遺存している。遺跡の東側は平坦な耕作地が広がり、数百m隔てて矢作川が南流する。

矢作川から遺跡間には沖積地が広がる。この沖積面を構成する沖積層が形成されたのは、最終氷期後の海面が上昇し始める約1万年前から約6500年前の縄文海進を経て、約3000年前までの時期とされる。この沖積地は大部分が平坦な区画された農地となっており、大きな起伏は認められない。これは近代以降現代までの農地開発で大規模な土地改造が行われた結果である。古い地割り図には小河川と微高地が複雑に分布している状況が認められる。

遺跡の西側には洪積台地が広がる。安城市から岡崎市にかけて広がる洪積台地は高位から三好面・拳母面・碧海面・越戸面と区別され、これは碧海面に相当する。碧海層は11万年前から7万年前に形成したとされる。碧海面は安城市域に広く分布し、碧海台地と呼称され、北東から南西に緩やかに傾斜する。遺跡周辺では標高約12mである。

遺跡範囲の西側沖積地をほぼ南北方向に走る鹿乗川は碧海台地の東側に沿って南流する。河道はほぼ直線的であり、これに平行して昭和30年代に作られた鹿乗川専水路が流れる。鹿乗川が現在の位置に固定されたのは近世以降であり、中世以前の遺跡の形成立地とは直接的な関係はない。鹿乗川流域遺跡群の調査によって中世以前の河道の状況が解明されてきている。

2. 歴史的環境

遺跡は安城市南東部の鹿乗川に沿って展開する遺跡群に連続する。元来、鹿乗川流域遺跡群と呼称される遺跡群は姫下遺跡の北方にある遺跡をさすが、報告する3遺跡もこれに含まれると考える。周辺の沖積地および碧海台地上には多くの遺跡が展開する。縄文時代以前の遺跡は少数であるが、遺跡群北方に堀内川による碧海台地の開析谷斜面に縄文時代晩期の貝塚である堀内貝塚が所在する。標高は約14.5mである。縄文時代末から弥生時代前期の遺跡はやや増加する。亀塚遺跡・釈迦山遺跡古井堤遺跡から弥生前期土器が出土している。条痕土器は断片的ながら鹿乗川遺跡群および当センターがこれまで調査してきた姫下遺跡などで出土している。

弥生時代末から古墳時代の遺跡は増加する。鹿乗川流域遺跡群を構成する沖ノ木遺跡・上橋下遺跡・竹ノ花遺跡・野辺遺跡・宮下遺跡・中狭間遺跡・亀塚遺跡、これ以外に本沖遺跡・桜林遺跡、本報告対象である3遺跡の過去の調査区などで、遺構・遺物とも増加する。この時期の集落がこの地域に広く展開し、本陣遺跡では環濠と推定される遺構も検出されている。また、土器以外の出土遺物も多彩になり釈迦山遺跡や本3遺跡の過去の調査で木製品が大量に出土している。その他亀塚遺跡では人面土器と桜皮巻土器が出土している。

本3遺跡の北側に展開する鹿乗川流域遺跡群が接する碧海台地上には古墳が立地する。小川町から古井町には古墳時代前期および中期の約20基から構成される桜井古墳群が所在する。二子古墳は全長約68mの前方後円墳である。姫下遺跡に近接して全長約69mの前方後円墳である姫小川古墳が所在する。

古代の遺跡としては桜林遺跡、加美遺跡、木戸城遺跡などの集落遺跡があり、その他奈良時

代の寺院跡である寺領庵寺がある。

中世の遺跡としては集落遺跡の神ノ木遺跡、加美遺跡がある。城館跡としては藤井城跡・木戸城跡・木戸古城跡・木戸城跡・桜井城跡・小川志茂城跡・岩根城跡がある。これらは碧海台地東端部や開析谷端部に立地する。寺院跡としては本証寺がある。鎌倉時代13世紀に開創され、三河一向宗の三か寺の一つとして現在に至る。

近世以降の歴史的な環境として矢作川とその支流となる鹿乗川の改修がある。現在の矢作川の下流部は江戸時代に開削された。遺跡付近の鹿乗川の河道は近世以降に改変され、現在の位置に固定されたものである。

参考文献

安城市史編集委員会 2004『新編安城市史 10 資料編考古』

安城市史編集委員会 2005『新編安城市史 11 資料編自然』

安城市教育委員会 1998『安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第3集桜林遺跡』

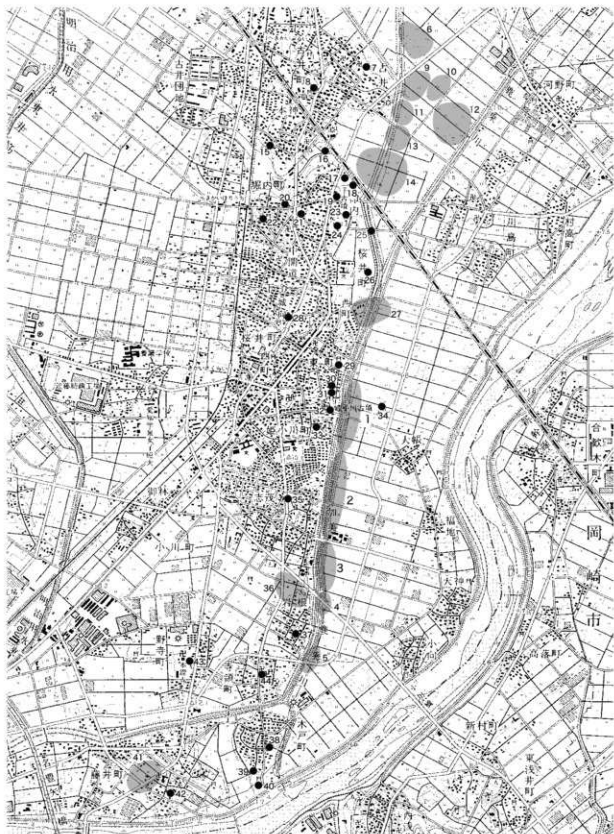
安城市教育委員会 1998『安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第4集本神遺跡』

安城市教育委員会 1999『安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第6集中狭間遺跡』



国土地理院発行 1/200000 地勢図「名古屋」「豊橋」を使用

第2図 遺跡位置図



国土地理院発行 1/25000 地形図「安城」西尾，を引用

- | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 1 炬下遺跡 | 11 野辺遺跡 | 21 碧海山古墳 | 31 崖古墳 | 40 木戸城跡 |
| 2 寄島遺跡 | 12 下橋下古墳 | 22 堀内古墳 | 32 炬小川古墳 | 41 大畑遺跡 |
| 3 下懸遺跡 | 13 彼岸田遺跡 | 23 山伏塚古墳 | 33 王塚古墳 | 42 藤井城跡 |
| 4 五反田遺跡 | 14 古井堀遺跡 | 24 比蘇山古墳 | 34 ハツ塚古墳 | 43 本証寺境内地 |
| 5 惣作遺跡 | 15 本陣遺跡 | 25 宮下遺跡 | 35 小川志茂城跡 | 44 寺領奥寺 |
| 6 神ノ木遺跡 | 16 釈迦山遺跡 | 26 中塚間遺跡 | 36 加美遺跡 | |
| 7 塚越古墳 | 17 二子古墳 | 27 龜塚遺跡 | 37 岩根城跡 | |
| 8 粟岩古墳 | 18 ニク子遺跡 | 28 櫻井城跡 | 38 木戸古城跡 | |
| 9 竹ノ花遺跡 | 19 桜林遺跡 | 29 獅子塚古墳 | 39 木戸城遺跡 | |
| 10 上橋下遺跡 | 20 堀内貝塚 | 30 炬塚古墳 | | |

第3図 周辺の遺跡

第2章 遺構

第1節 姫下遺跡

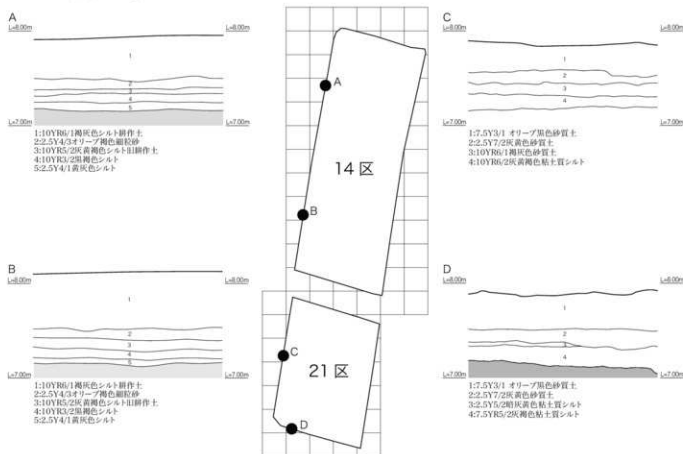
平成 26 年度 14 区

1. 調査の概要

調査区は平成 18 年度調査の 06C 区の北側に位置し、現耕作地である。調査は約 50cm の耕作土およびその下層の旧耕作土層を掘り下げた黒褐色シルト層の上面で遺構検出を行なった。この 15～20cm の黒褐色シルト層下の地山である黄灰色シルト層面で下面の遺構検出を行なった。上面では近世以降の時期の遺構が検出され、下面では古墳時代から中世の遺構が確認された。

2. 基本層序

現耕作土である褐色シルト層は昭和期以降に形成されたもので、下層はこれ以前の時期の耕作土である灰黄褐色シルト層となる。この旧耕作土下の黒褐色シルト層は中世以前の遺物包含層である。この層の上面で近世以降の遺構が検出される。この層の下層が基盤層である黄灰色シルトの河川堆積層で無遺物層となる。この面において古墳時代前期から中世にかけての遺構が検出される。



第4図 基本層序

3. 遺構

(1) 古墳時代

a. 竪穴建物

調査区中央部において9棟の竪穴建物が確認された。

097SI(第6図) 調査区中央西部において単独で検出された。平面は方形であり支柱穴が4隅で確認された。南北軸は西に傾き、他の竪穴建物とほぼ同方向である。南北・東西方向長は約5mである。検出面から床面まで深さ6cmと遺存状況は悪い。平面は方形で支柱穴が4隅で検出された。埋土中よりS字竪BないしC類と丸底鉢が出土していることから廻間Ⅲ式土器の時期である。

107SI(第7図) 調査区中央部で検出され、152SIを切る。平面は方形で支柱穴・床面は検出されず、周溝のみ確認された。南北軸は西に傾き、097SIとはやや異なる。南北・東西方向長は約5.2mである。遺存状況が悪く、遺物は出土しない。軸方向など近接する竪穴建物と関係から廻間Ⅲ式の時期である可能性が高い。

127SI(第8図) 調査区中央東部で検出された。他の竪穴建物より離れて切り合いはない。平面は方形で支柱穴・床面は確認されず、周溝のみ確認された。南北軸は西に傾き、097SI、159SIとその下層の竪穴建物群とほぼ同方向である。南北軸長約5m、東西軸長4.6mである。遺存状況は悪く、遺物は出土しない。形状や軸方向・位置から廻間Ⅲ式土器の時期の可能性が高い。152SI(第7図) 107SIの南側でこの竪穴建物に切られて検出された。平面は方形で、遺構南東部のみ検出された。支柱穴と床面は検出されず、周溝のみ確認された。南北軸は107SIと同方向である。残存長は東西・南北方向とも0.5mである。遺存状況は悪く、遺物は出土しない。244SIに切られることから廻間Ⅱ式土器の時期の可能性はある。

159SI(第9図) 調査区中央西部で検出された、集中して切り合う竪穴建物群の上層の遺構である。平面は方形で、浅い落ち込みのみ検出された。南北・東西方向長は約4.4mで、深さは18cmである。埋土中から古墳時代土器器類が出土している。切り合い関係と遺構の配置、軸方向から廻間Ⅲ式土器の時期である。

241SI(第9図) 159SIの西側で調査区東壁際で部分的に検出された。平面は方形と推定され、床面落ち込みのみ確認され、深さは3cm程度である。遺構軸は107SIなどと同方向である。遺物は少量で時期は確定できないが、切り合い関係。遺構の配置と軸方向から廻間Ⅲ式土器の時期である。

242SI(第9図) 159SIの南側で検出された。159SIと241SIに切れ、244SIの上層となる。平面は方形であり、床面の落ち込みが確認されている。軸方向は159SIとほぼ同じである。東西方向長約5.3m、深さ27cmである。廻間Ⅰ～Ⅲ式土器が比較的多く出土して、竪穴建物の切り合い関係から廻間Ⅲ式土器の時期である。

243SI(第9図) 242SIの南側で検出された。平面は南北に長い方形である。床面落ち込みのみ検出された。残存東西長3.8m、深さ27cmである。南北軸方向は竪穴建物群とほぼ同じである。159SI、241SI、242SIの下層であり、244SIの上層である。廻間Ⅰ～Ⅲ式土器を出土している。廻間Ⅱ～Ⅲ式土器の時期である。

244SI(第11図) 調査区西部で検出された竪穴建物群の最下層で検出された。平面形は方形で、東西長11.6m、南北長10.5m、深さ28cmである。南北軸方向は他の竪穴建物とほぼ同一方向である。3基の支柱穴が確認されている。246SKは径約1m、深さ0.8mをはかる。247SK

は径約1m、深さ0.8mで柱根が依存する。291SKは径約1m、深さ0.5mで柱根が確認できる。北西の主柱穴は調査区外であり、確認できない。周溝の248SDは、最大幅1.8m、深さ0.3mである。埋土中より比較的多くの土器が出土している。埋土中から廻間Ⅰ式から同Ⅱ式前半の土器が出土し、291SKから廻間Ⅱ式の土器が出土していることから廻間Ⅱ式の時期と考える。

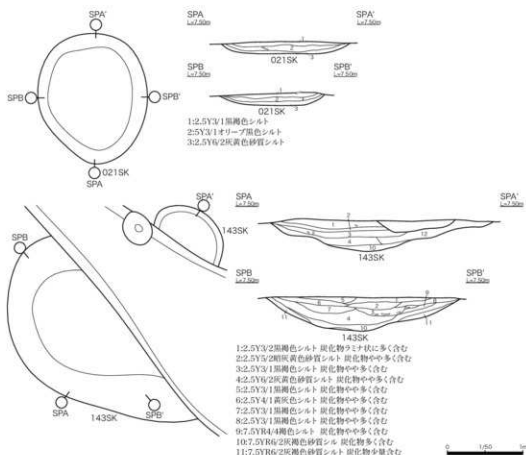
b. 土坑

021SK(第5図)調査区北西部で検出された。南北方向にやや長い円形の土坑で長径約0.8m、短径約0.7m、深さ0.2mである。廻間Ⅰ～Ⅱ式土器が比較的まとまって出土しており、廻間Ⅱ式土器の時期と考える。完形に近い個体はないが、埋置された可能性がある。

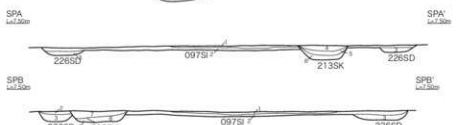
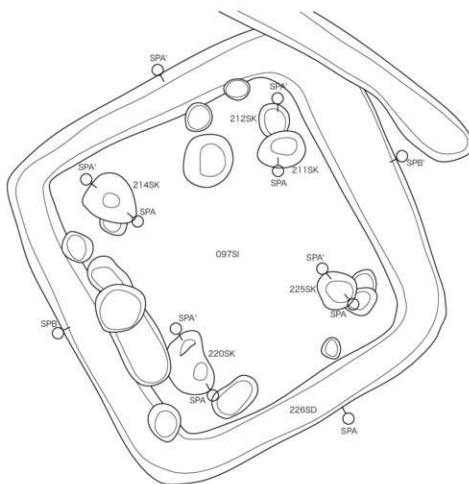
143SK(第5図)調査区中央やや南東で検出された大形の土坑である。長径3.4m、短径2.2m、深さ0.3mである。比較的多量の狭間Ⅲ式を主体とする土器が出土している。

c. 溝

183SD・184SD・186SD(第17図)調査区南西部で検出された幅約0.4～0.5m、深さ2～5cmの浅い溝群である。北東から南西方向に直線的に平行して走る。土器などの遺物は出土していない。本調査区では遺構の切り合いがないため時期は確定できない。溝の形状や方向などから竪穴建物群と前後する時期の可能性はある。



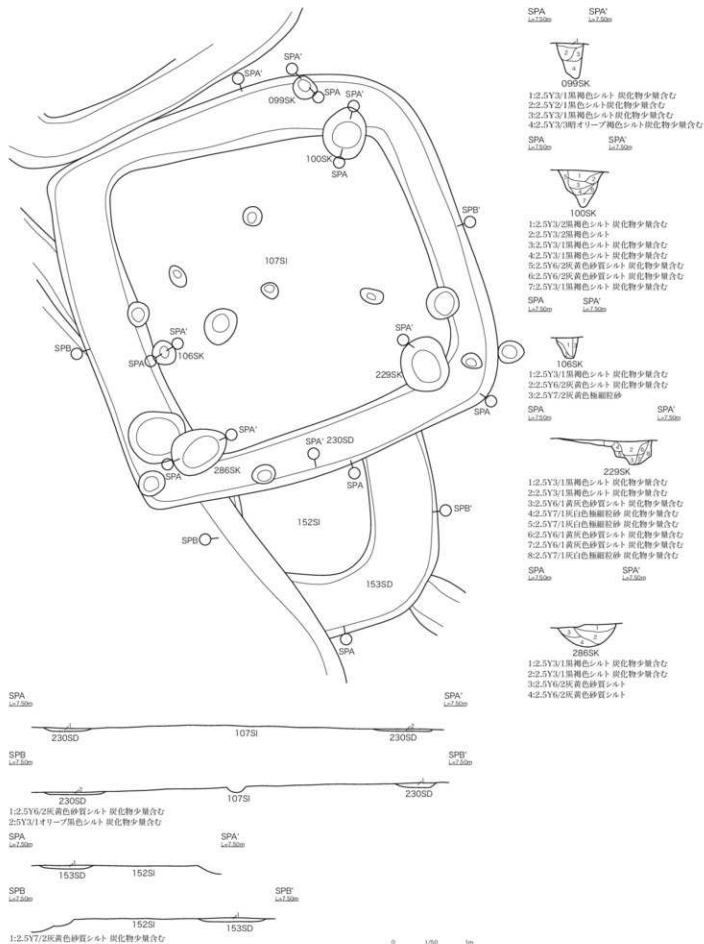
第5図 021SK・143SK (1/50)



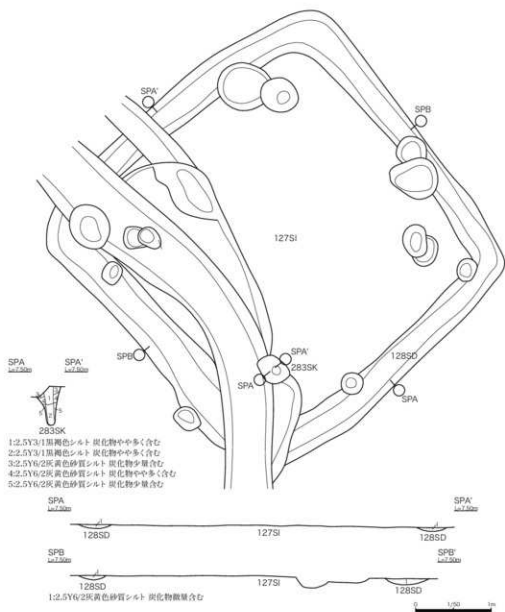
- 1:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物少なめに多く含む
- 2:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 炭化物やや多く含む 階床
- 3:2.5Y6/2灰黄色シルト 炭化物少量含む 周溝
- 4:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 炭化物少量含む
- 5:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト 炭化物多く含む
- 6:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む
- 7:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 炭化物やや多く含む
- 8:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物少量含む
- 9:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む



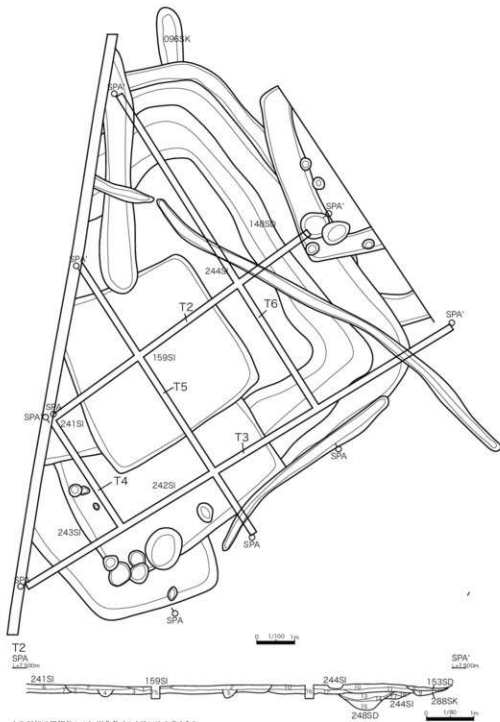
第6図 097SI (1/50)



第7図 107SI・152SI (1/50)



第 8 図 127SI (1/50)



- 1:2.5Y3/1 黒褐色シルト 炭化物フナホにやや多く含む
- 2:2.5Y3/1 黒褐色シルト 炭化物碎屑にフナホに含む
- 3:2.5Y5/2 暗灰黄色シルト 炭化物少量含む
- 4:2.5Y6/2 灰黄色シルト 炭化物やや多く含む
- 5:2.5Y6/2 灰黄色シルト 炭化物少量含む
- 6:2.5Y3/1 黒褐色シルト 炭化物やや多く含む
- 7:2.5Y6/2 灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む
- 8:2.5Y2/1 黒色シルト 炭化物少量含む
- 9:2.5Y3/1 黒褐色シルト 炭化物少量
- 10:5Y3/1 オリーブ黒色シルト 炭化物やや多く含む
- 11:5Y3/1 オリーブ黒色シルト 炭化物少量含む
- 12:2.5Y5/1 黄灰色砂質シルト 炭化物少量含む
- 13:2.5Y5/2 暗灰黄色シルト 炭化物少量含む
- 14:2.5Y6/1 黄灰色砂質シルト 炭化物少量含む
- 15:2.5Y6/2 灰黄色砂質シルト 炭化物やや多く含む
- 16:2.5Y2/1 黒色シルト 炭化物少量含む
- 17:2.5Y6/1 黄灰色砂質シルト 炭化物少量含む

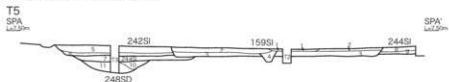
第 9 図 159SI・241SI・242SI・243SI・242SI (断面 1/80 平面 1/100)



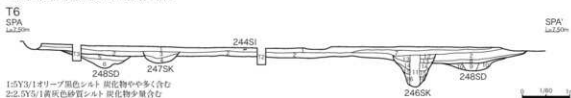
- 1:5Y3/1オリーブ黒色シルト 炭化物少量含む
2:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物やや多く含む
3:5Y3/1オリーブ黒色シルト 炭化物やや多く含む
4:2.5Y5/1黄灰色シルト 炭化物少量含む
5:2.5Y5/1黄灰色シルト 炭化物少量含む
6:5Y3/1オリーブ黒色シルト 炭化物やや多く含む
7:2.5Y5/1黄灰色砂質シルト 炭化物少量含む
8:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 炭化物少量含む
9:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む
10:2.5Y4/1黄灰色砂質シルト



- 1:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物やや多く含む
2:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む
3:2.5Y4/1黄灰色シルト 炭化物やや多く含む
4:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物やや多く含む
5:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物やや多く含む
6:2.5Y5/1黄灰色シルト 炭化物少量含む
7:2.5Y5/1黄灰色シルト 炭化物少量含む
8:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 炭化物少量含む
9:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む

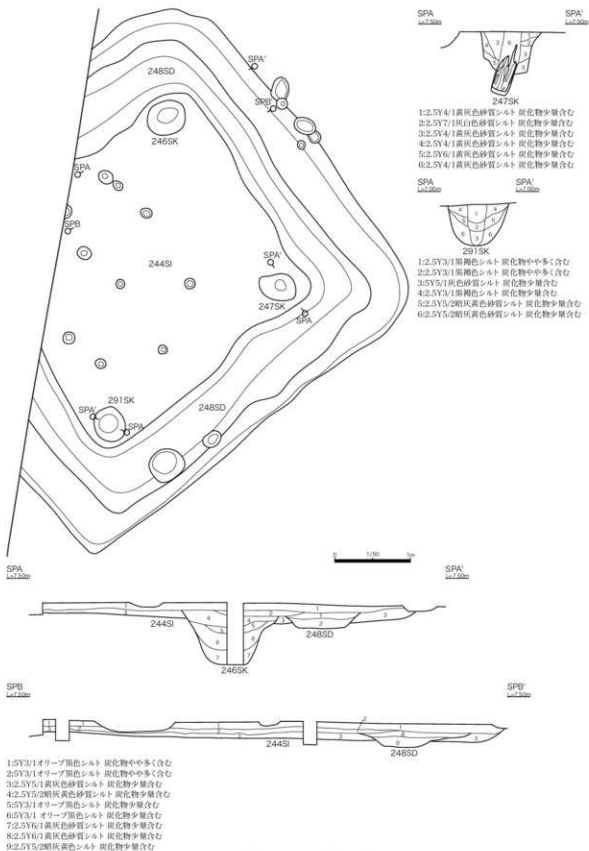


- 1:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物少し多く含む
2:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物層中に少し含む
3:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 炭化物少量含む
4:2.5Y6/2灰黄色シルト 炭化物少量含む
5:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物やや多く含む
6:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 上層層中に炭化物層 筋床
7:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 炭化物少量含む
8:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物やや多く含む
9:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む
10:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
11:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む



- 1:5Y3/1オリーブ黒色シルト 炭化物やや多く含む
2:2.5Y5/1黄灰色砂質シルト 炭化物少量含む
3:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む
4:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物少量含む
5:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物少量含む
6:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト 炭化物少量含む
7:5Y3/1オリーブ黒色シルト 炭化物やや多く含む
8:5Y3/1オリーブ黒色シルト 炭化物少量含む
9:2.5Y5/2暗灰黄色シルト 炭化物少量含む
10:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト 炭化物少量含む
11:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物少量含む
12:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む
13:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト 炭化物少量含む
14:5Y3/1オリーブ黒色シルト 炭化物少量含む
15:5Y3/1オリーブ黒色シルト 炭化物少量含む
16:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト 炭化物少量含む

第 10 図 159SI・241SI・242SI・243SI・242SI 断面図 (1/80)



第11図 244Si (1/50)

(2) 中世

a. 掘立柱建物

調査区北西隅から中央部にかけて3棟の掘立柱建物が確認された(第17図)。279SBは北東方向に長軸があり、280SBと281SBは北西方向に長軸がある。位置関係と長軸ないしは短軸がほぼ同一方向であることから同時期の関係性がある建物群と推定される。柱穴内埋土からほとんど遺物は出土していないため、時期は確定できない。280SBと281SBの間に掘立柱建物の軸方向に一致する090SDと112SDが存在し、この溝と関係性があるものと推定できる。この溝は出土遺物から中世の時期に属するものであり、これと同時期とする。

279SB(第12図)南北3間×東西2間、長軸5.0m、短軸3.3mである。長軸は北から東へ25度傾く。9基の柱穴と考えられる土坑が確認されている。これらの径は0.3～0.4m、深さは0.3～0.5mである。013SKには柱根が遺存している。

280SB(第13図)南北2間×東西3間、長軸5.5m、短軸3.5mである。長軸は北から西に62度傾く。10基の柱穴である土坑が確認される。径は0.3～0.6m、深さ0.2～0.6mである。長軸は近接する090SDと同方向である。

281SB(第14図)南北2間×東西2間、長軸3.8m、短軸3.7mである。長軸は北から西へ61度傾く。8基の柱穴である土坑が確認される。径は0.3～0.4m、深さは0.1～0.4mである。長軸は近接する090SDと同方向である。

b. 溝

下面で検出された。090SD、112SD、138SDは間隔を空けて連続し、090SD、112SDから少量であるが山茶碗が出土していることから中世の同時存在する一連の溝である。溝の方向と近接する280SB、281SBの軸方向がほぼ一致する。

090SD(第17図)調査区中央東寄りに検出され、残存長7.4m、幅0.6m、深さ4cmである。北西-南東方向に走る。山茶碗片が出土する。

112SD(第17図)調査区中央からやや西よりに検出された。残存長約14m、幅0.7m、深さ5cmである。090SDと1.4mの間隔を空けて同方向で約6m連続して、南北方向に向きを変えて屈曲する。山茶碗片が出土する。

138SD(第17図)調査区中央西側に検出され、残存長約6m、幅約1.8m、深さ0.1mである。090SDとほぼ同方向で北西から南東方向に走る。

c. 土坑

調査区北辺と南辺で中世の土坑が少数検出された。南辺の195SKの周辺の土坑群は007NRとの切り合い関係から中世以降の遺構である。

037SK(第17図)調査区北辺で検出された径約1.5m、深さ0.3mのやや大形の土坑である。山茶碗片がややまとまって出土している。

190SK(第17図)調査区南辺で検出された。径0.6m、深さ7cmで、山茶碗が出土した。

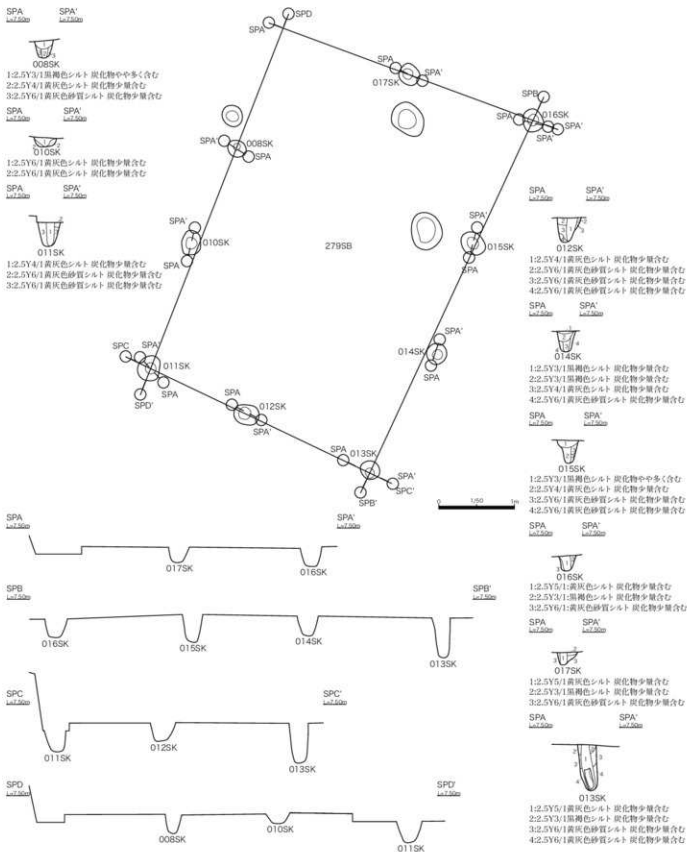
195SK(第17図)調査区南辺で検出されたやや大形の土坑で山茶碗片が出土している。最大径約1.8m、深さ約0.7mである。

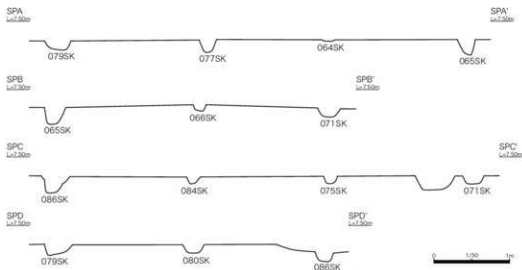
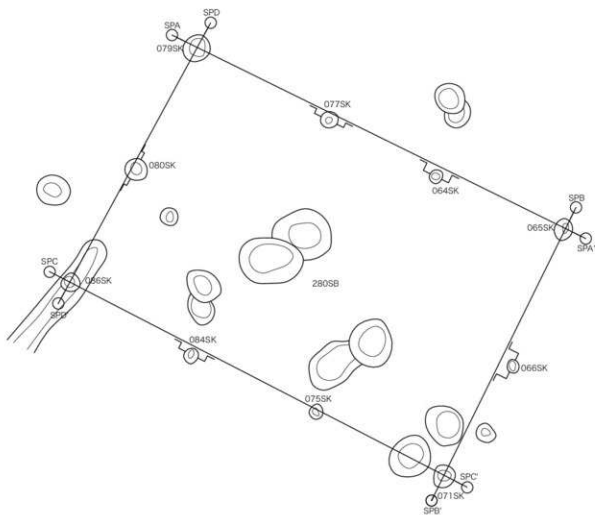
(3) 近世

近世の遺構は上面の調査で検出され、一部は下面で確認された。

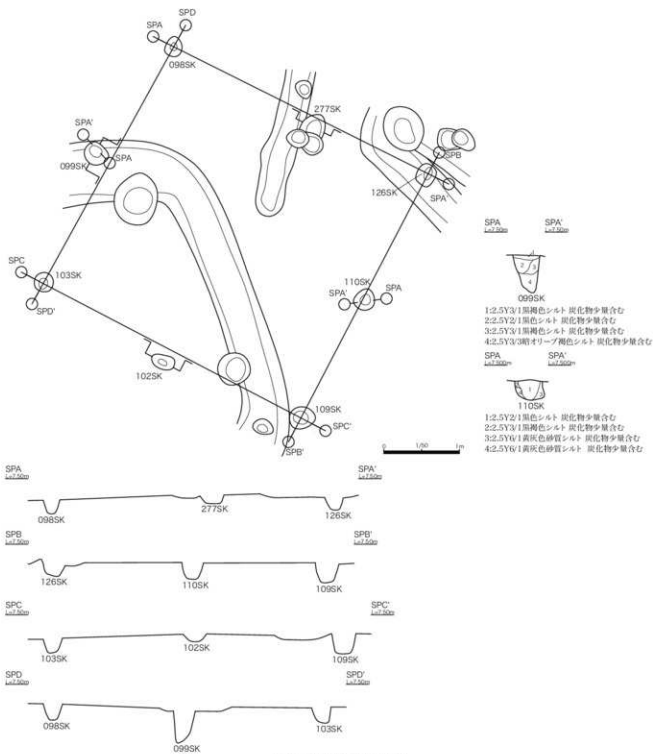
a. 土坑

002SK(第16図)上面で検出された。比較的大形の土坑である。長径2.1m、深さ0.4mを測る。埋土は細粒砂および中粒砂を主体とする水流による堆積層で、性格は不明である。常滑窯産甍





第13図 280SB (1/50)



第 14 図 281SB (1/50)

など近世陶器が出土している。

b. 溝

上面調査区南部で 003SD、005SD、006SD、下面で 048SD を検出した。

003SD (第 16 図) 残存長 17m、幅 0.4m、深さ 0.3m である。ほぼ東西方向に走る。埋土は流水による細粒砂で、水路的な性格である。

005SD (第 16 図) 残存長 6m、幅 0.9m、深さ 0.2m である。003SD と平行して走る。埋土は粗粒砂で流水による堆積であり、水路的な性格である。

006SD (第 16 図) 残存長 14m、幅約 1m、深さ 0.1m である。003SD、005SD と直交する方向に走る。これらと同様に水路的な性格の溝と考える。

048SD (第 17 図) 下面で調査区北東隅で部分的に検出され、深さ 0.3m である。ほぼ南北方向に走る。埋土は細粒砂が主体であることから水路的な性格の溝である。

(4) その他の時期の遺構

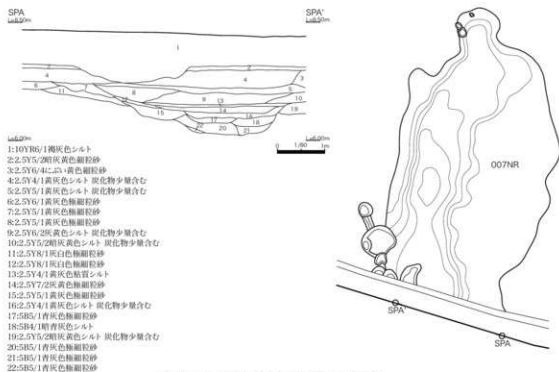
少数の時期が確定できない遺構である。

046SK (第 17 図) 下面の調査区北東隅の東壁際で検出された。長軸 1.4m、深さ 5cm を測る。灰軸陶器が少量出土し、古代の遺構と推測する。

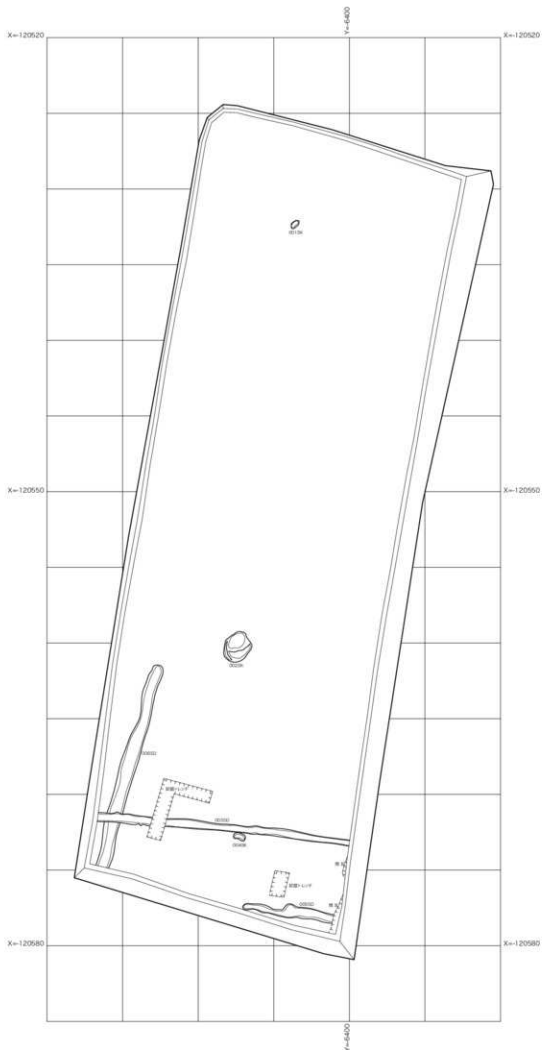
047SK (第 17 図) 下面の調査区北東隅の東壁際で検出された。長軸 1.9m、深さ 0.1m を測る。須恵器、灰軸陶器が少量出土し、046SK と同じく古代の遺構である。

007NR (第 17 図) 下面の調査区南部で検出された。ほぼ南北に走る自然河道で調査区内に南端があり、北へ流下する。調査区内で長 15m、幅 4.4m を測り、深さは約 1m である。埋土は細粒砂である。古代から中世の遺物が少量出土し、中世の時期の河道と推定する。

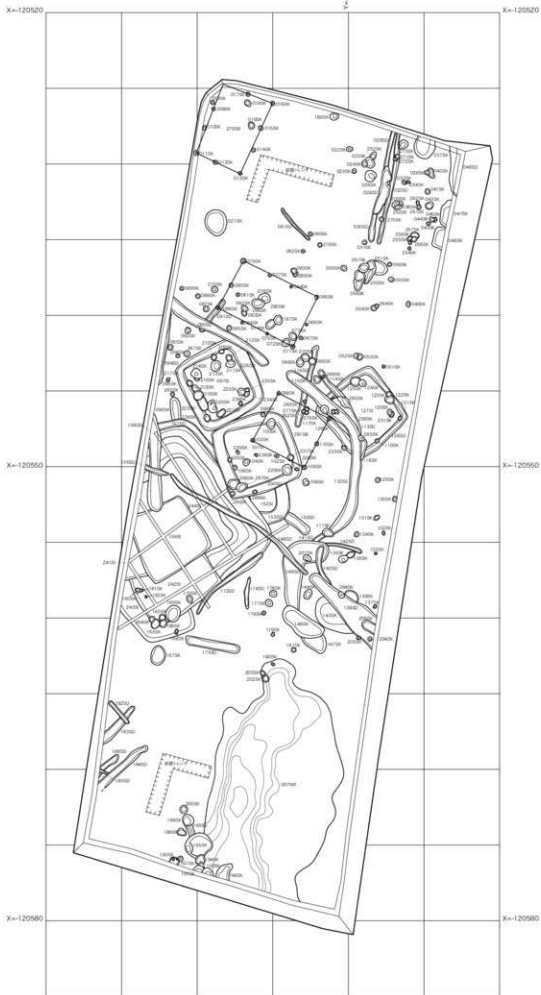
210SK (第 17 図) 下面の調査区中央部で検出された。径 0.4m、深さ 2cm である。戦国時代～近世の内耳鍋が出土している。



第 15 図 007NR (断面 1/80 平面 1/200)



第 16 図 上面遺構 (1/250)



第 17 図 下面遺構 (1/250)

令和3年度21区

1. 調査の概要

調査区は平成14年度調査区の南側であり、遺跡の南辺に相当する。南側は寄島遺跡14E区である。調査前は水田である。調査区北部において調査は約0.4mの現耕作土およびその下層の褐灰色土層を掘り下げた灰黄褐色シルト層面で上面での遺構検出を行い、この灰黄褐色シルト層下の基盤層面で下面の遺構検出を行なった。上面では中世以降の時期の遺構が検出され、下面では古墳時代から中世の遺構が確認された。南部では現耕作土下層の灰褐色土層下の基盤層面で遺構検出を行った。

2. 基本層序

現耕作土であるオリブ黒色砂質土と下層の灰黄色砂質土は昭和期以降に形成されたものである。この下層の褐灰色砂質土の下面で中世以降の旧河道が検出される。この下の灰黄褐色シルト層が中世以前の遺物包含層であり、これを掘り下げた灰黄色シルト面ないしは地山面で中世と古墳時代前期の遺構が検出される(第4図)。

3. 遺構

(1) 古墳時代

古墳時代以後に調査区中央に東西方向の小河川の自然河道、調査区西半に南北方向にやや大きい自然河道がある。これにより、地山層とそれ以前の遺物包含層が削られている。古墳時代の遺構・遺物はその残存部分で検出される。

a. 竪穴建物

調査区南西部で南壁際で2棟が確認された。大部分は調査区外となる。

022SI(第19図) 残存長1.5～1.8m、深さは約0.2mである。軸は正方位より約40°傾く。030SPは柱穴の可能性ある。周溝は検出されなかった。古墳時代前期土器が少量出土し、廻間Ⅲ式の時期と考える。

034SI(第19図) 検出された部分は長1.2～1.4m、深さは約0.2mである。南北軸は西へ約10°傾く。周溝と柱穴は確認されなかった。土器は少量出土し、古墳時代前期の時期と考える。

b. 土坑

調査区中西部と南西部で土坑が検出されている。大部分は無遺物であるが、少量の土師器が出土する土坑・小土坑であり、古墳時代前期の時期に属す。

004SK(第19図) 調査区南西部で検出された。039NRによって削られ、長径約1.2m、深さ約0.2mである。古墳時代前期廻間ⅡからⅢ式土器の土器が比較的集中して出土している。

012SK(第18図) 調査区南西部で検出された比較的大形の土坑である。長軸約1.7m、短軸約1.2m、深さ約0.1mである。少量の古墳時代前期土器が出土している。

c. 溝

調査区中西部で検出された。

041SD(第18図) 002NRなどで削られている。残存長約6m、深さ0.2である。流水の堆積で細粒砂が主体の埋土である。古墳時代前期土器が比較的まとまって出土している。

043SD・042SD(第19図) 041SDと002NRに切られる深さ約0.1m溝で古墳時代前期土器が少量出土している。

d. 井戸

調査区西側に2基の井戸が検出された。002NRの西側斜面に位置する。

023SE (第20図) 長径1.3m、短径1.1m、深さ0.8mである。検出面から底面まで深く、湧水層まで達していることから井戸と考える。少量の古墳時代前期土器が出土している。

029SE (第18図) 長径1.4m、短径0.7m、深さ0.5mである。002NRに切られ、底面近くのみ検出された。大きさ、湧水層に達していることから井戸と考える。

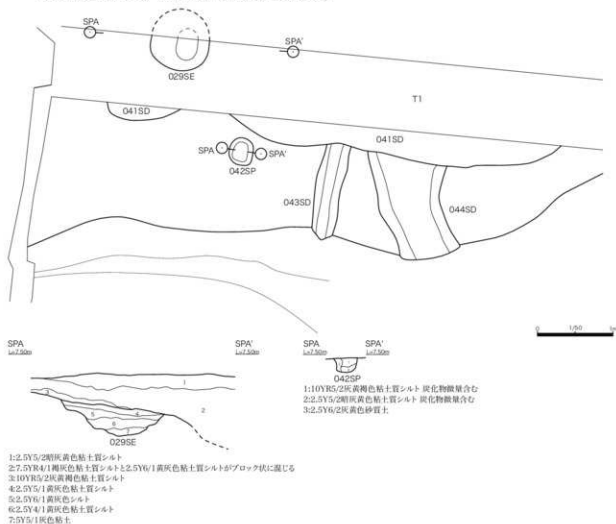
(2) 中世

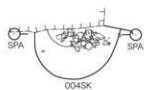
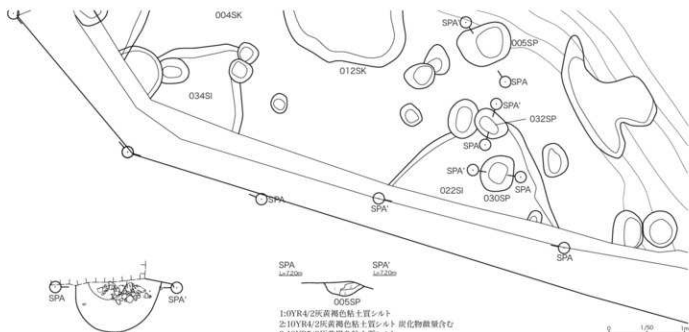
014SD-015SD-018SD (第22図) 調査区北東隅で中世の時期と考えられる溝3条が確認された。幅0.6～0.8m、深さ0.1～0.2mである。014SDの残存長約8mである。3条ともほぼ南北方向に近接して平行に走ることから同性格の同時期の溝と推定する。これらは002NRに平行することからこれと関係性があるものと考えられる。遺物は少量であり、014SDから中世の施釉陶器が出土している。

(3) その他

002NR (第21図) 南北に走る自然河道である。長27m、幅17m、深さ0.9mを測る。東半に深い部分があり、西半は浅く広がる。14区南部で北端が確認され、南側の寄島14区を南北方向に貫通して走っている。古墳時代土器が少量出土している。古墳時代の遺構と包含層を切っており、14区では中世の遺物が出土していることからこの時期以降の河道と考える。

039NR (第22図) 調査区南西部で東西方向に走る自然河道である。確認できる長約18m、幅7m、深さ1.1mである。002NRに切られ、古い時期の河道と考えられる。002NRより東側は確認できなかった。古墳時代土器が出土している。





SPA
Ld.2.00m

SPA'
Ld.2.00m

- 004SK
1:10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物微量含む
2:10YR5/1 褐色灰色粘土質シルト 径0.5~1.5mm程度の炭化物含む



- 005SP
1:0YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト
2:10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物微量含む
3:10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト

SPA
Ld.2.00m

SPA'
Ld.2.00m



- 032SP
1:10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト
2:10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト
3:2.5Y5/2 黄褐色粘土質シルト

SPA
Ld.1.00m

SPA'
Ld.1.00m

SPA
Ld.1.00m

SPA'
Ld.1.00m



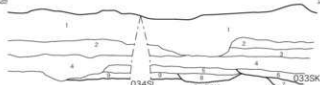
- 030SP
1:10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物微量含む
2:10YR6/2 灰黄褐色粘土質シルト
3:2.5Y5/5 暗灰色粘土質シルト
4:2.5Y4/1 黄褐色粘土質シルト
5:2.5Y6/2 灰黄色シルト

SPA
Ld.0.80m

SPA'
Ld.0.80m

SPA
Ld.0.80m

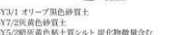
SPA'
Ld.0.80m



- 034SI
1:7.5Y3/1 オリーブ藍色砂質土
2:2.5Y7/2 灰黄色砂質土
3:10YR6/1 褐色灰色砂質土 炭化物微量含む
4:7.5YR5/2 灰褐色粘土質シルト 炭化物微量含む
5:10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物多量含む
6:10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物微量含む
7:2.5Y3/2 暗灰色粘土質シルト 炭化物微量含む
8:2.5Y5/2 暗灰色粘土質シルト 炭化物微量含む
9:10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト

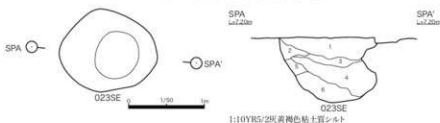
SPA
Ld.0.80m

SPA'
Ld.0.80m



- 022SI
1:7.5Y3/1 オリーブ藍色砂質土
2:2.5Y7/2 灰黄色砂質土
3:2.5Y5/2 暗灰色粘土質シルト 炭化物微量含む
4:7.5YR5/2 灰褐色粘土質シルト 炭化物微量含む
5:10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物多量含む
6:10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物含む
7:10YR5/1 褐色灰色粘土質シルト 炭化物微量含む

第 19 図 南西部の遺構 (1/50)



SPA
Ld.2.00m

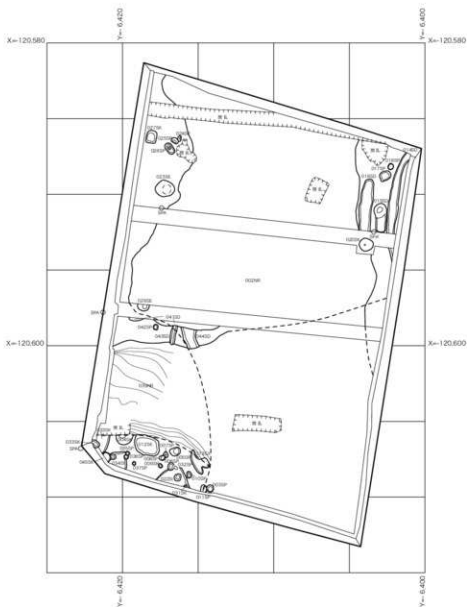
SPA'
Ld.2.00m

- 023SE
1:10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト
2:2.5Y6/1 黄灰色砂質土
3:10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト
4:0YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物微量含む
5:10YR6/1 褐色灰色粘土質シルト
6:10YR6/1 褐色灰色粘土質シルト

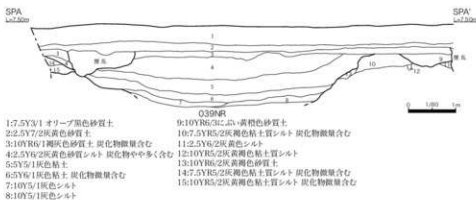
第 20 図 023SE (1/50)



第21図 002NR 断面 (1/80)



第22図 調査区全体図 (1/250)



第23図 南壁断面 (1/80)

第2節 寄島遺跡

平成26年度14A区

1. 調査の概要

調査区は鹿乗川導水路に沿う堤防に平行して走る道路部分に設定された。加美橋と下懸橋の間を2分割した南半部である(第1図)。道路と堤防の盛り土下の旧耕作土を掘り下げた黒褐色シルト層面で上面の調査を行い、黒褐色シルト層下の基盤層黄灰色シルト面で下面の調査を行った。

2. 基本層序

調査区全体にある1.1m～2mの盛り土は昭和30年代にこの地域で行われた土地区画整理に伴い、鹿乗川導水路とこれに沿う堤防と道路の建設によって造成されたものである。下層の旧耕作土は昭和期前半の水田耕作によるものである。この下層の黒褐色シルト層は古墳時代から中世の遺物包含層であり、この上面で中世の遺構が検出される。この黒褐色シルト層下の黄灰色シルト層上面で古墳時代の遺構が検出される(第24図)。

3. 遺構

調査区全体で下面において古墳時代前期の遺構が検出された。調査区南部でこの時期の遺物を包含する自然河道が確認された。

a. 竪穴建物

調査区南部で2棟検出された。遺存状況は悪く、床面に近い部分が確認された。032SI(第25図)東半が調査区外となる。南北長約4m、東西が2.1m 残存、深さが6cmである。南北軸はほぼ南北方向となる。主柱穴および周溝は検出されなかった。異物は少量出土している。時期は確定できない。廻間I～II式の時期である。

045SI(第25図)東半が調査区外となる。南北長3.1m、東西が2.0m 残存、深さ5cmである。主柱穴043SKと046SK、周溝が確認された。南北軸はやや東に傾き、032SIとは近似する。時期は確定できない。前期の礎などが少量出土し、廻間I～II式の時期である。

b. 溝

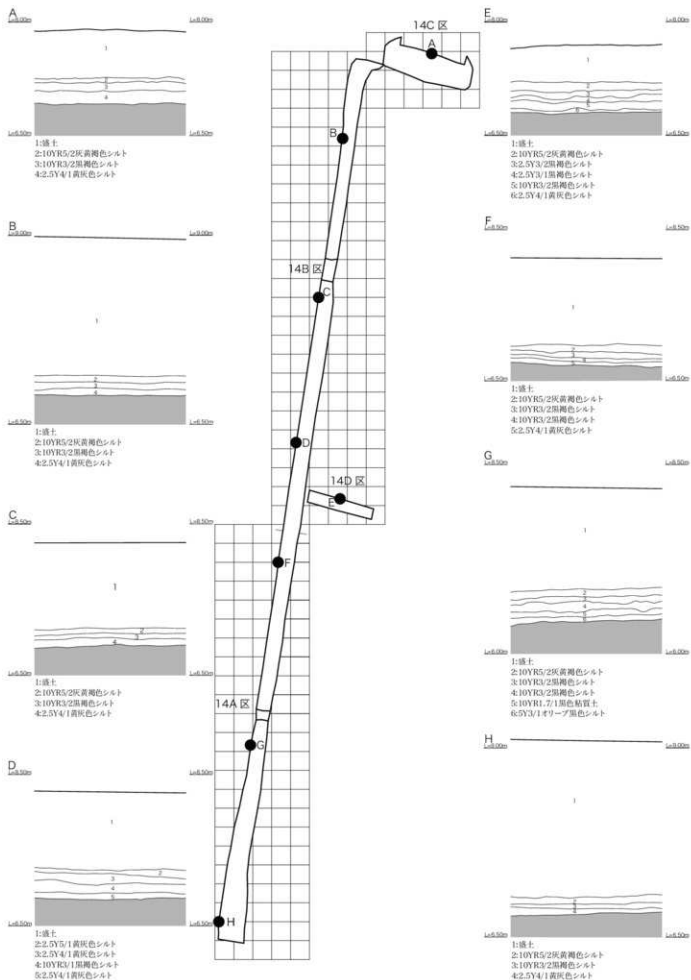
025SD(第26図)調査区中央で検出された。東西方向の溝で、南半が調査区外となる。残存長約1.5m、残存幅3mである。時期は確定できない。前期土器が出土する。

006SD(第27図)調査区北部で検出された。南から北に向けてやや東から西に方向に屈曲する溝である。残存長約10m、深さ1.8m、深さ0.6mをはかる。方形周溝墓の溝の可能性が高い。前期廻間I～II式の土器が出土している。

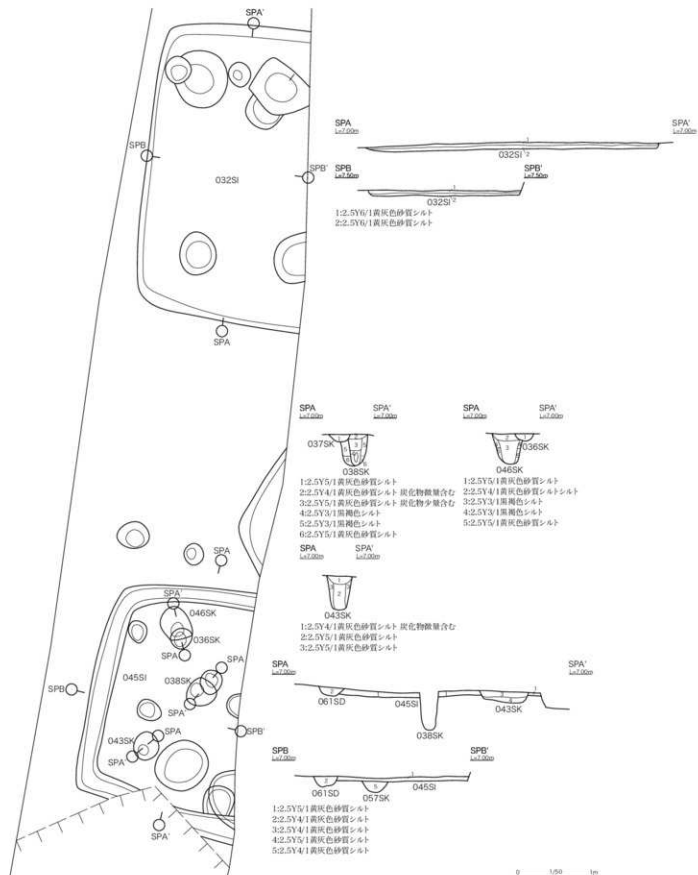
100SD(第27図)14A区北端から14B区南端で検出された。東西方向の溝で幅約14m、深さ0.3mである。両斜面は緩やかで、底面は平坦である。埋土は黒褐色シルトが主体で、古墳時代遺物包含層にほぼ近い土層である。古墳時代前期土器が出土している。平成23年度調査区11A区で検出された前方後方墳と想定されている029SZの周濠の延長部分である。

c. 自然河道

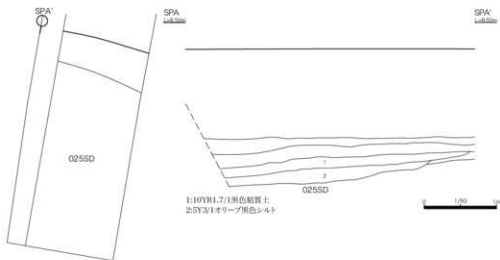
026NR(第28図)調査区南半で確認された。幅約38m、深さ約1mである。北東から南西に走る旧自然流路である。南岸および北岸とも緩やかな傾斜となる。下面は湧水層に達している。南岸側6層黒褐色シルト層と7層の黒色粘質土層を中心に古墳時代前期の土器と自然木が集中して出土した。平成23年度11B区003NRおよび寄島遺跡・下懸遺跡16区の001NRに連続する。



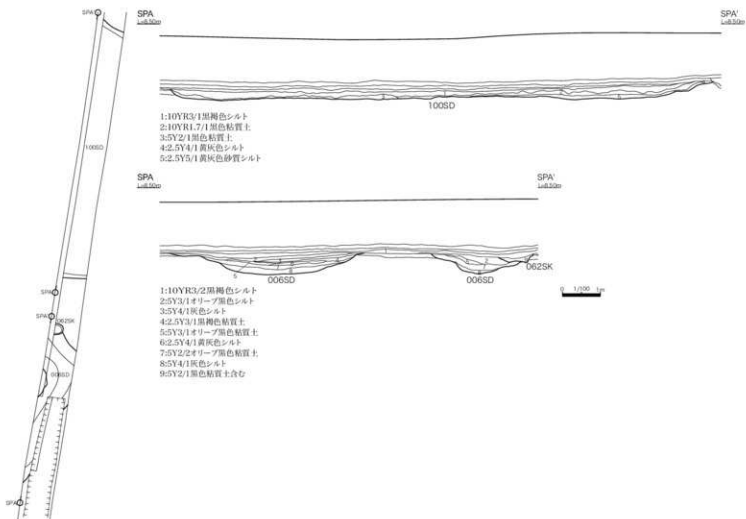
第 24 図 14A～14D 区基本層



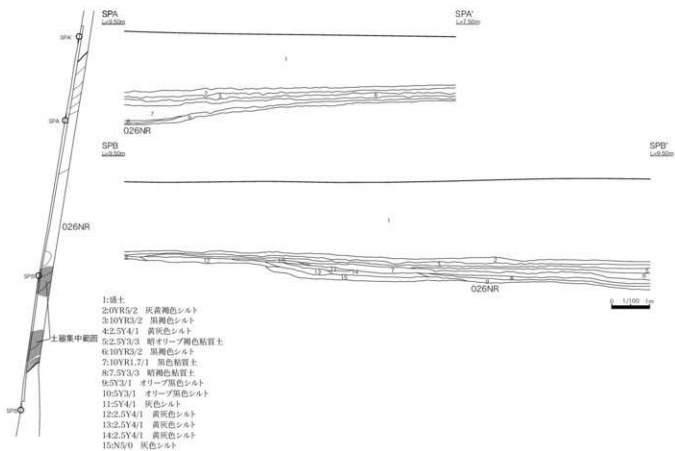
第 25 図 北部の遺構 (1/50)



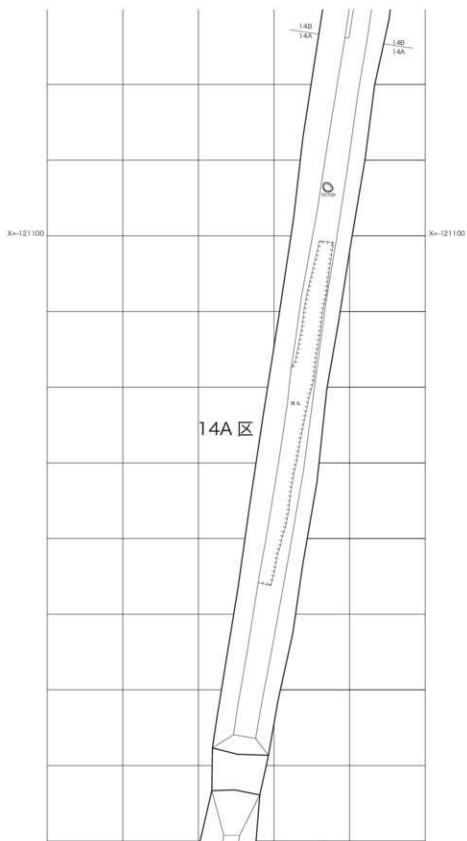
第26図 025SD断面 (1/50)



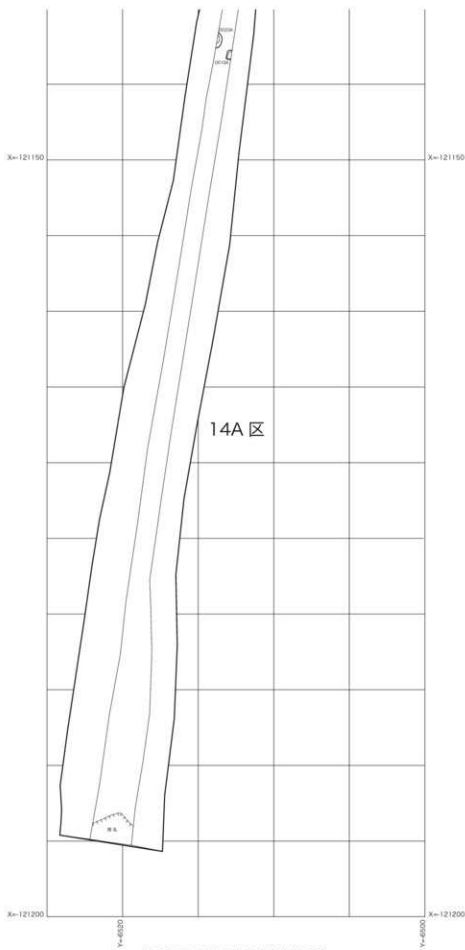
第27図 006SD - 100SD断面 (1/100)



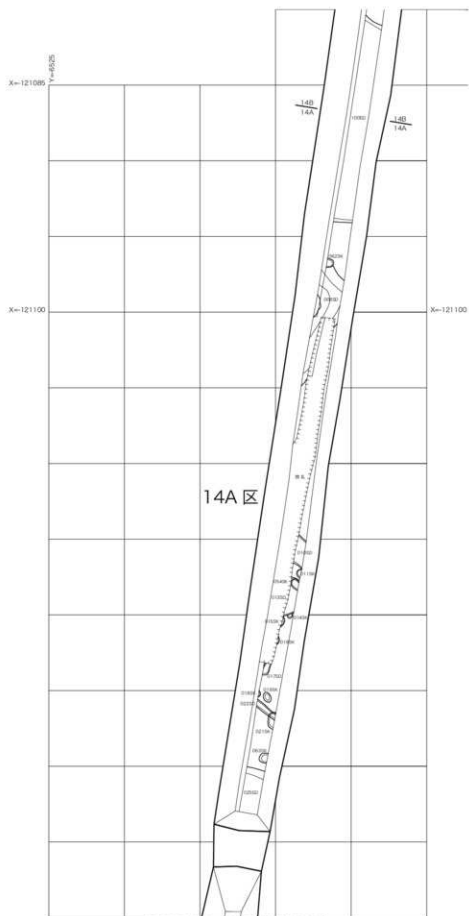
第 28 図 O26NR 断面 (1/100)



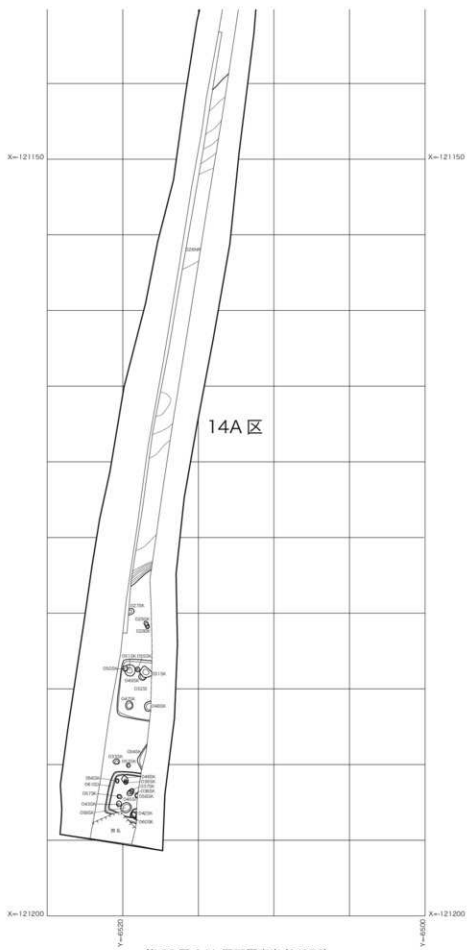
第 29 图 14A 区上面北半 (1/250)



第 30 图 14A 区上面南半 (1/250)



第31图 14A区下面北半(1/250)



第 32 图 14A 区下面南半 (1/250)

平成 26 年度 14B 区

1. 調査の概要

調査区は鹿乗川導水路に沿う堤防に平行して走る道路部分に設定した(第1図)。加美橋と下懸橋の間を2分割した北北部である(第1図)。道路と堤防の盛り土下の旧耕作土を掘り下げた黒褐色シルト層面で上面の調査を行い、黒褐色シルト層の下層の黄灰色シルト面で下面の調査を行った。

2. 基本層序

調査区全体に昭和30年代に鹿乗川導水路とこれに沿う堤防と道路の建設によって造成された1.0～1.8mの盛り土下層の旧耕作土下に黒褐色シルト層が存在する。この下層の黒褐色シルト層は古墳時代から中世の遺物包含層であり、上面で中世の遺構が検出される。黒褐色シルトを掘り下げた黄灰色シルト層上面で古墳時代の遺構が検出される(第24図)。

3. 遺構

(1) 古墳時代

a. 竪穴建物

調査区北部で4棟が検出された。

005SI(第34図) 調査区北端部検出され、北東辺は調査区外となる。長軸残存長約3m、短辺2.2m、深さ8cmである。南北軸が約45°東に傾く。周溝が全周し、主柱穴は検出されない。遺物は出土しない。

010SI(第34図) 北東辺および南東辺が調査区外となる。長軸残存長4.3m、短軸残存長約4m、深さ0.1mである。南北軸は005SIとほぼ同じ方向である。溝が全周し、主柱穴は検出されない。少量の古墳時代前期土器が出土している。

011SI(第34図) 010SIの東側で検出され、大部分重複する。南辺の一部のみ確認された。周溝と南西の主柱穴が検出された。残存東西軸2.1mである。南北軸は東に傾き、010SIとはやや異なる。

014SI(第33図) 調査区北部で検出された。北東辺と南東辺は調査区外である。南北軸残存長3.1m、東西軸残存長3m、深さ5cmである。長軸方向は不明で、軸方向は010SIなどと同方向である。周溝は最大約1mである。主柱穴は検出されなかった。古墳時代前期土器が少量出土している。

b. 溝

古墳の周濠である066SDと100SDが検出された。100SDはA区にかかっており、A区において説明する。一定の間隔において平行して走る溝群が検出された。幅は30cm程度で深さは検出面で数cmの溝が平行し、調査区内で数カ所確認された。遺構の前後関係から古墳時代前期の時期である。

066SD(第35図) 調査区南部で検出された。幅10.3m、深さ0.3mである。底面はほぼ水平で平坦である。東西に走る。埋土は黒褐色シルトが主体で、古墳時代遺物包含層にほぼ近い土層である。古墳時代前期土器が出土している。平成19年度調査区07C区で検出された前方後方墳と想定される周濠3001SDの延長部分である。

北半南部溝群(第39図) 018SDから035SDの間の溝群である。北東から南西方向と北西から南東方向に走る2種類の溝がある。いずれも直線的な溝である。幅0.2～0.4m、深さ0.1m程度の小溝が直行する関係にある。出土遺物はないか少量である。竪穴建物群と同時期と考え

る。

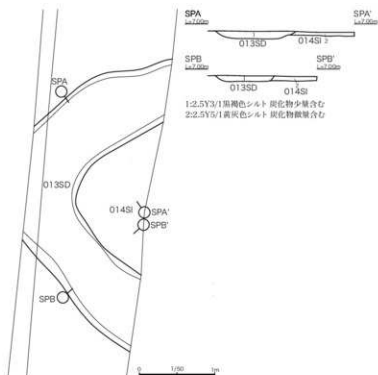
南半北部溝群（第 40 図）039SD から 065SD までの溝群である。北東から南西方向に平行して走る 16 条の溝群である。幅 0.3 ～ 0.5m、深さは数 cm から 20cm である。052SD ～ 059S の部分ではほぼ一定間隔で平行する。各遺構とも遺物はほとんど出土せず、全体としてわずかな出土量である。前期の時期と推定される。

067SD・070SD・080SD（第 40 図）調査区南部で検出された。北東から南西に平行する溝群である。幅 0.2 ～ 0.3m、深さ 0.1 ～ 0.3m である。一定間隔で平行し、南半北部溝群に直交する方向で走る。遺物は出土していない。前期の時期と考える。

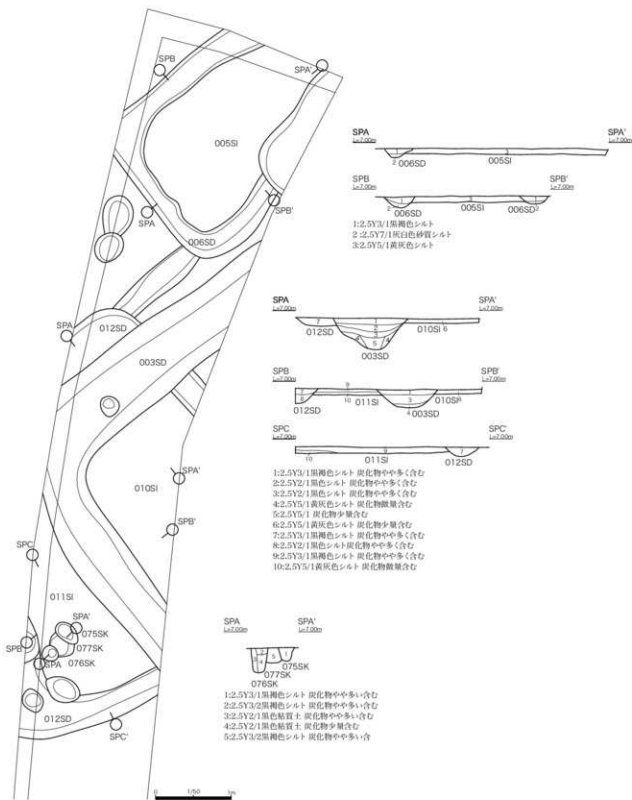
(2) 中世

上面で検出された遺構である。

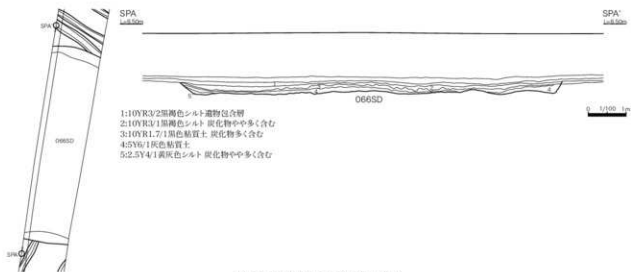
002SK（第 36 図）調査区北部で検出された。幅 3m、深さ 0.9m を測る大形の土坑である。旧耕作土直下から掘り下げられている。埋土は遺物包含層の黒褐色シルトと地山土がブロックが混合する。掘り下げた土を直後に埋め戻した状況である。遺物は出土していないため時期は不明である。同様な遺構は中世の時期に多く確認されることからこの時期の遺構とする。



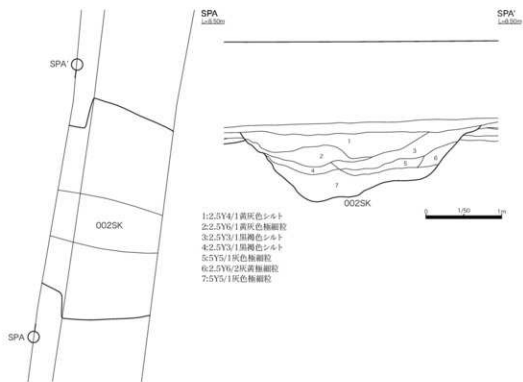
第 33 図 O14SI (1/50)



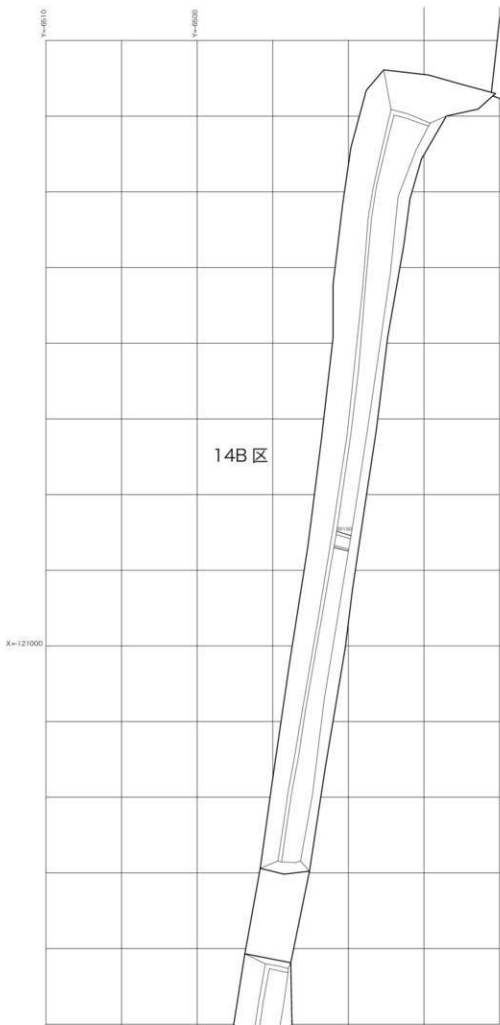
第 34 図 005SI・010SI・011SI (1/50)



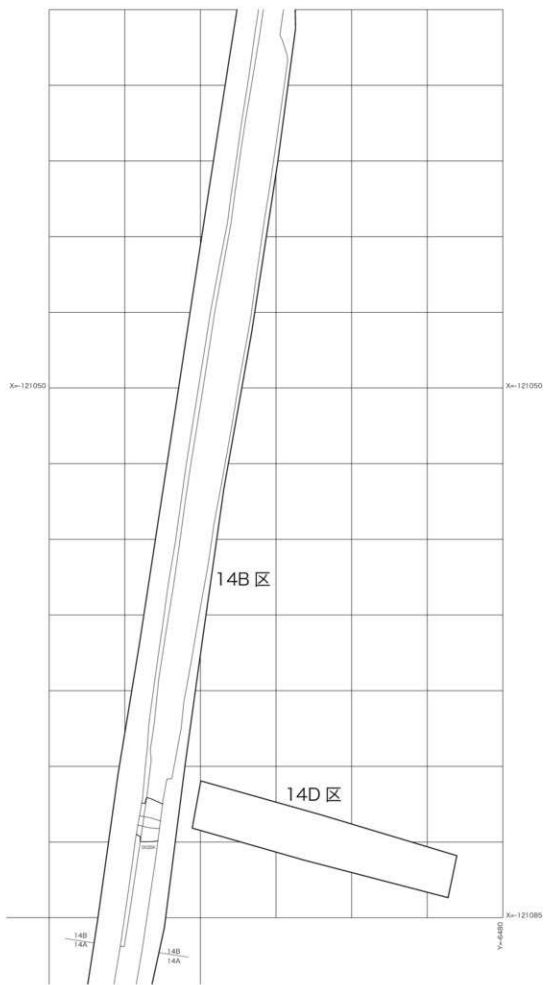
第 35 図 066SD 断面 (1/100)



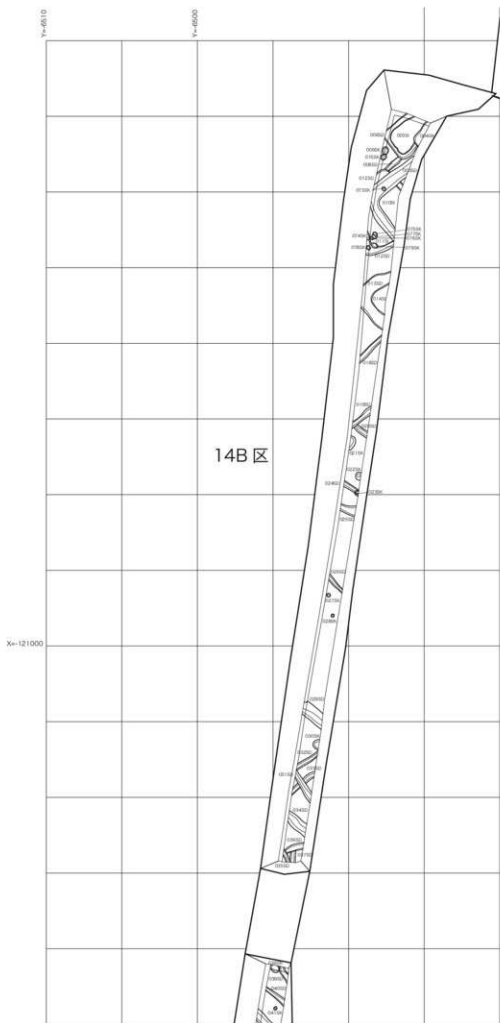
第 36 図 002SK 断面 (1/50)



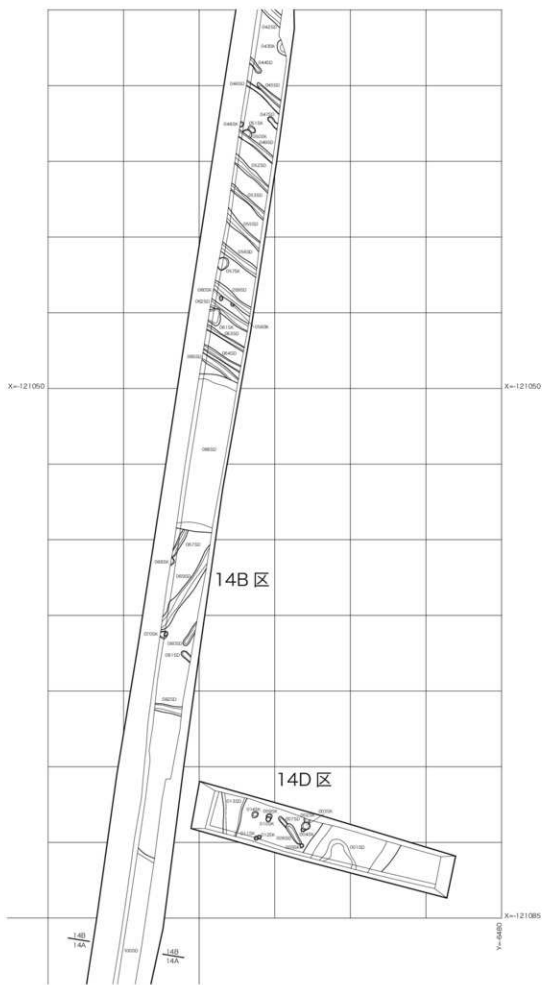
第 37 图 14B 区上面北半 (1/250)



第 38 图 14B 区上面南半 (1/250)



第 39 图 14B 区下面北半 (1/250)



第 40 图 14B 区下面南半(1/250)

平成 26 年度 14C 区

1. 調査の概要

調査区は鹿乗川に直行し、加美橋に通ずる農道部分に設定した(第1図)。道路の盛り土下の旧耕作土を掘り下げた黒褐色シルト層面で上面の調査を行い、黒褐色シルト層の下層の黄灰色シルト面で下面の調査を行った。

2. 基本層序

調査区全体に昭和 30 年代の道路建設によって造成された 0.7m の盛り土があり、この下層の旧耕作土層下に黒褐色シルト層が存在する。この黒褐色シルト層は古墳時代などの遺物包含層であり、この黒褐色シルト層を掘り下げた黄灰色シルト層上面で中世から古墳時代の遺構が検出される(第 24 図)。

3. 遺構

(1) 古墳時代

古墳時代の遺構は調査区全体で確認された。

a. 竪穴建物

002SI (第 41 図) 調査区南東隅で北辺と西辺の一部が確認できた。平面隅丸方形で、東西残存長 4.5m、南北残存長 2.3m、深さ 0.2m である。最大幅 1.8m、深さ 0.1m の浅く、幅広い周溝が巡る。主柱穴は確認されなかった。南北軸は正方位に近い。埋土中より廻間Ⅲ式の土器類が出土している。

005SI (第 41 図) 調査区中央東部で検出された。北辺が調査区外となる。平面隅丸方形で東西軸長 5.5m、南北軸残存長 3.8m、深さ 0.1m である。最大幅 1.3m、深さ 0.1m の幅が広く、浅い周溝が巡る。南北軸は 36° 東に傾く。北東隅、南東隅と南西隅の主柱穴が確認された。050SK は径 0.5m、深さ 0.9m、051SK は径 0.5m、深さ 0.8m、056SK は径 0.4m 深さ 0.5m を測る。050SK と 051SK は最下部は砂層に達して湧水する。いずれも径十数センチ、長 0.5m 程度の柱根が依存した。埋土中より廻間Ⅲ式の土器が出土している。

017SI (第 42 図) 調査区北東部で検出された。南辺と西辺の一部が検出された。平面形やや不定形な形で東西長 4.8m、南北残存長 1.8m、深さ 0.2m である。005SI とほぼ同じ南北軸方向をとる。周溝と主柱穴は検出されなかった。埋土中より廻間Ⅲ式の土器が出土している。

b. 土坑

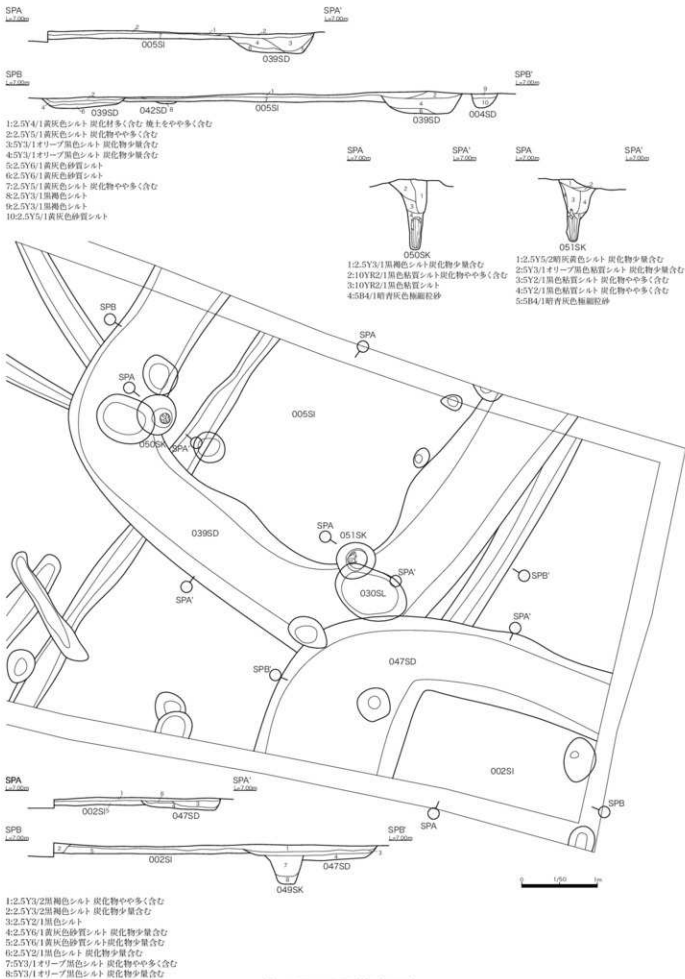
030SL (第 41 図) 005SI の周溝と重なる。長軸 1.0m、短軸 0.5m、深さ 0.1m を測る。埋土中に焼土と炭化物を多く含むため炉跡と考える。

c. 溝

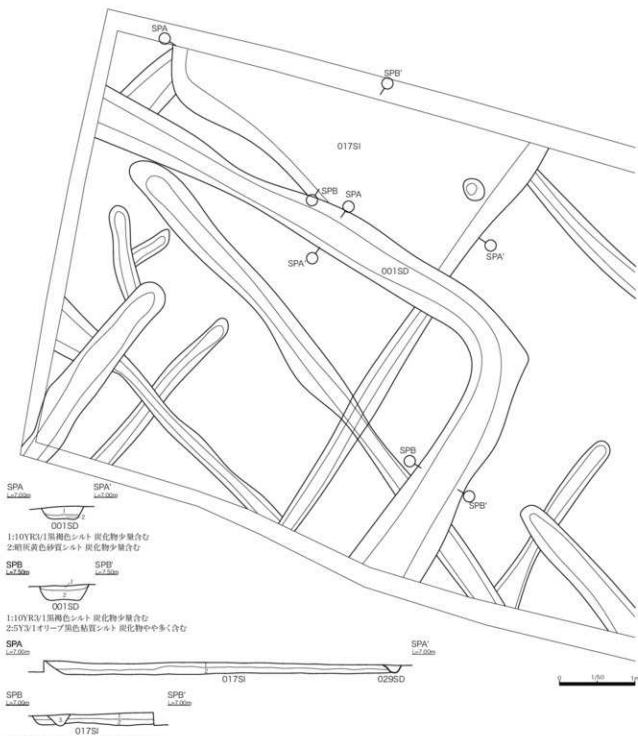
調査区全体に溝群が展開する(第 43 図)。幅 0.3m ~ 0.5m、深さ 0.1 ~ 0.2m の小溝群である。北東から南西方向の溝群(004 013 014 016 021 024 028 029 042)と北西から南東方向の溝群(011 015 018 020 023 027)によって構成される。ほぼ平行して走る部分が多く、同時期に存在し、切り合い関係から竪穴建物と前後する時期である。遺物は古墳時代前期土器が少量出土する。

(2) 中世

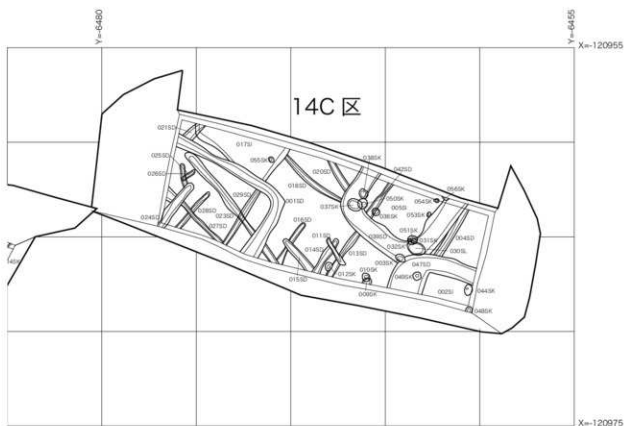
001SD (第 42 図) 調査区東部で確認された。幅 0.6m、深さ 0.2m を測る。東西から南北にほぼ直角に屈曲する。埋土より土師器の皿が少量出土する。



第 41 図 14C 区東半 (1/50)



第42図 14C区西半 (1/50)



第43图 14C区全体图(1/200)

平成 26 年度 14D 区

1. 調査の概要

調査区は鹿乗川に直行し、平成 19 年度 07C 区と平成 23 年度 11A 区間の農道部分に設定された(第 1 図)。道路の盛り土下の旧耕作土を掘り下げた黒褐色シルト層面で上面の調査を行い、黒褐色シルト層の下層の黄灰色シルト面で下面の調査を行った。

2. 基本層序

調査区全体に道路建設によって造成された 0.5m の盛り土があり、下層の旧耕作土層下に古墳時代包含層である黒褐色シルト層が存在する。黒褐色シルト層を掘り下げた黄灰色シルト層上面で古墳時代の遺構が検出される(第 24 図)。

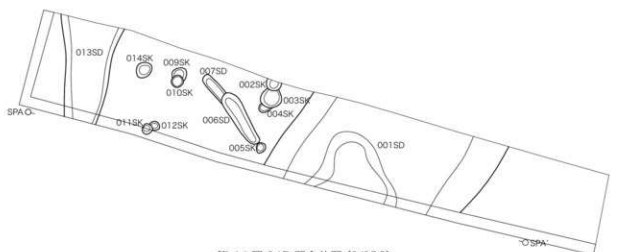
3. 遺構

(1) 古墳時代

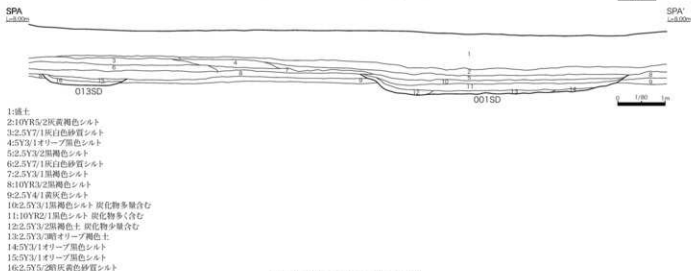
古墳時代の遺構は調査区全体で確認された。

001SD(第 44 図) 調査区中央部で検出された南北方向の溝である。幅 5m、深さ 0.4m を測る。底面平坦な溝で黒色シルト層中より古墳時代遺物が出土する。07C 区 3001SD と 11A 区 029SZ 間に連続する溝である。古墳時代の須恵器が少量出土している。

013SD(第 44 図) 調査区東隅で検出された。幅 1.6m、深さ 0.2m を測る。ほぼ南北方向に走る。古墳時代土師器が少量出土する。



第 44 図 14D 区全体図 (1/100)



- 1:盛り土
- 2:10YR5/2灰黄褐色シルト
- 3:2.5Y7/1灰白色砂質シルト
- 4:5Y3/1オリーブ黒色シルト
- 5:2.5Y3/2黒褐色シルト
- 6:2.5Y7/1灰白色砂質シルト
- 7:2.5Y3/1黒褐色シルト
- 8:10YR3/2黒褐色シルト
- 9:2.5Y4/1黄灰色シルト
- 10:2.5Y3/1黒褐色シルト 炭化物多量含む
- 11:10YR2/1黒色シルト 炭化物多く含む
- 12:2.5Y3/2黒褐色土 炭化物少量含む
- 13:2.5Y3/3暗オリーブ褐色土
- 14:5Y3/1オリーブ黒色シルト
- 15:5Y3/1オリーブ黒色シルト
- 16:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト

第 45 図 南壁断面 (1/100)

平成 26 年度 14E 区

1. 調査の概要

調査区は遺跡の北辺にあたり、姫下遺跡 21 区の南側に接する（第 1 図）。調査前は水田である。昭和期後半遺構の現耕作土と遺物包含層である黒褐色シルト層を下げた面で遺構検出を行った。調査区東半は大きく攪乱が入っている。調査区東半は姫下遺跡 14 区・21 区から連続する自然河道が占める。この自然河道によって地山面の遺構跡が削られており、この残存していない部分で古墳時代の遺構が検出される。

2. 基本層序

調査区の表土は昭和期後半の耕作土でこの 0.7m 下で遺物包含層である黒褐色シルト層に達する。この黒褐色土を掘り下げた黄灰色シルト層の上面で中世および古墳時代の遺構が検出される（第 46 図）。

3. 遺構

(1) 古墳時代

古墳時代の遺構は調査区北西隅、中央部、南東隅で検出される。

a. 竪穴建物

古墳時代前期の竪穴建物が 3 棟検出された。

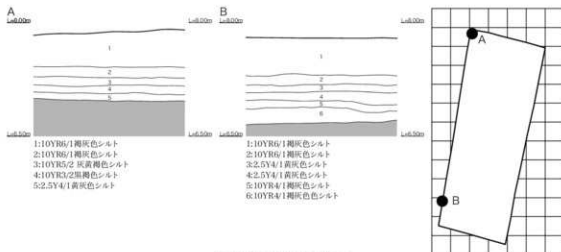
023SI（第 47 図）調査区中央部で検出された。平面方形で東西 3.6m、南北 3.1m、深さ 15cm を測る。周溝と主柱穴は確認されない。南北軸は 18°西に傾く。古墳時代前期土器が包含層より出土する。

026SI（第 47 図）023SI の西側で確認された。北半は中世の溝に切られる。平面方形で東西 3.5m、南北 1.6m 残存、深さ 0.1m を測る。周溝と主柱穴は確認されない。023SI とほぼ同じ南北軸方向である。古墳時代前期土器が出土し、廻間 I～II 式の時期である。

036SI（第 47 図）023SI の南西に近接して検出される。平面方形で東西 3.7m、南北 3.5m、深さ 0.1m を測る。幅 0.4m の周溝が全周する。主柱穴は確認されなかった。古墳時代前期土器が少量出土する。

b. 溝

古墳時代の遺構の遺存している調査区北西隅、中央部、南東隅で確認されている。幅 0.3m



第 46 図 14E 区基本層序

～0.5m、深さ0.1～0.3mの溝が直線的に平行して走る小溝群である(第51図)。調査区北西隅では北西から南東方向の溝4条(009SD～012SD)が検出された。中央部では北西から南東方向の溝(017SD～019SD)北東から南西方向の溝(016SD 024SD 027SD 038SD 040SD 046SD 050SD 051SD 072SD)が検出された。調査区南東隅では北西から南東方向の溝(060SD 063SD)北東から南西方向の溝(061SD 062SD 064SD 066SD 085SD)が検出された。二つの方向の溝群は調査区中央と南東隅でほぼ直角に交差する。切り合い関係から堅穴建物群より古いか同時期と考える。古墳時代前期土器が少量出土する。

(2) 中世

ほぼ南北の正方位に走る溝群(002SD 003SD 004SD)と北東から南西方向に走る溝群(021SD 053SD 087SD)が検出された。これらの溝から主に第5～6型の山茶碗が少量ながら出土する。

002SD(第49・50図)調査区北東部に検出されたほぼ南北に走る溝である。検出面では幅2m、深さ0.2m程度である。北壁断面では幅5.4m、深さ0.7mを測る。南北に走る001NRを掘り込んでいる。灰色シルトが主要な埋土で最下層は黒褐色シルトである。古墳時代土器が少量出土する。

003SD(第49・50図)調査区北東部002SDの東側に切られる溝である。ほぼ南北に走る。検出面で幅1.8m、深さ0.1mである。北壁断面では深さ0.7mで、002SDに東側を切られ、001NR埋土と明確に判別できないため幅は確定できない。褐色シルトが主要埋土である。古墳時代土器が少量出土する。

004SD(第49・50図)調査区北東部003SDに切られる溝である。ほぼ南北に走る。検出面で幅1.6m、深さ0.2mである。北壁断面では幅1.7m、深さ0.4mである。003SDに切られるため本来の大きさは不明である。古墳時代土器が少量出土する。

013SD(第49図)調査区西壁際に検出された。遺構の西半部は調査区外となる。遺存部で幅2.5m、深さ0.3mである。埋土は砂質が強い。002SD、003SD、004SDと同じくほぼ南北方向に走る。山茶碗が少量出土することから同方向に走る溝群が中世の時期と考える。

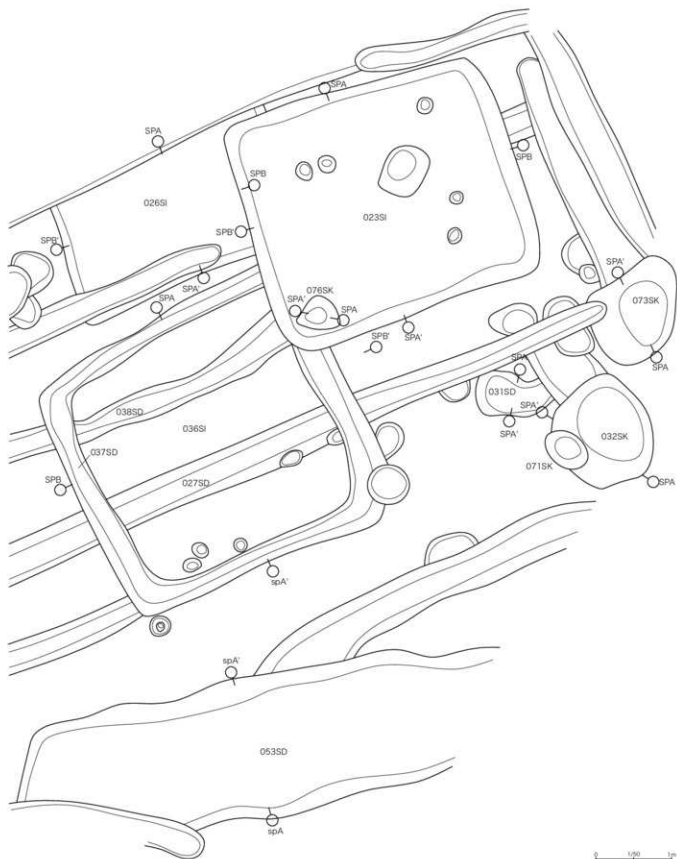
021SD(第51図)調査区中央で検出された。北西から南西方向に直線的に走する。幅2m、深さ0.1mを測る。

053SD(第47図)調査区中央で検出された。東西方向の溝で幅2m、深さ0.1mを測る。少量の山茶碗が出土し、中世の時期である。

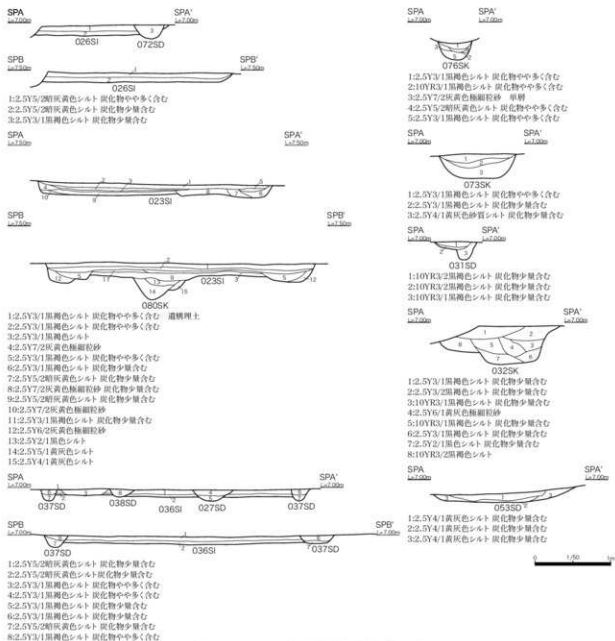
087SD(第51図)021SDの北側でこれに接して同方向に走る溝である。幅1.6m、深さ0.1mである。第5型式から第6型式の山茶碗が出土している。

(3) その他

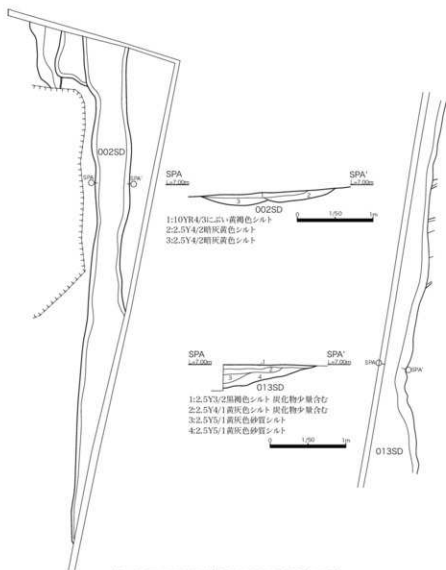
001NR(第51図)調査区東半から南部にかけて展開する自然河道である。最大幅10m、深さ0.8mを測る。埋土はシルトから細粒砂が主体となる。北端が姫下遺跡14区にあり、21区を南北に走っている。調査区内を南北に縦断して調査区南部で西に広がる。遺物はほとんど出土しない。他調査区の出土遺物および遺構の切り合い関係から中世の時期と推定する。



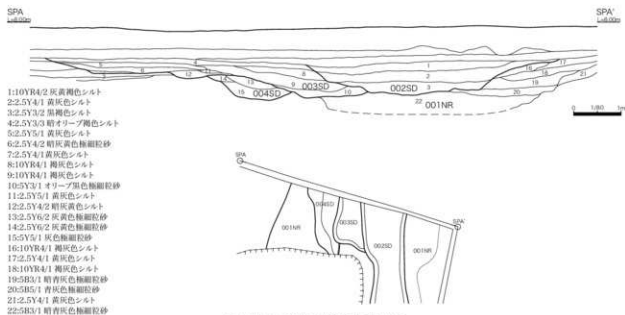
第 47 图 14E 区中央部 (1/50)



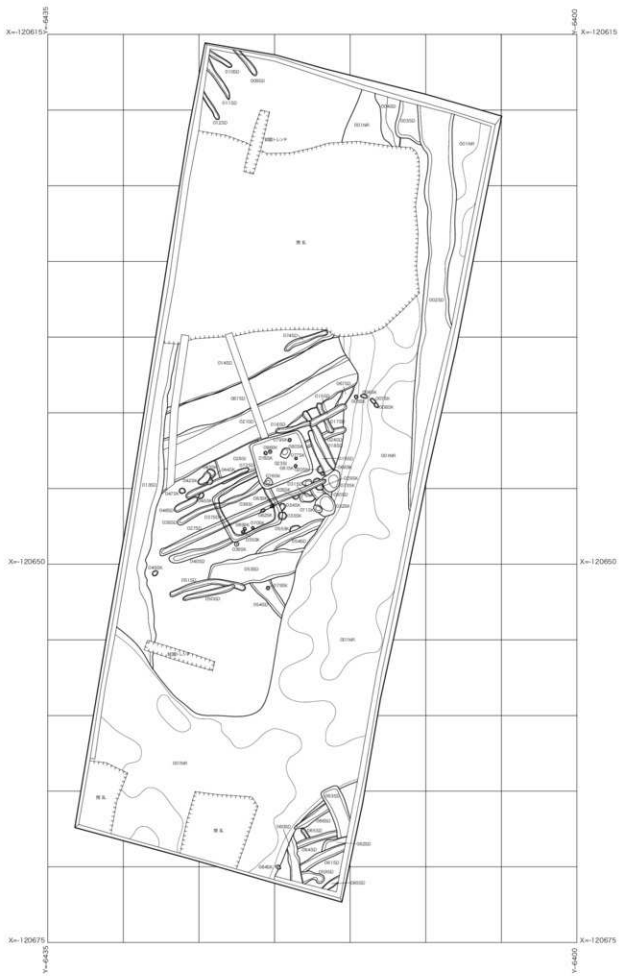
第 48 図 14E 区中央部遺構の断面 (1/50)



第49図 002SD断面-013SD断面 (1/50)



第50図 001NR北壁断面 (1/80)



第 51 图 14E 区全体图 (1/250)

第3節 寄島遺跡・下懸遺跡

平成28年度16区

1. 調査の概要

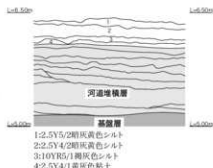
調査区は鹿乗川と鹿乗川専水路間の堤防部分にあたり、下懸橋に通ずる道路を挟んだ範囲に設定された。調査区全体に築堤時の盛り土があり、下層が昭和前半の耕作土となる。旧耕作土下面で遺構検出を行った。調査区ほぼ全体が古墳時代前期までの自然河道001NRであり、遺物包含層である河道堆積層を無遺物層まで掘り下げる調査を行った。

2. 基本層序

調査区全体にある約3.7mの盛り土は昭和30年代にこの地域で行われた土地区画整理に伴い、鹿乗川護岸工事と鹿乗川専水路の建設によって造成されたものである。下層の旧耕作土は昭和前半までの水田耕作によるものである。(第52図)。この下層に約0.9mの旧自然河道の堆積層があり、基盤の河川性堆積層に達する。

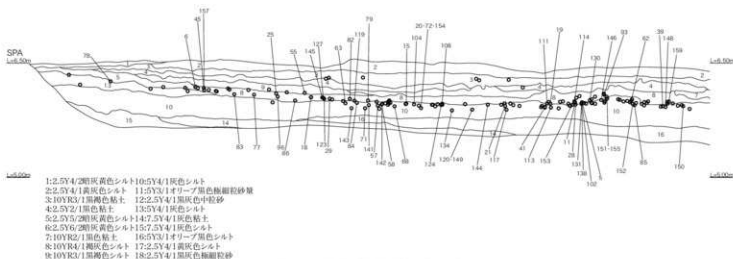
3. 遺構

001NR(第57図)調査区南隅で南岸が検出され、調査区ほぼ全体が旧河道に相当する。旧河道の検出された幅34m、深さ約1mを測る。南岸は緩やかな傾斜で、底面はほぼ平坦な地形である。やや北半が深い。基本的な層序は上層から1層黄灰色シルト、2層黒褐色シルト、3層灰色シルト、4層黒色シルト、基盤の灰色シルトとなる(第56図)。2層の黒褐色シルトを中心に古墳時代前期土器、木製品が出土する(第53～55図)。出土層の標高は6m程度で検出面から約0.5m掘り下げた層位となる。この自然河道は北東方向に走り、本報告の寄島遺跡14A区0026NR、11B区003NRに連なる。これらからは同様に古墳時代前期土器、木製品類が出土している。

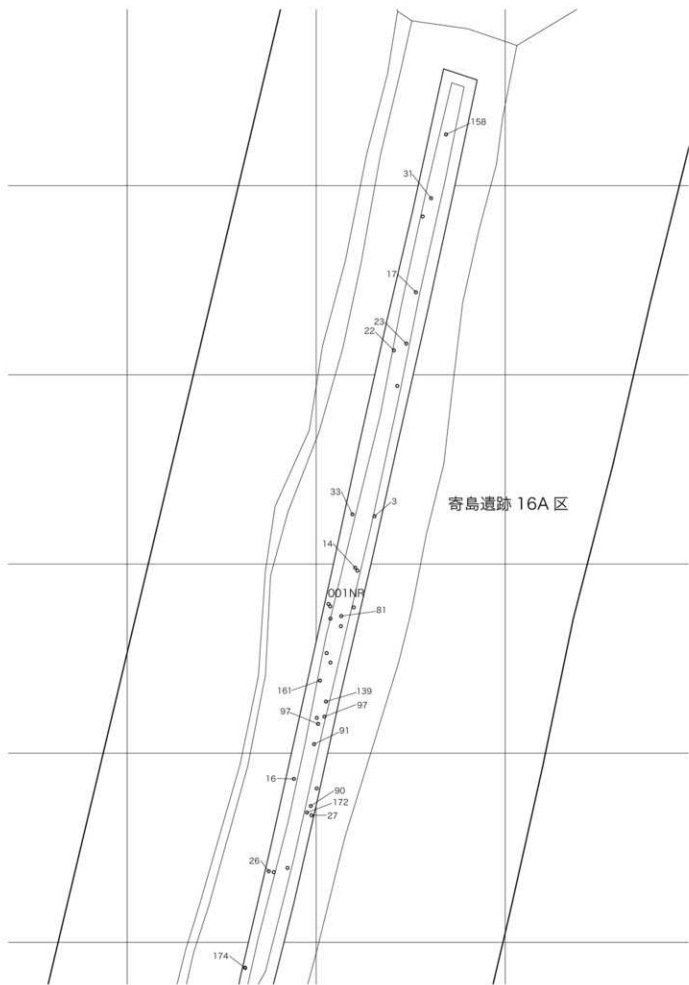


第52図 基本層序

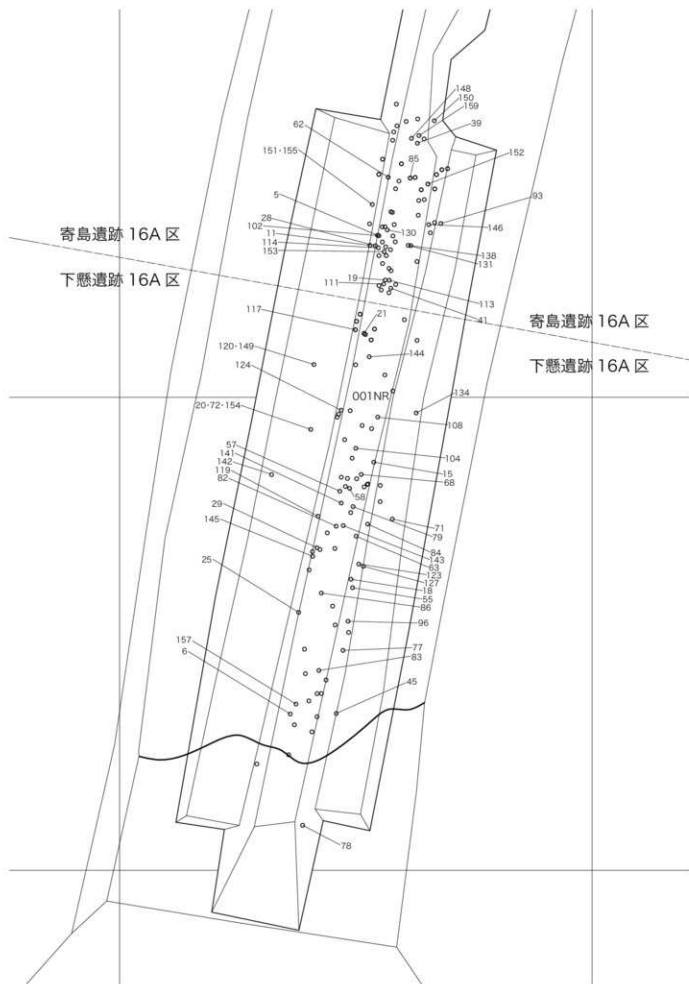
下懸遺跡16A区 ◀ 寄島遺跡16A区



第53図 遺物出土位置断面 (1/50)

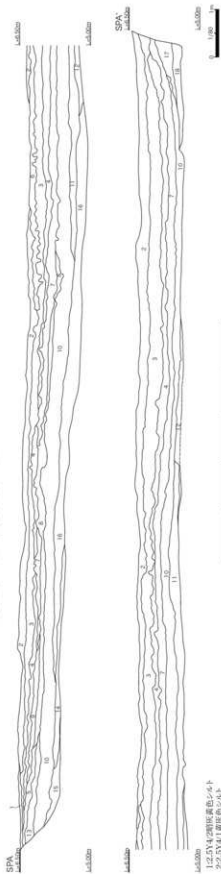


第 54 図 調査区北半遺物出土位置 (1/100)

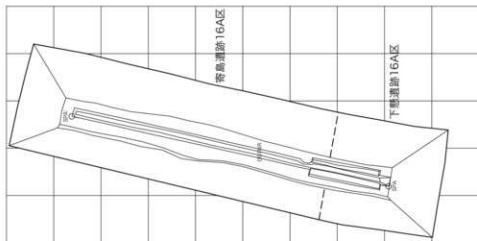


第 55 図 調査区南半遺物出土位置 (1/40)

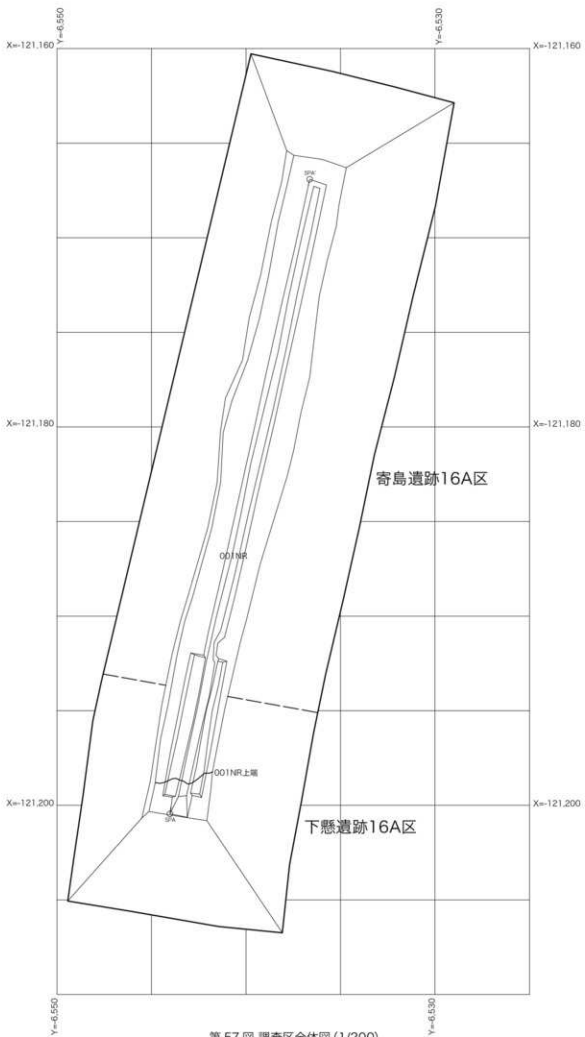
下駄道跡16A区 ◀ 寄島道跡16A区



- 1:2.5Y4.1/2黄褐色土
- 2:2.5Y4.1/1黄褐色土
- 3:10YR3/1黒褐色粘土
- 4:2.5Y2.1/1黒色粘土
- 5:2.5Y2.1/1黒色粘土
- 6:2.5Y6.2/1黄褐色土
- 7:10YR2/1黒色粘土
- 8:10YR4/1黄褐色土
- 9:10YR4/1黄褐色土
- 10:5Y4.1/1黄褐色土
- 11:5Y7.1/1カーズ褐色土
- 12:5Y4.1/1黄褐色土
- 13:5Y4.1/1黄褐色土
- 14:2.5Y4.1/1黄褐色土
- 15:5Y3.1/1カーズ褐色土
- 16:5Y3.1/1カーズ褐色土
- 17:2.5Y4.1/1黄褐色土
- 18:2.5Y4.1/1黄褐色土



第56図 西壁断面 (1/80)



第 57 図 調査区全体図 (1/200)

第4節 下懸遺跡

平成30年度18A区・18B区

1. 調査の概要

調査区は鹿乗川と鹿乗川導水路間の堤防部分にあたり、下懸橋の南50～100mの位置にある。南は平成23年度11B区となる。調査区は幅2～3m、南北長約50mと細長いため南北半2分測で北部を18A区、南部を18B区を設定した。調査区全体に築堤時の盛り土があり、この下が昭和期前半の耕作土となる。この旧耕作土下層の褐灰色粘土層面で上面の遺構検出を行い、褐灰色粘土層下層の基盤面で下面の調査を行った。

2. 基本層序

調査区全体にある1.2m～1.5mの盛土は昭和30年代に鹿乗川と鹿乗川導水路間の堤防建設によって造成されたものである。下層の旧耕作土は昭和期前半の時期の水田耕作によるものである。この下層に古墳時代から中世の遺物包含層である褐灰色粘土層があり、上面で中世の遺構が検出される。褐灰色粘土層を掘り下げた灰黄褐色シルト層上面で古墳時代の遺構が検出される(第58図)。

3. 遺構

(1) 古墳時代

a. 竪穴建物

002SI(第60図) A区北部の東壁際で検出され、全形は不明である。平面方形で北西隅の部分が確認され、長軸1.3m、深さ0.1mを測る。埋土は炭化物和焼土を多く包含する。前期廻間I式土器が出土する。

004SI(第60図) A区中央部の東壁際で検出され、全形は不明である。平面方形で北西隅の部分が確認され、長軸1.3m、深さ0.2mを測る。前期廻間I式土器が出土する。

006SI(第60図) A区中央部で検出された。西壁際で検出され、西半は調査区外である。平面方形で、南北長約4mを測る。周溝が検出され、床面で炭化物が確認された。遺物は出土していない。

008SI(第60図) A区南部で検出された。平面方形で浅い周溝の一部が検出された。規模と時期は不明である。

021SI(第60図) B区北部で検出された。東壁の断面で床面直上に包含層が確認できた。長4m、深さ0.1mを測る。古墳時代の時期と考える。

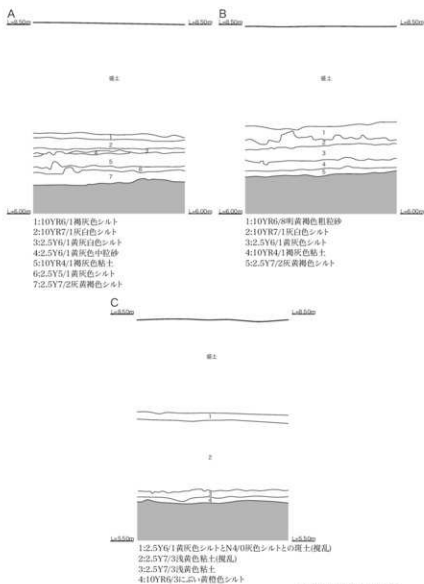
b. 土坑

007SK(第60図) A区中央部西壁際で検出された。東側の一部のみで、平面は円形ないし楕円形をなす。長径3.7m、深さ0.5mを測る。南部が一段低い掘り方である。調査区外で更に下がる可能性があり、湧水層に達していることから井戸の可能性もある。

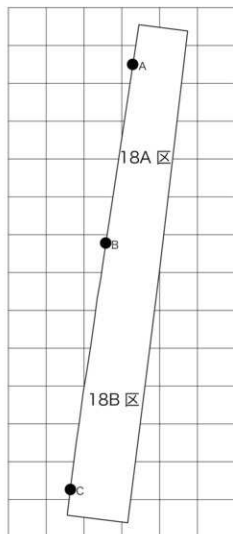
(2) 中世

上面で溝1条が検出された。

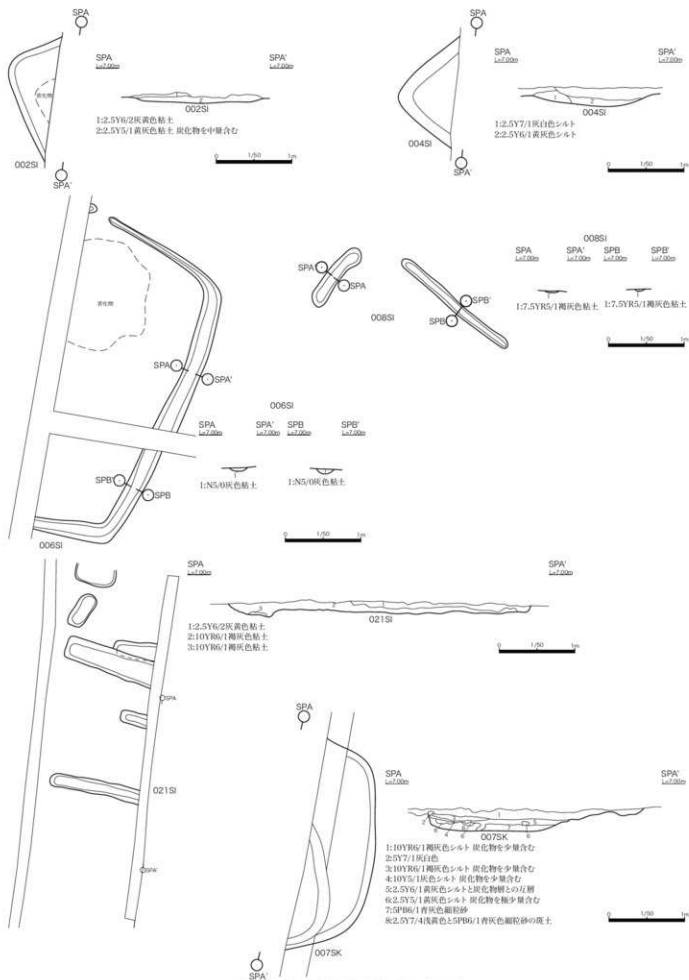
001SD(第59図) A区中央で検出された。幅2.6m、深さ0.3mを測り、北東から南西方向に走る溝である。常滑窯産産が出土し、中世の溝である。



第 58 図 基本層序



第 59 図 001SD(1/50)



第 60 図 古墳時代竪穴建物・土坑 (1/50)

X=121250

X=121250

X=121270

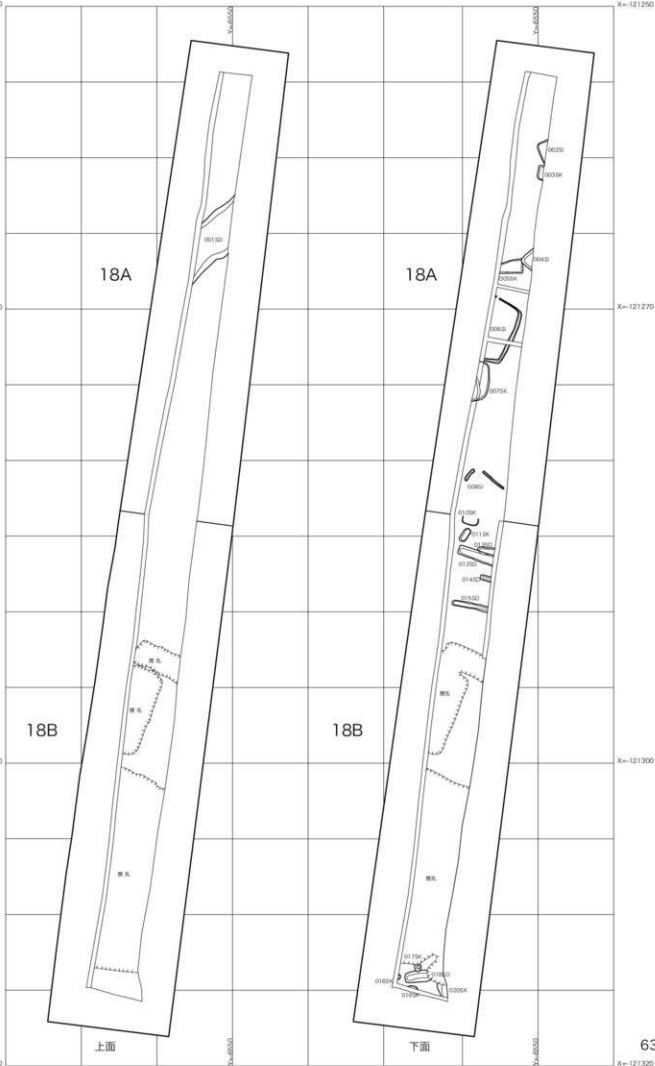
X=121270

X=121300

X=121300

X=121320

X=121320



第 61 図 調査区全体図 (1/250)

第3章 遺物

叙述にあたり古墳時代前期の土器編年は赤塚次郎氏の提唱する案を参照する。(赤塚次郎 1990「V考察」『狭間遺跡』)

第1節 姫下遺跡

平成26年度14区

1. 遺構内出土遺物

(1) 古墳時代

a. 竪穴建物

097SI (第62図) 1は小形丸底壺、2はS字甕C類である。

154SI (第62図) く字状口縁甕はくびれが弱く立ち上がる口縁の3と外反する4がある。5は肩部に横方向沈線が施される広口壺である。

159SI (第62図) 6は口縁が大きく外反する甕である。7は口縁が外反するく字状口縁甕。

241SI (第62図) 8は広口壺、9は外反するく字状口縁甕である。10は平底甕である。

242SI (第62図) 11は外反する口縁のく字状口縁甕、12は平底甕である。

243SI (第62図) 13は二重口縁壺、14は椀形高杯である。

244SI (第62図) 15は二重口縁壺。16は口縁が外反するく字状口縁甕。17から20は台付甕脚部である。21は椀形高杯の脚部の可能性がある。22は有段高杯の脚部、23は小形の鉢である。

b. 土坑

021SK (第62図) 24は大形の壺口縁部である。口縁端部は折り返して肥厚し、縦方向の貼り付け浮文が数カ所ある。頸部に隆帯が巡り凹形浮文が貼り付けられる。台付甕脚部25～27、高杯脚部28・29がある。

120SK (第62図) 30は平底甕底部である。

125SK (第62図) 31はS字甕C類である。32は平底甕である。

136SK (第62図) 33は折脚高杯の脚部である。

143SK (第63図) 41は廻間Ⅲ式の二重口縁壺である。42・43は小形の壺の底部、44・45は加飾された大形壺の肩部である。46、49～60はく字状口縁甕の口縁から体部である。46は頸部くびれが弱く、口縁が立ち上がる。49～52は口縁が直線的に開く。53～60は口縁が外反する。52は注ぎ口が一ヶ所ある。59は口縁端部に刻み目を巡らす。47・48は受け口状口縁甕で口縁端部を上方向につまみ上げる。61・62は叩き甕の底部である。63～66は台付甕の脚部である。64は脚部下端に板状工具で横方向の調整を巡らす。66は小形のものである。67・68は有段高杯、69～77は高杯体部から脚部で70は有段高杯、他は椀形高杯である。これらは廻間Ⅲ式が主体となる。

214SK (第62図) 34は小形ないしはミニチュアの鉢である。口縁端部に沈線が巡る。

289SK (第62図) 35は器台である。

290SK (第62図) 36は廻間Ⅱ式の有段高杯である。

c. 溝

138SD (第62図) 37は大形の平底甕。

156SD (第62図) 38は平底甕、39は台付壺の脚部と推定される。

226SD (第62図) 40は口縁が立ち上がるく字状口縁甕である。

(2) その他の時期

048SD (第65図) 118は須恵器杯身である。

090SD (第65図) 119は灰軸陶器椀である。

2. 遺構外出土遺物

(1) 古墳時代 (第64図)

遺構外出土の土器群である。73～75は口縁部を加飾する大形壺口縁部である。74・75は口縁端部に貼り付け文がある。76～79は二重口縁壺の口縁部である。79は外面に波状文を巡らし、内面に貝状工具による刺突を巡らす。80・81は広口壺口縁部である。82は外来の北陸系壺口縁部である。上方に立ち上がる口縁外面に5条の沈線を巡らす。83・84は外反する口縁のく字状口縁壺、85・86はやや受け口状になるく字状口縁壺である。87～89はS字壺ないしは類似の壺である。90～96は平底の壺である。90は球胴形の体部に底部中央に焼成前の穿孔がある。92～94は小形の壺である。96は壺ないし鉢で、厚い底部に穿孔がある。97・98は台付壺の脚部である。99～105は高杯である。99は外来系の高杯の口縁部である。口縁は体部から直立する。100～103は折脚高杯である。104・105は高杯の脚部である。106、107は鉢である。106は口縁やや下に焼成前の穿孔がある。107は開く体部にやや受け口状の口縁がつく。108は小形丸底壺である。109～111は小形の壺の底部である。112は底部に瓶的な細かい多数の穿孔がある鉢ないし壺である。113は蓋のつまみ部である。114～117はミニチュア土器である。

(2) その他の時期 (第65図)

古墳時代以外の時期ないしはその可能性のある遺物でほとんどが遺構外出土のものである。136は弥生時代中期土器の壺肩部である。120～129は灰軸陶器で120～128は椀、129は器種不明である。130、131は山茶碗である。132・133は瓦で灰軸陶器と同時期のものである。134・135は陶丸で山茶碗の時期である。S-1は石製品で、全体に摩耗し、敲打痕がある。時期不明である。

令和3年度 21区

1. 遺構内出土遺物

遺構内から出土した古墳時代前期の土器である。

022SI (第66図) 1・2は外反する口縁のく字状口縁壺である。

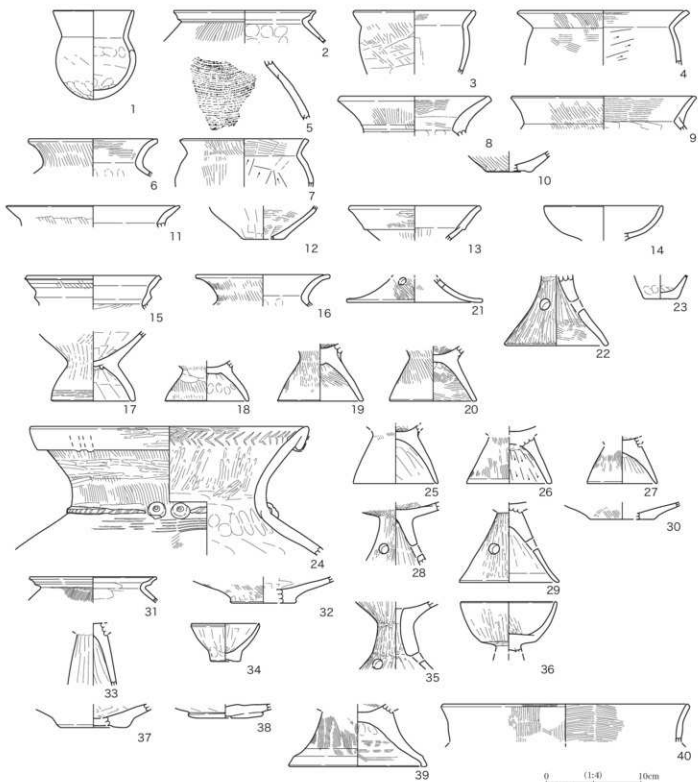
038SI (第66図) 2は加飾される壺肩部で、横方向沈線と連続刺突文がある。

004SK (第66図) 4は大形の壺底部、5は平底壺である。6は小形の鉢、7は直線的に開く口縁のく字状口縁壺である。8は椀形高杯である。

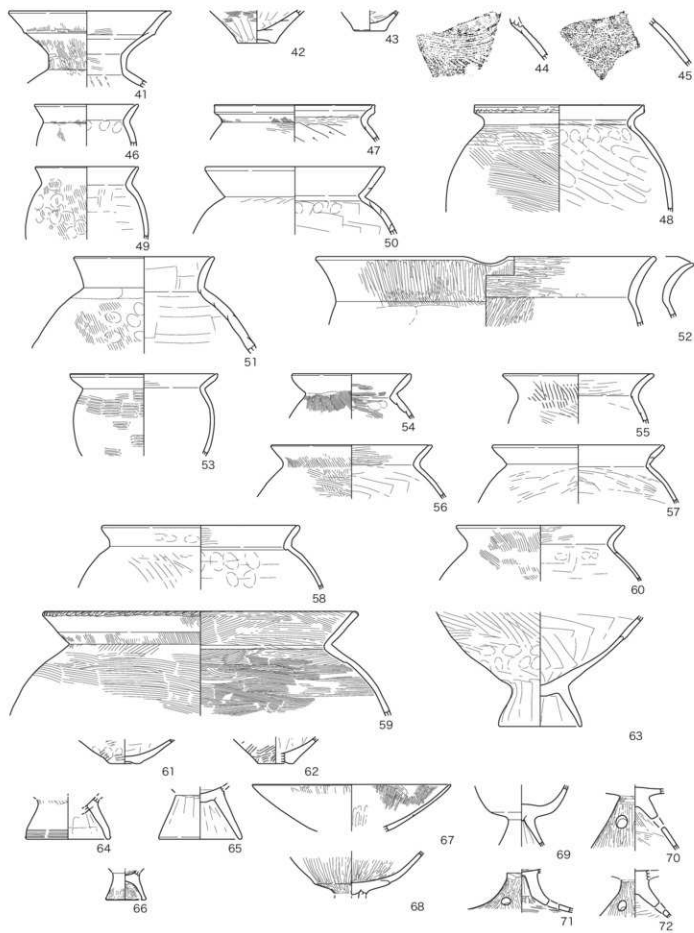
2. 遺構外出土遺物

039NR (第66図) 南西部の旧河道で古墳時代前期の遺物が出土している。20はく字状口縁壺、21は小形の高杯である。23・24は有段高杯である。25は小形丸底鉢、22は器種不明の土器底部である。

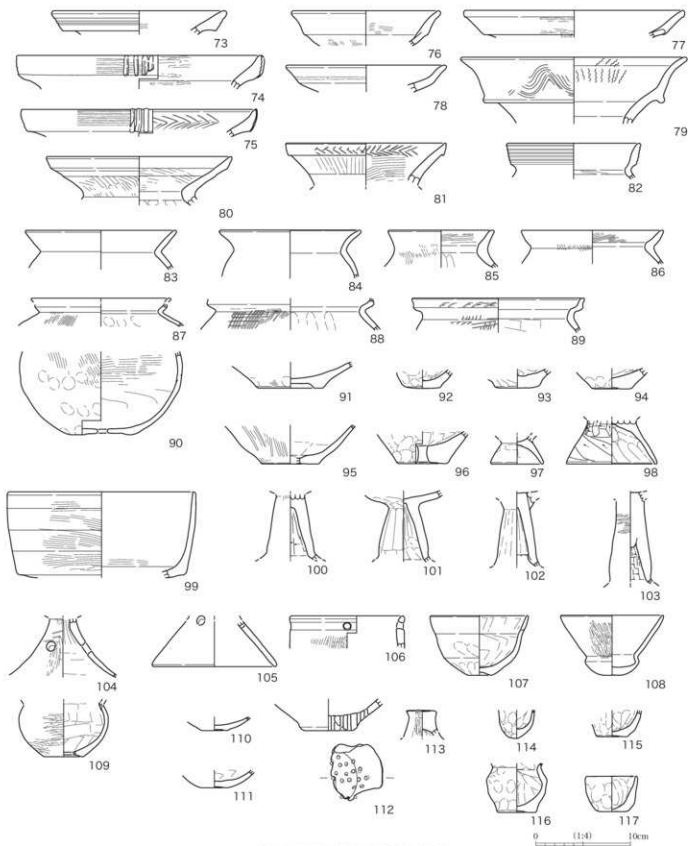
9～19は調査区南西部の古墳時代包含層の出土遺物である。9は加飾壺肩部、10は直口壺、11は二重口縁壺、12は大形の壺の底部、13は台付壺、14～16は平底壺、17は折脚高杯、18は高杯である。上層から19の山茶碗が出土している。26～29は旧河道などのトレンチ出土遺物で、26は不明土製品、27は古墳時代の平底壺、28は瓦を加工した円盤形土製品、29は山茶碗皿である。



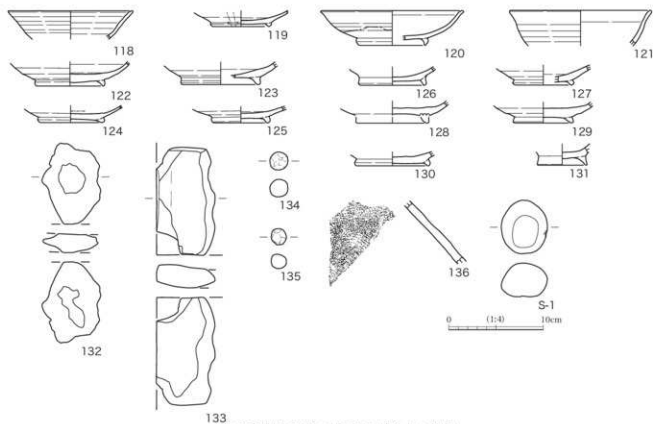
第 62 图 姪下遺跡 14 区出土土器 1



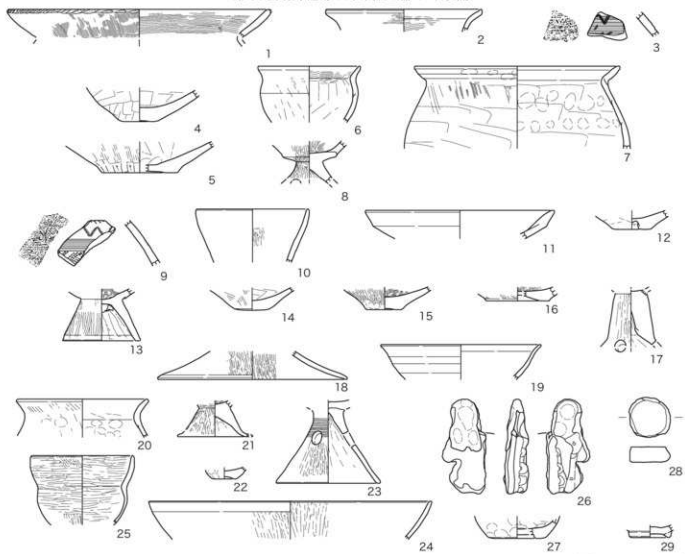
第 63 图 姺下遗址 14 区出土土器 2



第64图 姬下遺跡14区出土土器3



第65图 姬下遺跡14区出土土器4・石製品



第66图 姬下遺跡21区出土土器

第2節 寄島遺跡

平成26年度14A区

1. 遺構内出土遺物

古墳時代前期遺構の出土遺物である。

006SD(第67図)1は二重口縁壺、2は大形の壺、3は有段高杯である。4は小形壺で底面にヘラ状器具による同心円状の文様が施される。

031SK(第67図)5は小形の鉢である。

053SK(第67図)6は高杯脚部である。

2. 遺構外出土遺物

(1) 古墳時代前期

026NR(第67～71図)7～21は広口壺である。7は口縁端部を下に拡張し、装飾する。8、12は口縁端部を面取りする。13～16は肩部に加飾する。13は横沈線と刺突文、14～16は横沈線と波状文が施される。22～54はく字状口縁甕である。22、23、26は口縁端部を面取りし、口縁部が直線的に開く。24、25は短く外反する口縁部である。27～36は口縁端部を面取りせず、口縁部が直線的に開く。37～47は口縁端部を面取りせず、口縁部が外反する。48～54は頸部のくびれが弱く、口縁部が立ち上がり気味である。55～60は受口状口縁甕である。55は口縁が内湾する。56は口縁端部を短くつまみ上げる。57～60は口縁部は上方に屈折する。61～63はS字状口縁甕である。61はB類、62、63はA類である。64は体部に叩き目を施される甕である。65は平底甕の体部から底部、67～72は平底甕の底部、73～87は台付甕脚部である。88～106は有段高杯である。89～93は口径に比べて杯部の浅いもの、94～97は杯部の深いものである。脚部101～104は内湾するもの、105、106は直線的に開くものである。107～121は椀形高杯である。111～118は脚部である。111は脚部の開きが少ない。112、113は直線的で短く開く。114、115は内湾気味に開く。116～118、120、121は外反して開く。119は折脚高杯である。122は小形壺、123～125は長径壺である。126は小形の壺底部である。127、128は大形器台である。129～135は小形鉢、136は鉢である。129～131は直線的に開く口縁、132は椀形、133は屈曲する口縁である。137、138はミニチュアの甕、鉢である。

(2) その他の時期

026NR(第71図)139は縄文土器の深鉢体部である。140は弥生土器の高杯の可能性はある。

141～145、S-1、S-2は包含層出土の遺物である。141～144は灰陶陶器である。143の底部外面に「仁」の墨書がある。145は山茶碗である。S-1は穿孔がある小形石製品で時期不明である。S-2は摩擦部がある台盤状の石製品で炭化物が平坦面に付着する。

平成26年度14B区

1. 遺構内出土遺物

古墳時代前期遺構の出土遺物である。

011SI(第72図)161は加飾される大形壺の肩部で横方向沈線文と刺突文が施される。

003SD(第72図)146は口縁を上下に拡張して加飾する壺である。147は横方向の沈線文と波状文の施される壺の肩部で、148～150は大形の壺底部である。151はく字状口縁甕口縁部、152、153は平底甕、154は台付甕脚部である。155は高杯脚部、156は小形の壺、157は小形の鉢である。

012SD(第72図)158は蓋のつまみ部である。

013SD (第 72 図) 159 は椀形高杯である。

019SD (第 72 図) 160 は台付甕脚部である。

2. 遺構外出土遺物

(1) 古墳時代

包含層出土遺物である。162 は平底甕、163 は台付甕脚部である。164 は椀形高杯脚部、165 は小形の器台口縁部である。166、167 は小形の壺底部である。

(2) その他の時期

168 は横方向の条痕が施される深鉢で、外反する口縁部である。169 は須恵器杯身である。170 は灰軸陶器碗、171～174 は山茶碗、175 は山茶碗皿である。176 は古瀬戸施軸陶器で灰軸皿である。

平成 26 年度 14C 区

1. 遺構内出土遺物

(1) 古墳時代

002SI (第 73・76 図) 177 は薄い器壁で球状の体部に立ち上がる口縁部となる大形壺である。肩部に不定形の沈線が施される。178、179 は二重口縁壺、180 は大形壺底部である。181 はく字状口縁甕である。182、183 は折脚高杯、184 は椀形高杯である。185 は小形壺である。S-6 は摩耗痕がある軽石である。

005SI (第 73 図) 186、187 は二重口縁壺である。189 は口縁が立ち上がるく字状口縁甕、190 は甲き目のある平底甕、188 は器台で、器壁は薄い。

017SI (第 73 図) 191 は折脚高杯脚部である。

049SK (第 73 図) 192 はく字状口縁甕でやや受け口状となる口縁である。

030SL (第 73 図) 193 は台付甕脚部である。

001SD (第 73 図) 195～197 はく字状口縁甕、198 は平底甕、200 は台付甕脚部、201 は椀形高杯、199 は小形の壺である。202 は大形の鉢で半球形胴部で上方に立ち上がる口縁部となる。これらは 001SD が切る 017SI に属する遺物と考える。

039SD (第 73 図) 203 は口縁端部を拡張して加飾される大形壺、207 は二重口縁壺である。204 は口縁を肥厚するく字状口縁甕、205、206 は台付甕脚部である。

(2) その他の時期

001SD (第 73・76 図) 194 は中世の土師器皿で、001SD はこの時期である。S-4 は直方体に近い形の石製品で一面に摩耗痕があることから砥石の可能性がある。中世の時期と考える。

015SD (第 76 図) S-3 は大形の石鑑で弥生時代の可能性がある。

037SK (第 76 図) S-5 長楕円形に近い平面形の平石である。表裏に摩耗痕があり、長軸の両端などの縁辺に打痕がある。時期および性格不明な石器である。

2. 遺構外出土遺物

古墳時代包含層より出土した遺物である。208 は甲き調整の施される甕、215 はく字状口縁甕、210～212 は台付甕脚部である。209 は小形の甕で、受け口状口縁となる。213 は鉢、214 は小形壺、216 は小形の鉢である。

平成 26 年度 14D 区

1. 遺構内出土遺物

001SD (第 74 図) 217～220 は古墳時代須恵器杯身である。

2. 遺構外出土遺物

221、222 は灰釉陶器碗である。

平成 26 年度 14E 区

1. 遺構内出土遺物

古墳時代前期の遺物が大部分であり、中世遺物が少量出土する。

023SI (第 74 図) 223、224 は平底甕、225 は台付甕脚部である。226 は椀形高杯である。

026SI (第 74 図) 227 は蓋、228 は長頸壺である。

033SK (第 74 図) 229 はく字状口縁甕である。

011SD (第 74 図) 230 は広口壺である。

013SD (第 74 図) 231 は広口壺である。232 く字状口縁甕、233、234 は平底甕、235、236 は台付甕である。237 は小形の壺ないしは鉢に脚台が付くものである。238 は器種不明のミニチュアである。239 は須恵器杯蓋である。240 は山茶碗である。

014SD (第 74 図) 241 は二重口縁壺である。242～244 はく字状口縁甕である。246 は平底甕、247 は台付甕脚部である。245 は S 字甕 A 類である。248 有段高杯、249 は小形壺、250、251 は小形の壺底部である。

019SD (第 74 図) 252 は大形の壺底部、253 は有段高杯である。

030SKD (第 74 図) 254 は灰釉陶器碗である。

040SD (第 74 図) 255 は有段高杯である。

053SD (第 74 図) 256 は加飾される広口壺である。257 は大形の壺底部である。258 は山茶碗である。

067SD (第 74 図) 259 は台付甕脚部である。

087SD (第 74 図) 260 は大形の壺、261 は小形の壺の底部である。262～265 は第 5～6 形式の山茶碗である。

2. 遺構外出土遺物

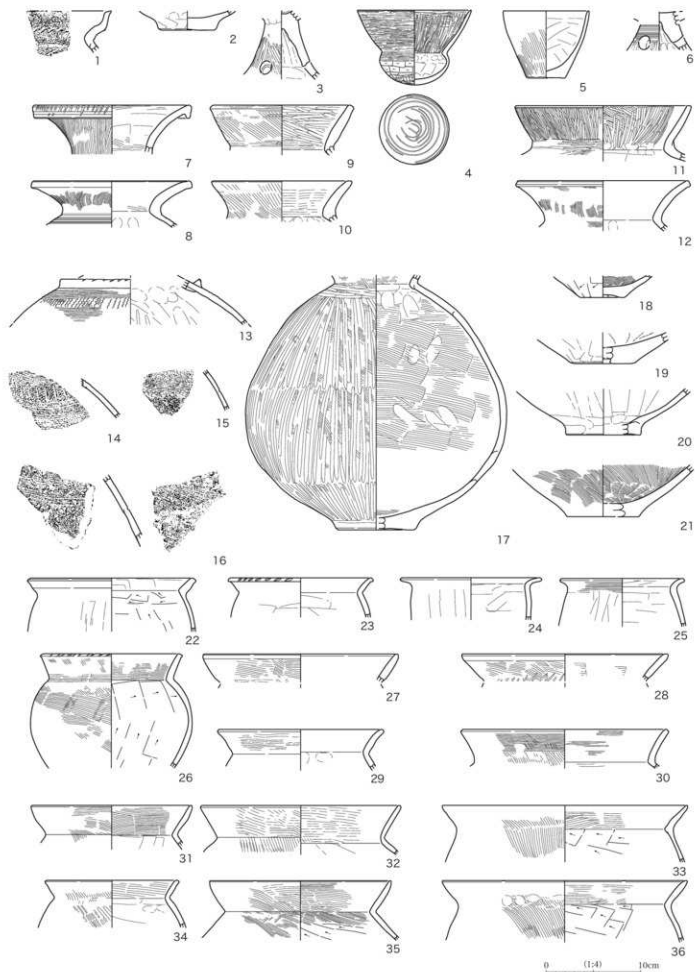
(1) 古墳時代

026NR (第 75 図) 266、267 は小形の器台である。268 はく字状口縁甕である。

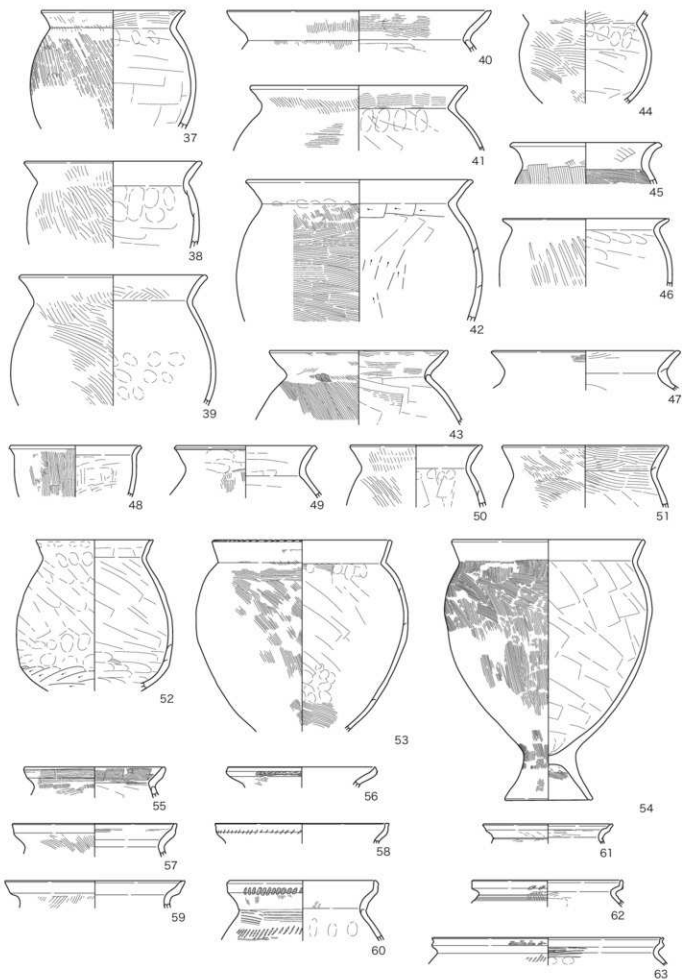
269～286 は包含層出土遺物である。270 は引き調整が施される甕、271～272 はく字状口縁甕、273 は平底甕である。274 は長頸壺、275 は小形の壺底部である。269、276、277 は有段高杯である。

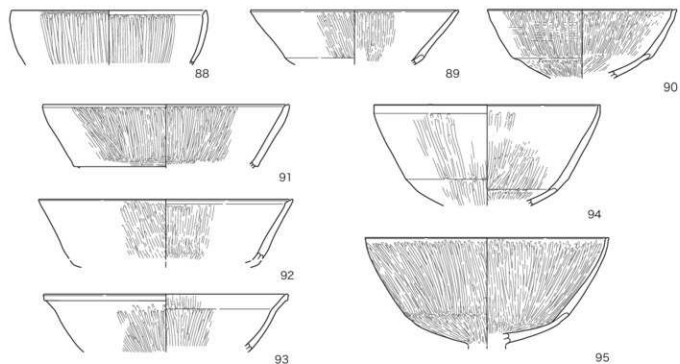
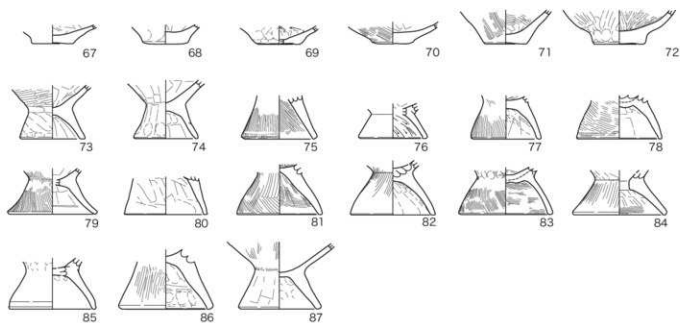
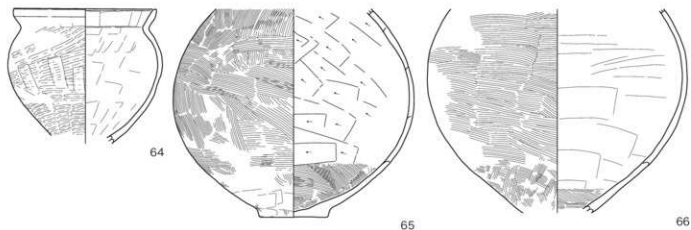
(2) その他の時期

278～286 は第 5～6 形式の山茶碗である。S-7 は砥石で時期不明である。

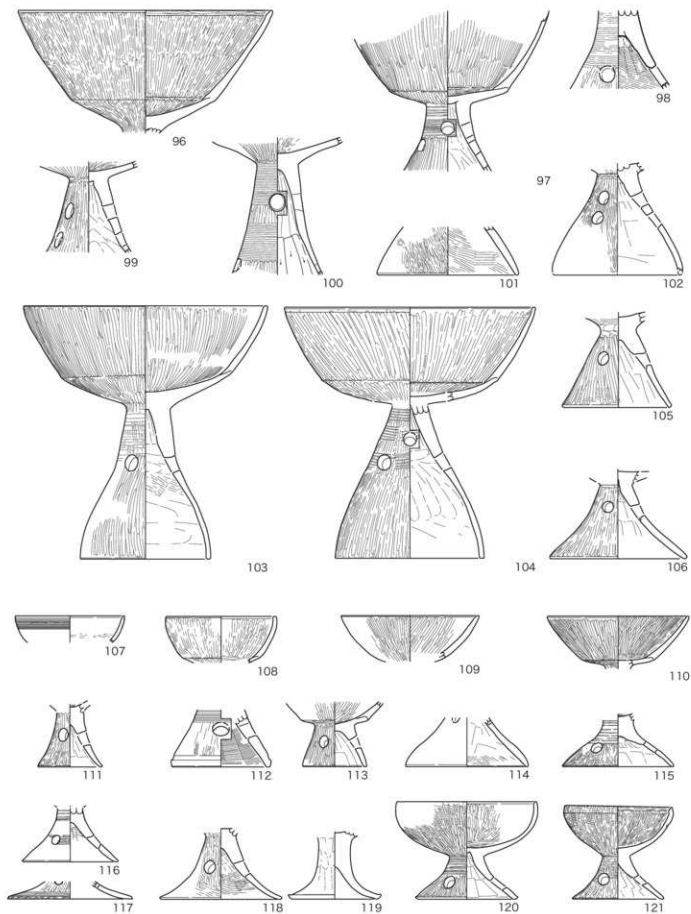


第 67 图 寄島遺跡 14 区出土土器 I



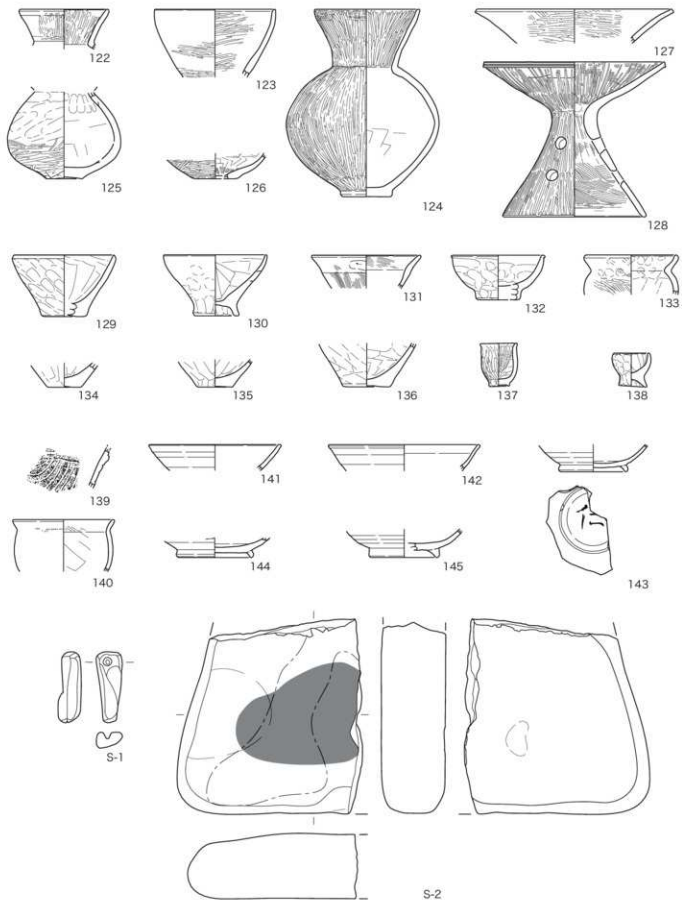


0 (1:4) 10cm

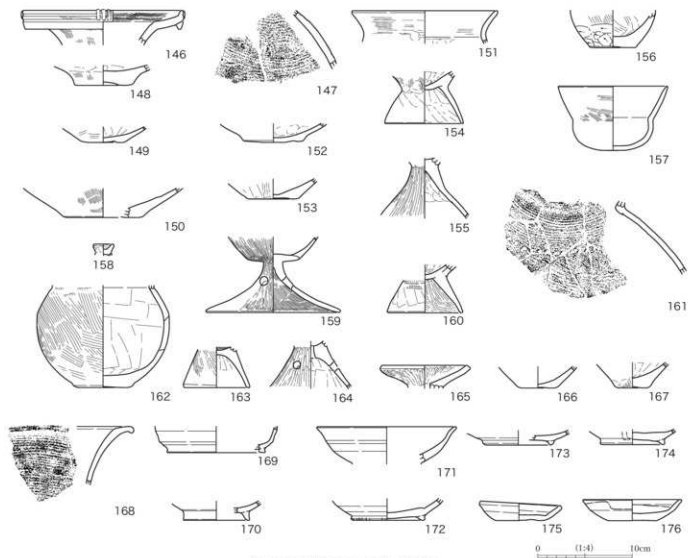


第 70 图 寄島遺跡 14 区出土土器 4

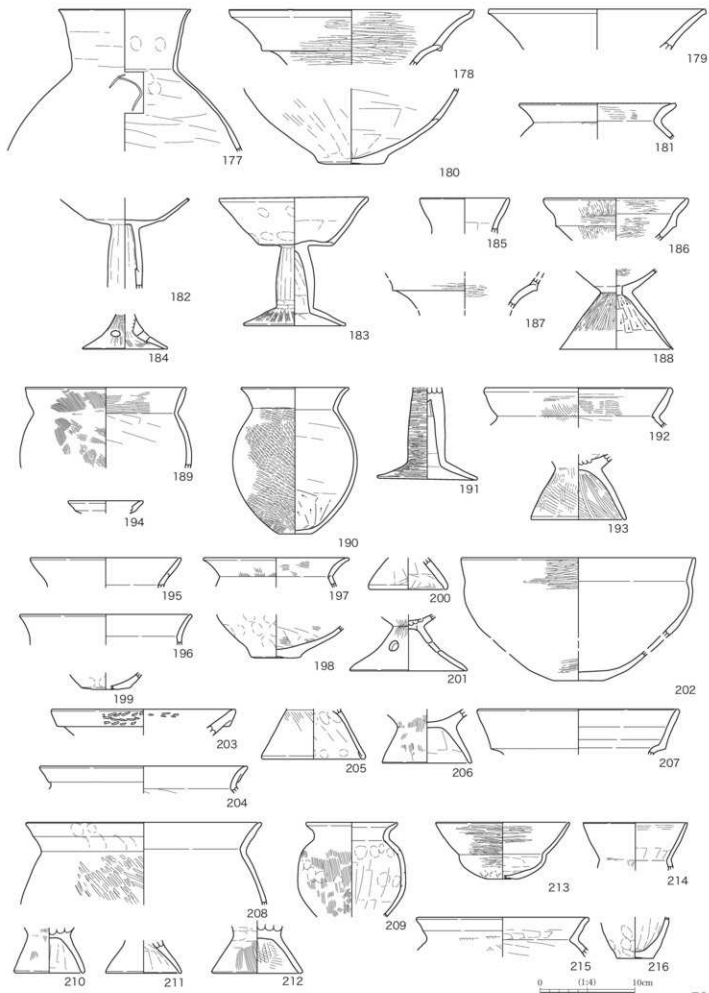
0 (1:4) 10cm



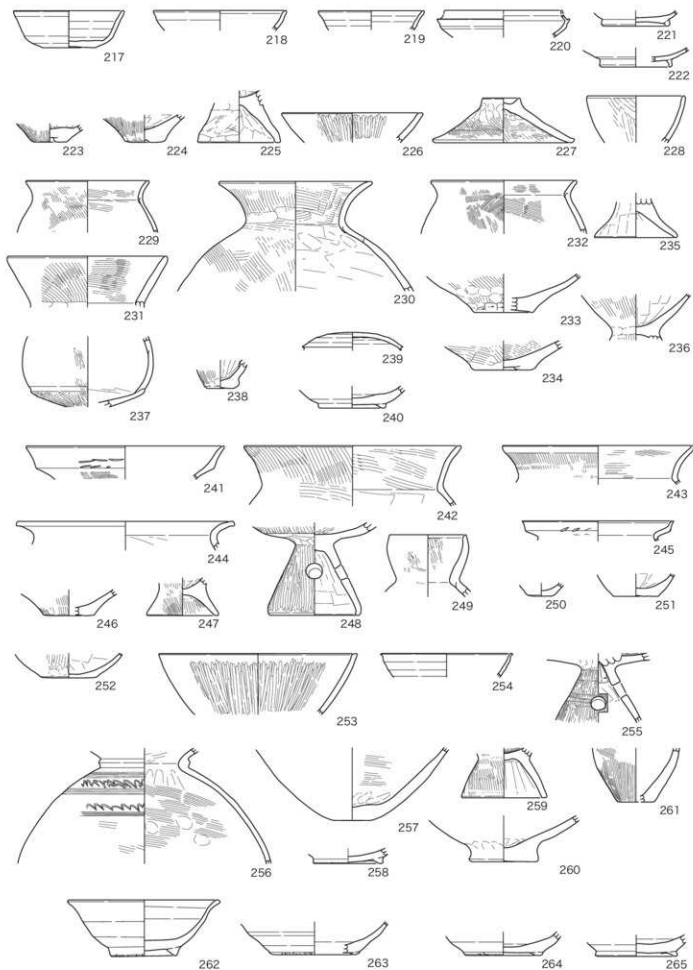
第71图 寄岛遺跡14区出土土器5・14A区石製品



第 72 图 寄岛遗迹 14 区出土土器 6

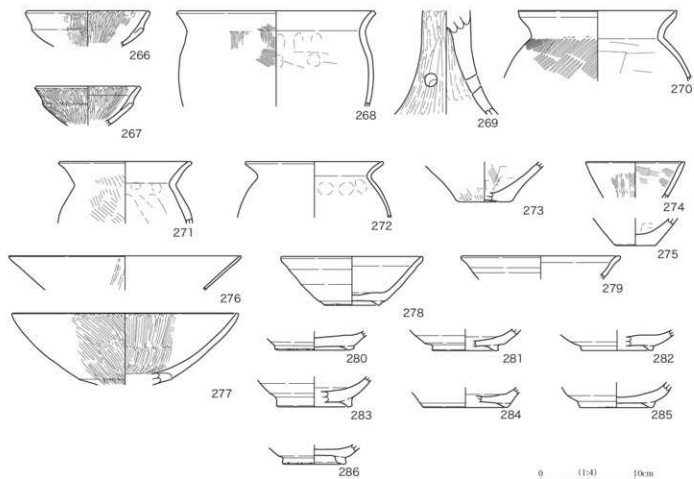


第73图 寄岛遗址14区出土土器7

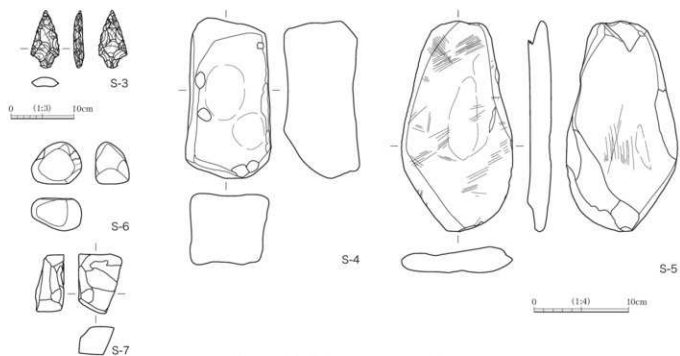


0 (1:4) 10cm

第 74 図 寄島遺跡 14 区出土土器 8



第 75 图 寄島遺跡 14 区出土土器 9



第 76 图 寄島遺跡 14C 区・14E 区石製品

第3節 寄島遺跡・下懸遺跡

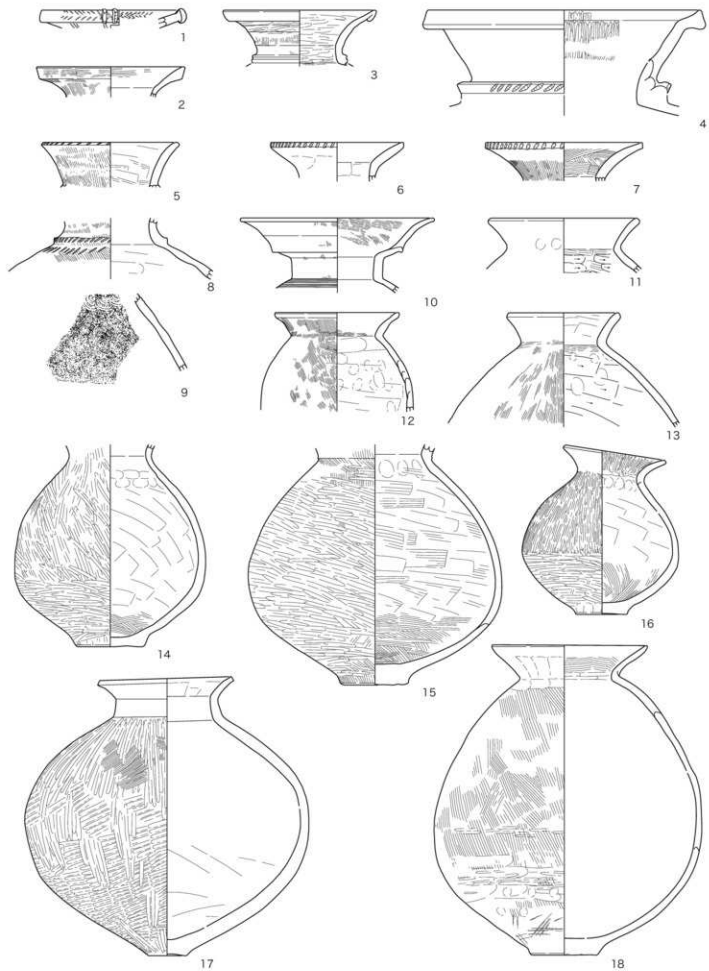
平成28年度16区

(1) 古墳時代

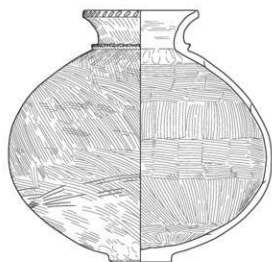
NR001(第77～85図)1～9,11～21は広口壺である。1～4,19～21は口縁端部を拡張し、口縁へ肩部に加飾する。8,9は同類の肩部である。全形がわかる19～21では胴部が球形となる。5～7は口縁端部に面を作り、刺突を巡らす。12～18は口縁部を拡張せず、口縁部から肩部にかけて加飾しないものである。12,16は小形で他は大形である。体部は球形となるものが多い。14,18は胴部最大径が下部となる下膨れ的な器形である。22～29は大形の壺の底部である。10は二重口縁壺で肩部に沈線を巡らす。30～55,68,69,71～73はく字状口縁壺である。全形判別できるものでは53が平底甕、68,69,71～73は台付甕である。30は口縁端部を面取りし、外反する。31～36口縁端部を面取りし、口縁は直線的に開く。37～42,69は直線的に開く口縁である。43～47,73は外反する口縁である。48～55,68,72は頸部のくびれが弱く、口縁が立ち上がる。56～62は口縁が内湾する。61は内側口縁端部をつまみ上げる。62～64は口縁部が中位で上方に屈折して受け口状になる。65～67は平底の甕底部である。70は台付甕の胴部、74は底部から胴部である。75から90は台付甕の脚部である。89は甕底部に焼成前の穿孔がある。90は小形品である。91はS字甕の脚部である。92～96はS字甕で、93はA類の他はB類である。97～117は有段高杯である。97～99は杯部が口径に対して浅いもので、101～106,108～114は深いものである。107は杯部が浅く、皿状になる。脚部は110,112,114は直線的に開き、109,111,113,115～117は内湾気味に開く。118～127は碗形高杯である。118は杯部が直線的に開く。119,120は杯部が碗型となる。脚部は120が直線的に開く、121～127は外反気味に開く。128,129は短頸壺である。131～143は長頸壺である。132～136,142は頸部が内湾気味に開く。143は直線的に開くものである。130は内湾して大きく開く小形の壺の口縁である。144は台付の長頸壺的な器種である。145～152は器台である。高杯状の脚部をもつ大形のもので、脚部は151が直線的に開き、147～150,152は内湾気味に開く。153～156は大形の鉢である。153～155は口縁中位が上方に屈折する。157,158は小形の壺である。159はミニチュア的な小形の台付甕である。160,161は小形の鉢で160は口縁が外反し、161は内湾するものである。W-1は板材の一部である。W-2は自然木を表面加工し、端部近くにうがりを入れており、建築材である。W-3は角棒である。W-4は自然木を表面加工し、うがりを入れており、建築材である。

(2) その他の時期

NR001(第84図)162～164は弥生土器である。162は高杯口縁部、163は高杯脚部、164は碗形の高杯口縁部である。165～169は須恵器である。165,166は杯身、167は杯蓋、168は器種不明、169は瓶の取手である。170,171は灰釉陶器で170は皿、171は碗である。172～188は山茶碗で、172～183は碗、184～188は皿である。いずれも第5～6型式である。179～181底部外面には墨書があり、判読できない。189は中世の内耳鍋の口縁部である。190は須恵質の有溝陶甕である。



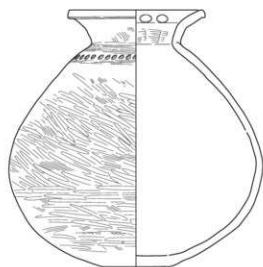
第 77 図 寄島遺跡・下懸遺跡 16 区出土土器 1



19



20



21



22



26



23



27



24



28



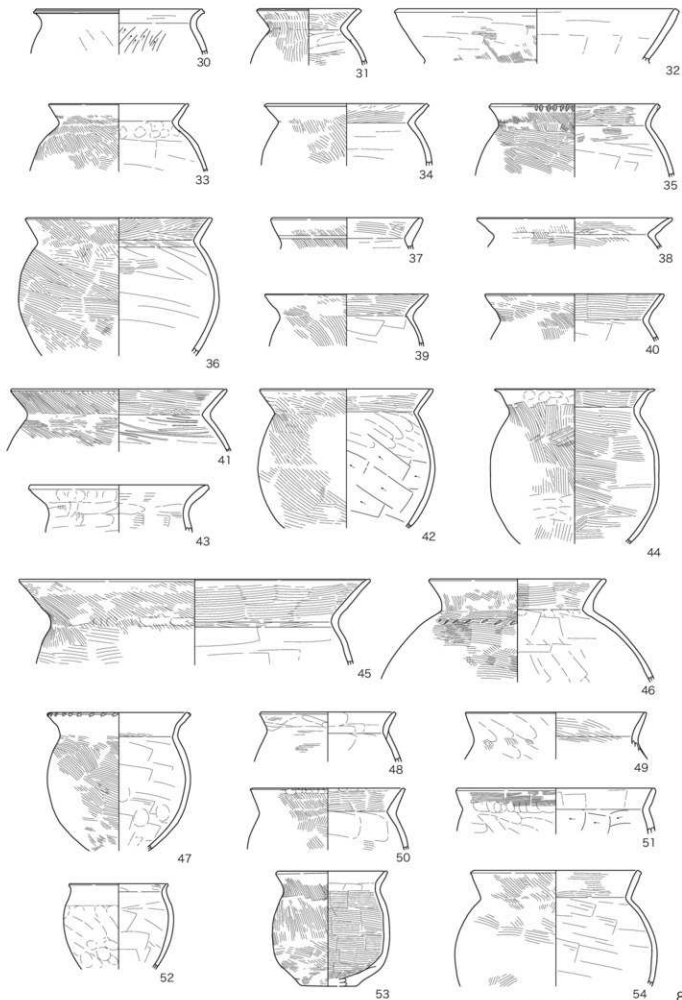
25



29

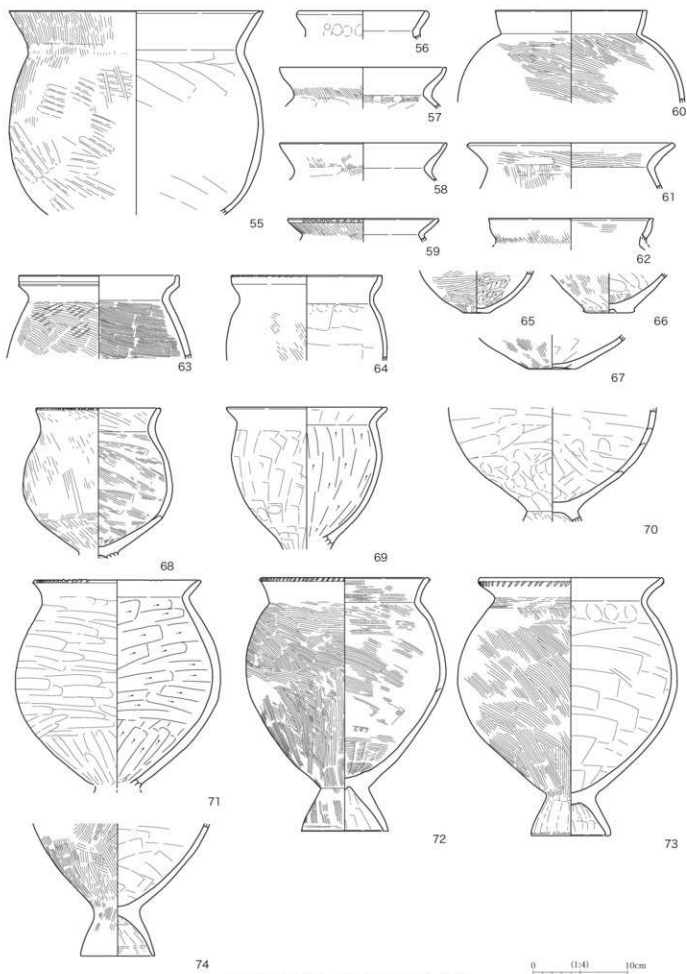
0 (1:4) 10cm

第 78 图 寄島遺跡・下懸遺跡 16 区出土土器 2

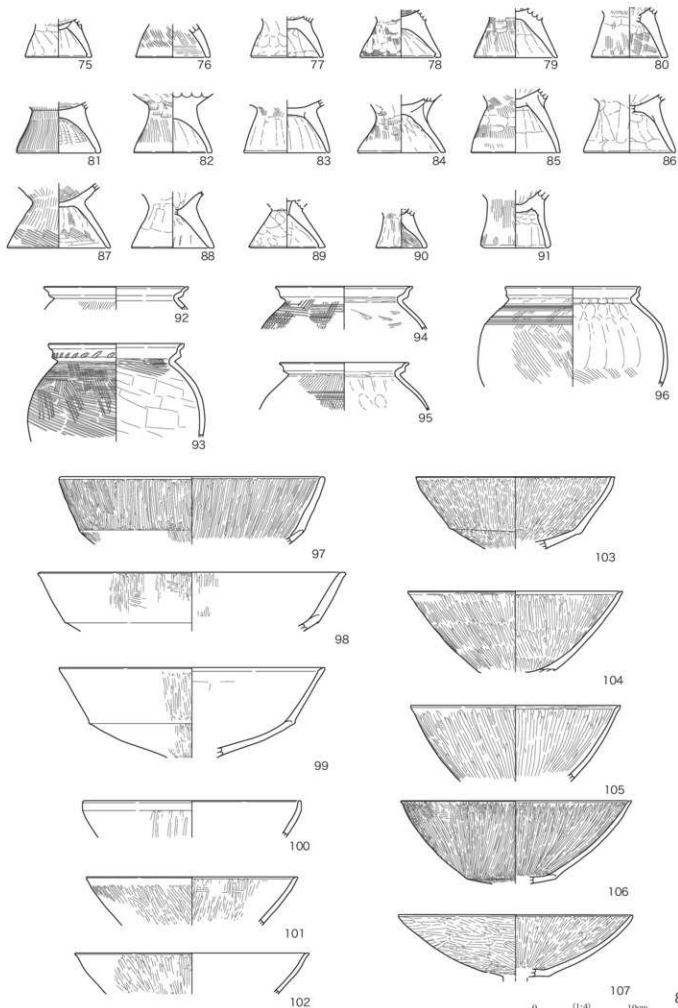


第 79 图 寄島遺跡・下懸遺跡 16 区出土土器 3

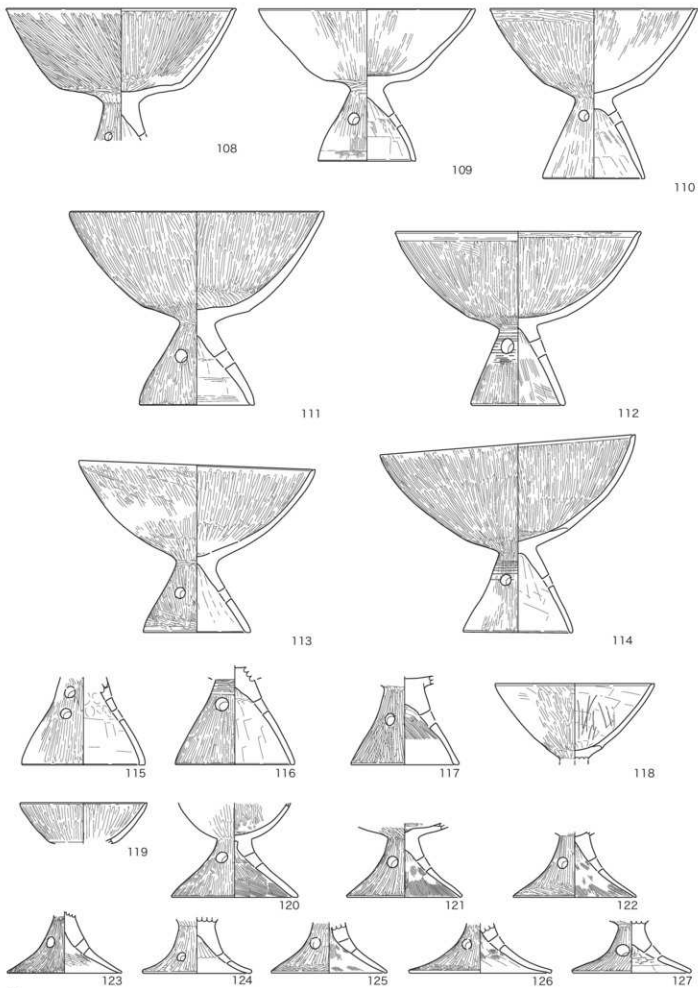
0 (1:4) 54
10cm

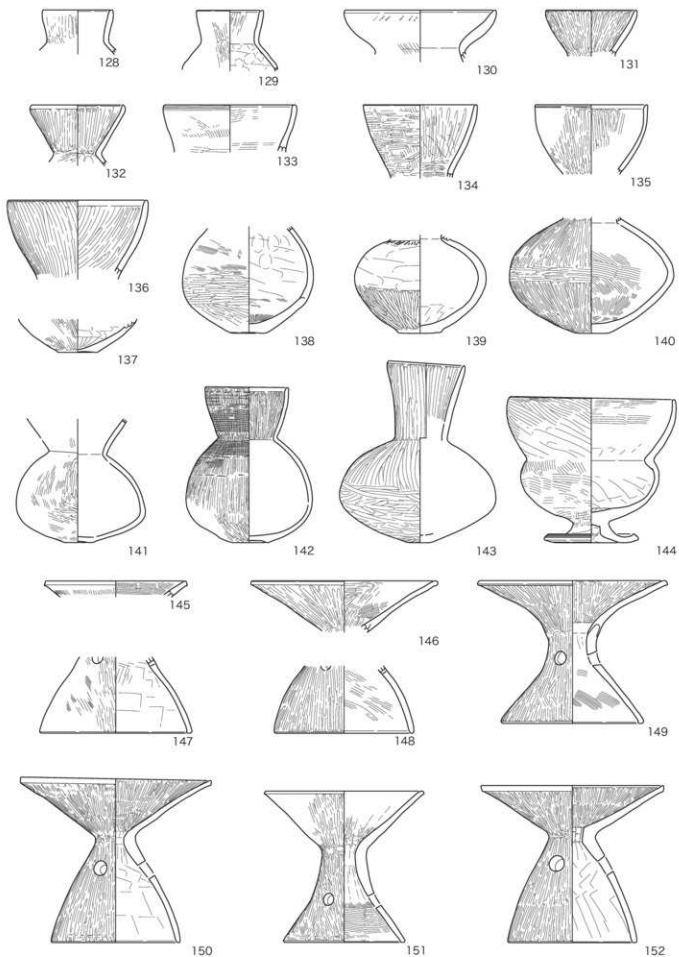


第 80 図 寄島遺跡・下懸遺跡 16 区出土土器 4



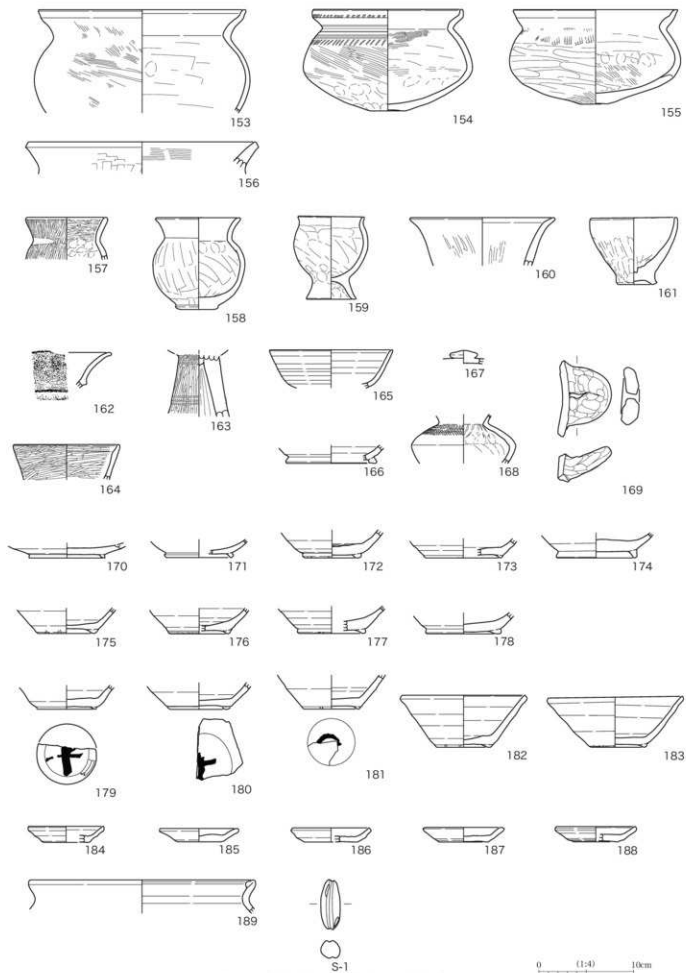
第81图 寄島遺跡・下懸遺跡16区出土土器5



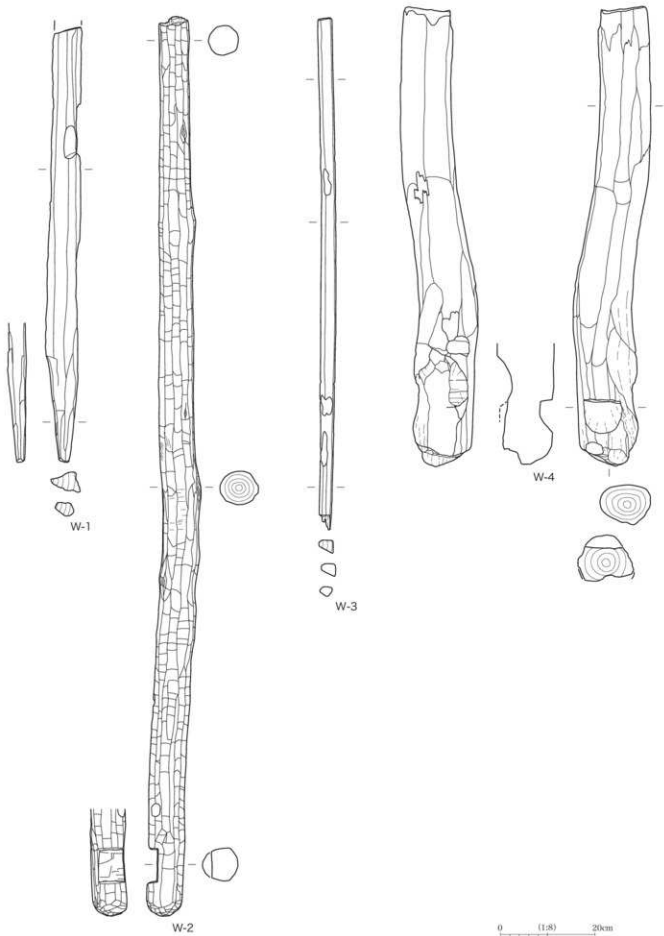


第 83 图 寄島遺跡・下懸遺跡 16 区出土土器 7

0 (1:4) 10cm



第84图 青島遺跡・下懸遺跡16区出土土器8



第85図 寄島遺跡・下懸遺跡16区出土木製品

第4節 下懸遺跡

平成30年度18A区・18B区

1. 遺構内出土遺物

(1) 古墳時代

002SI(第86図)1は有段高杯の体部、2は台付甕脚部である。

004SI(第86図)3～5はく字状口縁甕の口縁部である。3、5は直線的に開く口縁部で、4は頸部のくびれが弱く、立ち上がり気味の口縁となる。6、7は台付甕の脚部、8はミニチュア甕の口縁部である。9は有段高杯である。

008SI(第86図)10は大形壺底部である。11はく字状口縁甕、12は高杯、13は須恵器杯身の底部である。

010SK(第86図)14は台付甕である。

011SK(第86図)15は大形壺の底部、16はく字状口縁甕、17は平底の甕である。

001SD(第86図)18、19は古墳時代前期の椀形高杯と台付甕脚部である。

012SD(第86図)21は大形壺の肩部で横方向の平行沈線文が施される。

(2) 中世

001SD(第84図)20は中世の常滑窯産甕で体部の刻印がなされる。

2. 遺構外出土遺物

(1) 弥生時代(第88図)

95、96は高杯の杯部と脚部である。

(2) 古墳時代前期(第86～88図)

22～36は大形の壺である。22は広口壺、23～27は口縁端部を拡張し、24～27は口縁などに加飾される。28、29は二重口縁壺である。30、31は大形壺肩部で刺突文と沈線文で加飾される。32～36は大形の壺底部である。37～50はく字状口縁甕である。37、38は口縁端部を面取りし、低く外傾する。39、40は口縁端部を面取りし、口縁が直線的に開く。41～45は直線的に開く口縁である。46、47は外反する口縁である。48～51は頸部のくびれが弱く、口縁が立ち上がり気味のものである。52、53は受け口状口縁の甕で、53はやや内湾する口縁、54は口縁中位で上方に屈折する口縁である。54～58平底の甕、59～66は台付甕脚部である。67は口縁が直線的に開く台付甕である。68～79は高杯である。68～77は有段高杯、78、79は椀形高杯である。71は口径に対して浅い杯部で脚部が長く内湾して開く。68～70、72は深い杯部である。80、81は短頸壺、82～83、88は長頸壺、84～87は小形の壺の体部と底部である。89は小形の鉢で短い外反する口縁である。90は小形の鉢の底部、91は椀型の鉢である。92～94は小形の器台である。

(3) 古代

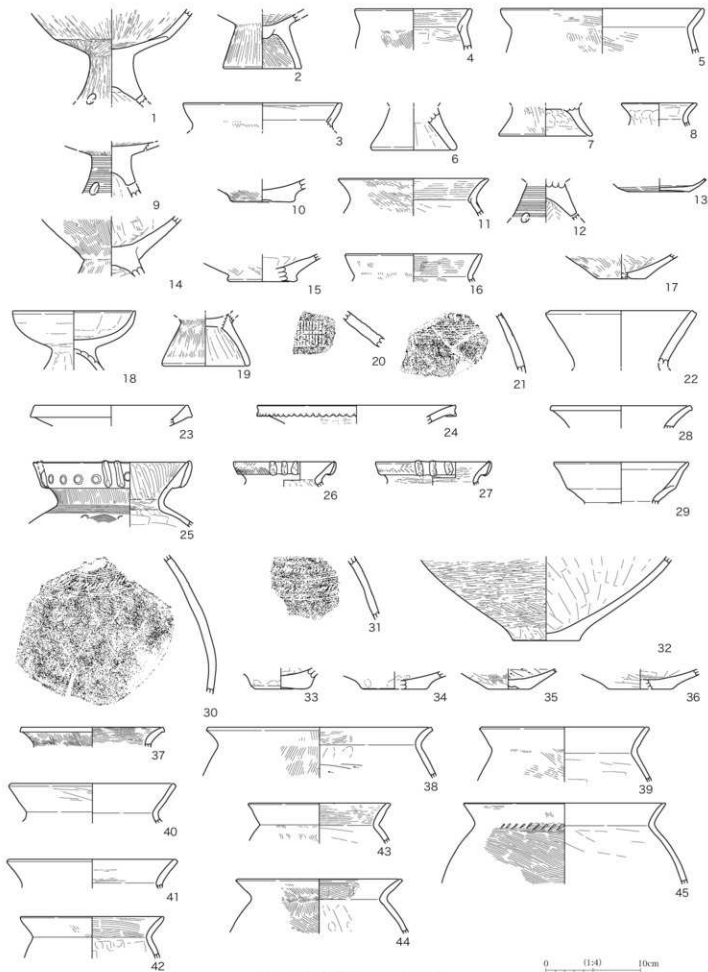
97～100は須恵器で97～99は杯身、100は壺底部である。103～108は灰軸陶器で103～107は椀、108は皿である。109は陶質の甕の取手である。101、102は平瓦で裏面に布目痕を有する。

(4) 中世

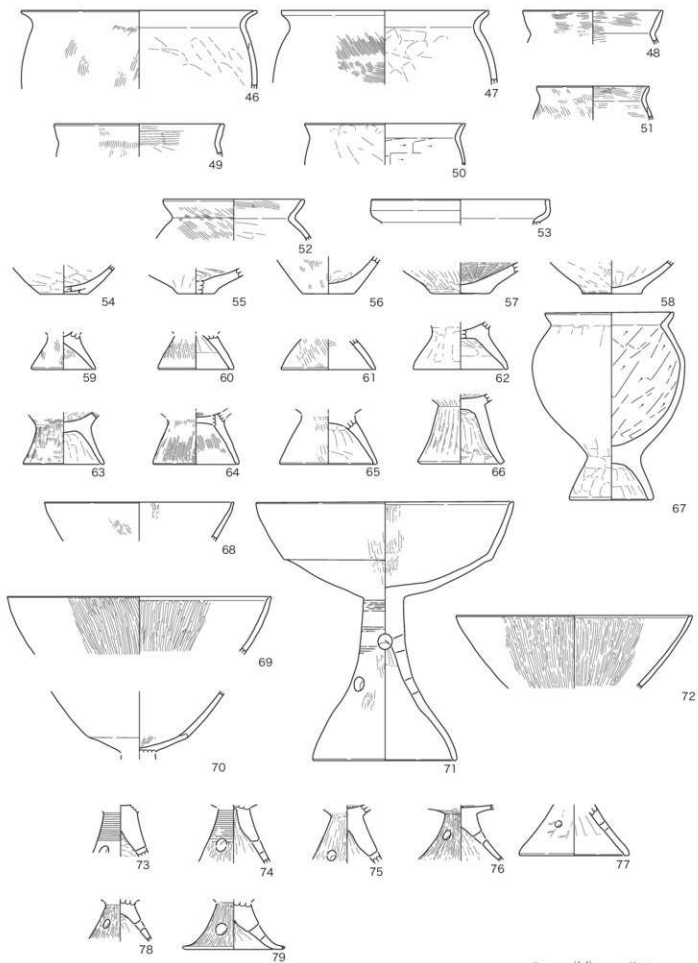
111～113は山茶碗で111は第7型式以降で他は第5型式以降のものである。114は時期不明の灰軸碗である。

(5) 近世

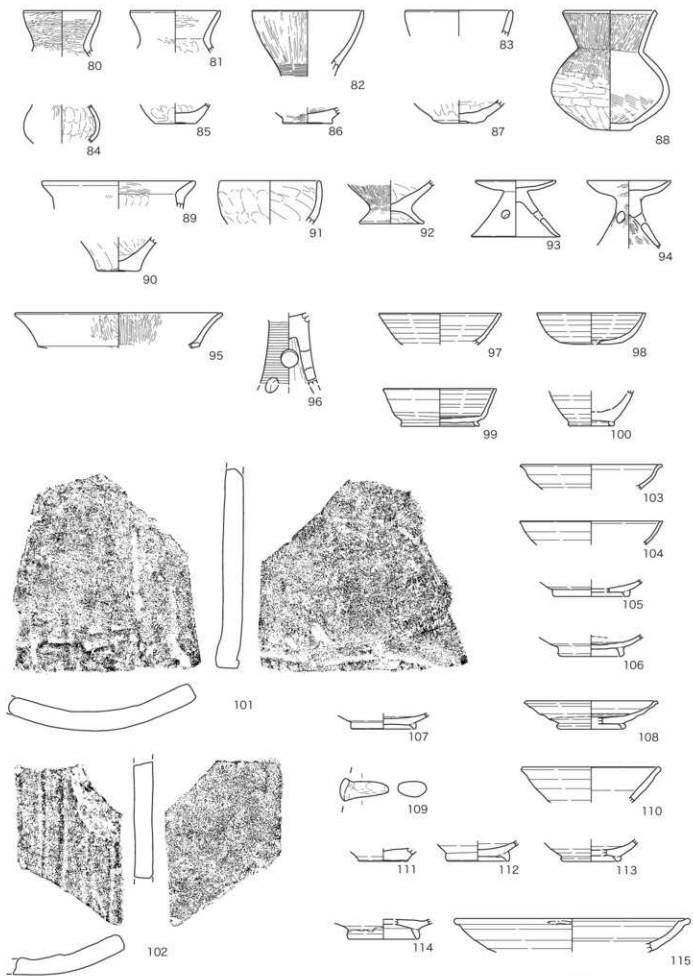
115は瀬戸窯産の施軸陶器の皿である。



第86图 下懸遺跡18区出土土器1



第 87 图 下懸遺跡 18 区出土土器 2



第 88 图 下懸遺跡 18 区出土土器 3

0 (1:4) 10cm

第4章 自然科学的分析

鹿乘川流域に分布する遺跡の地下の地層

坂頭 剛・株式会社パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ

1. はじめに

安城市の鹿乘川流域に分布する考古遺跡（姫下遺跡・寄島遺跡）にて地下層序を観察する機会を得た。本論ではその層序解析、放射性炭素年代測定の結果を報告する。

2. 試料および分析方法

各調査区で地表から、あるいは遺構検出面からバックホウにより掘削し層序断面を露出させ、層序断面図の作成と試料採取を行なった。層序断面図の作成にあたり、層相・粒度・色調・堆積構造・化石の有無などの特徴を詳細に記載した。また、各調査区の層序断面から、放射性炭素年代測定の試料を採取した。分析方法の詳細を以下に記す。

放射性炭素年代測定は加速器質量分析 (AMS) 法により測定を行なった。加速器質量分析法は 125 μm の篩により湿式篩別を行ない、篩を通過したものを酸洗浄し不純物を除去した。石墨 (グラファイト) に調整後、加速器質量分析計 (パレオ・ラボ、コンパクト AMS: NEC 製 1.5SDH) にて測定した。測定された ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行なった後、補正した ^{14}C 濃度を用いて ^{14}C 年代を算出した。 ^{14}C 年代値の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5,568 年を使用した。 ^{14}C 年代の暦年代への較正には OxCal4.4 (較正曲線データ: INTCAL20) を使用した。なお、2 σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された放射性炭素年代誤差に相当する 95.45% 信頼限界の暦年代範囲であり、カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。放射性炭素年代測定は株式会社パレオラボ AMS 年代測定グループが行なった。

3. 分析結果

各調査区での試料採取

寄島遺跡 14E 区で 1 地点、姫下遺跡 21 区で 2 地点の計 3 地点において、調査区の壁面あるいは深掘りにより露出した地層断面の、層相の観察と科学分析試料の採取を行なった。詳細を順に記す。

寄島遺跡 14E 区では調査区の中央でバックホウによる深掘りを行った (第 89 図・第 90 図)。下位層より、標高 5.59m ~ 5.84m は黒褐色を呈する砂混じり腐植質粘土層からなる。塊状で堆積構造はみられない。本層を掘削後すぐに湧水したため本層のさらに下位層を確認することはできなかった。本層の下部、標高 5.62m から試料 1 を採取し、放射性炭素年代測定により 2008-1926 cal BP (PLD-48211) の年代値を得た。標高 5.84m ~ 6.45m は地層全体に灰色を呈する細粒砂層とシルト層との互層からなる。単層の層厚は 2 ~ 3cm ほどである。堆積構造はみられない。下位層との層界面は明瞭である。標高 6.45m ~ 6.69m は灰色の砂質シルト層である。塊状で堆積構造はみられない。砂粒子が地層中に分散する。本層の中部、標高 6.59m で試料 2 を採取し、放射性炭素年代測定では 1955-1919 cal BP (PLD-48212) の年代値を得た。標高 6.69m ~ 7.04m は灰褐色のシルト質粘土層である。地層全体は塊状で堆積構造はみられない。本層の頂部 (標高 7.04m) が検出面である。本層の標高 6.79m より採取した試料 3 の放射性炭素年代は 1829-1730 cal BP (PLD-48213)、その上位に層厚 2cm ほどの炭化

物集積層がレンズ状に挟まれており、標高 6.91m で試料 4、標高 6.93m で試料 5 を採取した。このうち試料 4 のみの放射性炭素年代測定を行ったところ、1821-1716 cal BP (PLD-48214) の数値年代が得られた。

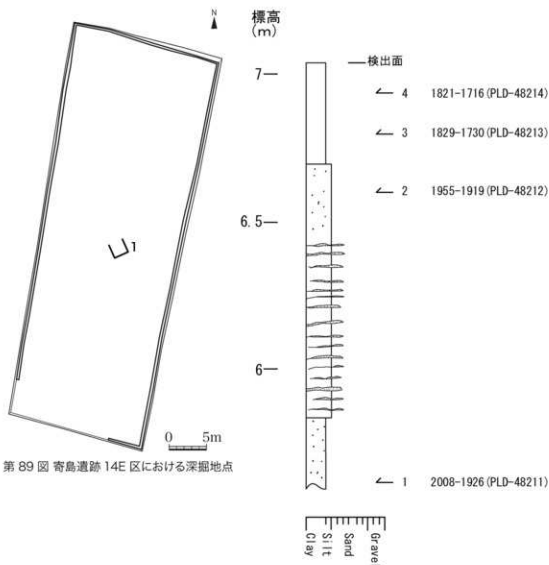
姫下遺跡 21 区では 2 地点 (地点 1・地点 2) で科学分析のための試料採取を行っている (第 91 図)。

地点 1 は調査区の南端中央部においてバックホウにて深掘を実施した (第 92 図)。下位層より、標高 5.47m ~ 5.93m は灰黄色を呈する小礫から極粗粒砂を主とする地層である。粗粒な堆積粒子間を埋めるシルトや粘土などの基質はほとんど含まれない。灰色や黒灰色をした粘土の径 10cm 以下のブロックを混在する。本層を掘削してすぐに湧水したため、堆積構造を確認することはできなかった。本層の下部、標高 5.49m から科学分析のための試料 1 を採取しているが、特に科学分析には供していない。標高 5.93m ~ 6.47m は黒灰色を呈する粘土層からなる。灰色で径 5cm 程度の粘土ブロックを含む。地層全体は塊状で堆積構造はみられない。粗粒砂をレンズ状に挟む層準のみみられる。本層と下位層の小礫～極粗粒砂層との層界面は明瞭である。径 10cm の木材片を含む。本層と下位層との層界面の直上、標高 5.95m で採取した試料 2 の放射性炭素年代が 1748-1694cal BP (PLD-48198)、その上位、標高 6.00m で採取した試料 3 が 1310-1282cal BP (PLD-48200)、さらにその上位、標高 6.09m で採取した試料 4 が 2274-2148 cal BP (PLD-48199) であった。標高 6.47m ~ 6.62m は褐色粘土層と灰黄色のシルト質極細粒砂層との互層である。互層を構成する粘土層や砂層の単層は成層せず、層界面は無秩序に褶曲する部分のみみられ、堆積後に液状化・流動化を生じたものと推定される。標高 6.62m ~ 6.87m は黄灰色を呈するシルト層と暗灰色の粘土層との互層である。単層の層厚は 2mm ~ 4mm である。単層どうしの層界面は不明瞭で褶曲を被っている。堆積構造はみられない。本層の頂部 (標高 6.87m) が検出面である。

姫下遺跡 21 区の地点 2 では、調査区の南西において南壁の地層断面から科学分析用の試料を採取した (第 93 図)。下位層より、標高 6.96m ~ 7.03m は灰色を呈する粘土層である。塊状で堆積構造はみられない。本層の下部、標高 6.98m より試料 1 を採取し、放射性炭素年代測定より 2003-1922 cal BP (PLD-48201) であった。標高 7.03m ~ 7.12m の灰色粘土層とその上を覆う標高 7.12m ~ 7.21m の灰黒色粘土層の 2 層は考古遺構 034SI の堆積物である。標高 7.03m ~ 7.12m の灰色粘土層は塊状で堆積構造はみられない。標高 7.12m ~ 7.21m の灰黒色粘土層も塊状で堆積構造はみられない。地層中に炭化物と土師質な土器片が分散して含まれる。灰色粘土層 (標高 7.03m ~ 7.12m) の下部、標高 7.06m から採取した試料 2 の放射性炭素年代測定では 3003-2865 cal BP (PLD-48202) の数値年代が、灰黒色粘土層 (標高 7.12m ~ 7.21m) の下部、標高 7.14m より採取した試料 3 から 2304-2229 cal BP (PLD-48203) の数値年代が得られた。標高 7.21m ~ 7.34m は灰褐色を呈する粘土質シルト層である。塊状で堆積構造はみられない。本層は考古遺構 001SX を埋める堆積物である。本層の下部、標高 7.24m から採取した試料 4 の放射性炭素年代測定では 1945-1864 cal BP (PLD-48204) の数値年代であった。標高 7.34m ~ 7.50m は黄褐色を呈するシルト質粘土層である。塊状で堆積構造は認められない。本層の下部、標高 7.36m で採取した試料 5 の放射性炭素年代測定では 1610-1534 cal BP (PLD-48205) の数値年代を示した。標高 7.50m ~ 7.98m は灰褐色の粘土質シルト層である。塊状で堆積構造はみられない。本層の頂部標高 7.98m が地表となる。本層の下部、標高 7.52m で試料 6 を採取しているが、科学分析は実施していない。

謝辞

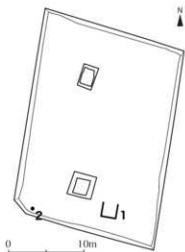
本論を作成するにあたり、放射性炭素年代測定では株式会社パレオ・ラボ AMS 年代測定グループの伊藤 茂氏・佐藤正教氏・廣田正史氏・山形秀樹氏・Zaur Lomtadze 氏・小林克也氏にお世話になった。図表の作成では国際文化財株式会社にお手伝いいただいた。分析試料の整理・保管と原図の作成では整理補助員の前田弘子氏・鈴木好美氏にお手伝いいただいた。記して厚くお礼申し上げます。



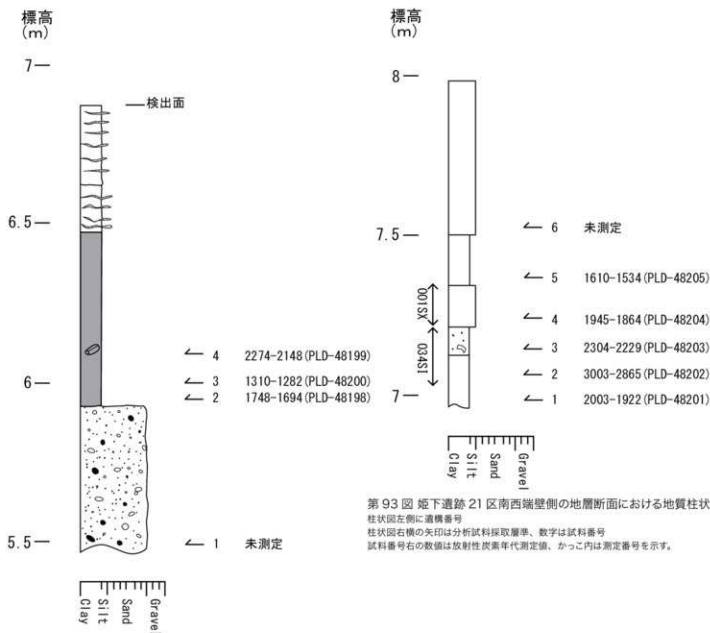
第 89 図 寄島遺跡 14E 区における深掘地点

第 90 図 寄島遺跡 14E 区深掘による地質柱状図

柱状図右横の矢印は分析試料採取層序、数字は試料番号試料番号右の数字は放射性炭素年代測定値、かっこ内は測定番号を示す。



第91図 姫下遺跡21区における深掘および南西端壁側地層断面における試料採取地点



第93図 姫下遺跡21区南西端壁側の地層断面における地質柱状図
柱状図左側の矢印は遺構番号
柱状図右側の矢印は分析試料採取層準、数字は試料番号
試料番号右の数値は放射性炭素年代測定値、かっこ内は測定番号を示す。

第92図 姫下遺跡21区南側中央付近の深掘による地質柱状図
柱状図右側の矢印は分析試料採取層準、数字は試料番号
試料番号右の数値は放射性炭素年代測定値、かっこ内は測定番号を示す。

第5章 総括

鹿乗川流域の古墳時代前期集落

鹿乗川流域の当該3遺跡の調査は平成12年度より開始され、随時報告書が作成されてきた。それらの成果を含めて古墳時代前半の居住域と墓域、およびこれらを規制する弥生時代以前から古墳時代初頭まで存在した自然流路について概観する。

1. 居住域

姫下遺跡05A区から下懸遺跡09A区までの間に6箇所居住域(A～F)が想定される。北から概要を見ていく。

居住域A 姫下遺跡05A区南半から05B区NR01間に展開する。05AのSD42南から05B中央部で竪穴建物4棟掘立柱1棟が確認されている。これは廻間Ⅲ式の時期である。

居住域B 姫下遺跡06C区北部001NR(05B区NR01)と寄島遺跡13A区の中央から北部を占める旧河道の間に展開する。姫下遺跡14区、21区と寄島遺跡14E区、13B区北半にかけて建物等が検出されている。14区では竪穴建物8棟が検出された。21区では竪穴建物2棟、井戸2基が検出された。14E区では竪穴建物3棟が検出された。姫下遺跡14区の竪穴建物は廻間Ⅱ式期が1棟、同Ⅲ式期が7棟、21区は同Ⅲ式期が2棟である。寄島遺跡14E区では廻間Ⅰ～Ⅱ式期の竪穴建物が3棟検出された。同13B区では古墳時代前期と推定される井戸1基が中央部東辺で検出されていることから、北半部が居住域になると考える。06C区ではこの時期の遺構が確認されていない。

居住域C 寄島遺跡13A区中央部の旧河道から寄島遺跡11A区008NR、11B区003NRの間、13A南部から07B区北部に展開する。13A区で竪穴建物1棟が検出された。12B区で竪穴建物20棟と掘立柱建物2棟が検出された。12A区では竪穴建物8棟、掘立柱建物4棟が検出された。07A区では竪穴建物7棟、竪穴建物状遺構10棟などが検出された。07B区では竪穴建物13棟、竪穴建物状遺構7棟などが検出された。14C区で廻間Ⅲ式期の竪穴建物3棟が検出されている。14A区で竪穴建物3棟が検出された。07C区で墓域A区域内で方形周溝墓と重複する竪穴建物1棟が検出されている。竪穴建物が時期的に先行する。

居住域D 寄島遺跡11A区008NRの北岸に竪穴建物1棟、竪穴状遺構1棟が検出された。

居住域E 寄島遺跡11B区003NR・14A区0026NR・寄島遺跡16区下懸遺跡16区001NRと下懸遺跡09D区001NR・09C区001NR・00B区NR02の間、寄島遺跡11B区から下懸遺跡00C区・09D区に展開する。寄島遺跡11C区で竪穴建物7棟検出された。14A区で竪穴建物2棟検出された。下懸遺跡15区で竪穴建物1棟、00E区で竪穴建物4棟、00D区で竪穴建物6棟、00C区で竪穴建物10棟と掘立柱建物1棟、13C区で竪穴建物8棟、09D区で竪穴建物6棟、18A区で竪穴建物5棟が検出されている。

居住域F 下懸遺跡09A区・09B区の026NR西岸に展開する。09A区で竪穴建物1棟、09B区で竪穴建物2棟が検出されている。

2. 墓域

古墳時代前期の方形周溝墓が検出された範囲である。

墓域A 寄島遺跡07C区・14D区・11A区・14A区・14B区に展開する。07C区で方形周溝墓2基、14A区で方形周溝墓1基、11A区で方形周溝墓1基が検出されている。この方形周溝墓群の中心に4世紀後半の古墳(方墳)が位置する。

墓域 B 下懸遺跡 00B 区の南部で方形周溝墓 3 基が検出されている。古墳時代前半の時期である。

墓域 C 五反田遺跡 10A 区に展開する。方形周溝墓 5 基が検出されている。古墳時代初頭の時期である。

3. 旧河道

鹿乗川流域上流の姫下遺跡から下流の惣作遺跡まで蛇行して流れていた河川の流路跡である。当該遺跡群の 3 遺跡において 4 地点で流路が確認されている。

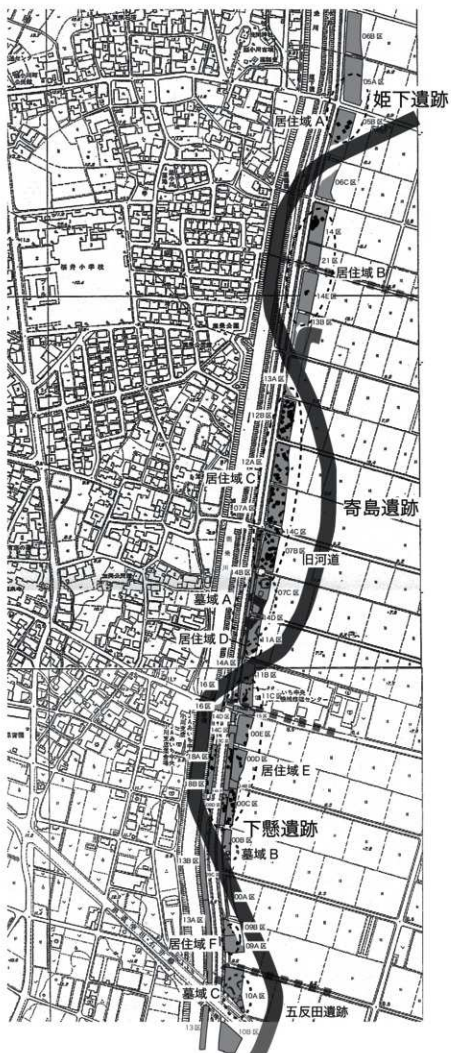
姫下遺跡地点 姫下遺跡 05B 区と 06C 区で確認されている。河道は弥生時代以前から古墳時代前期に存在する 05B 区 NR01-06C 区 001NR がある。また、05B 区 NR02 は弥生時代中期から後期の河道とされる。幅は時期によって変化し、最大で 20m である。古墳時代前期に河道の変化があり、廻間Ⅲ式前半と廻間Ⅲ式後半から松河戸Ⅰ式前半の 2 期に区別される。この時期の遺構として杭列と土器集積が確認されている。遺物は廻間Ⅲ式から松河戸Ⅰ式土器および木製品、自然木が出土している。松河戸Ⅰ式後半以降の時期は河道の機能は失われ、凹地となる。この地点で旧河道は北東から南西方向に走る。調査区外で碧海台地に沿って南北方向に向きを変えて南流する。

寄島遺跡地点 寄島遺跡 13B 区と 13A 区間で新しい時期の旧河道が北西から南東方向に走る。旧河道は上流の姫下地点から碧海台地沿いに南流してこの地点で南東方向に向きを変える。幅は約 30m である。この河道の埋土は粗砂を主体とし、13B 北岸、12A の南岸に河道に平行する中世の溝が存在する。このことから近世初期まで存在し、近世に改修される旧鹿乗川の河道と推定される。これに接して 13B 区南から中央部の東半は弥生時代から古墳時代前期の旧河道となる。弥生時代に河道が存在し、古墳時代前期に埋積した状況にある。この部分から古墳時代前期土器と木製品、自然木などが大量に出土している。近世初期の旧鹿乗川と同位置に弥生時代以前から古墳時代前期の自然流路が存在し、これと同時期の河道が古墳時代前期に埋積したものと推定する。

寄島遺跡・下懸遺跡地点 寄島遺跡 11A 区と 11B 区間、14A 区、16 区と下懸遺跡 16 区間において北東から南西方向に走る。下懸遺跡・寄島遺跡 16 区の西側で旧河道は碧海台地に沿って南に向きを変える。11A 区 008NR および 11B 区 003NR では古墳時代前期廻間Ⅰ～Ⅱ式の土器、木製品と自然木が出土している。14A 区 026NR では南岸側で廻間Ⅰ～Ⅱ式期の土器および若干の自然木が出土している。16 区と下懸遺跡 16 区では下懸遺跡南岸側で廻間Ⅰ～Ⅲ式の土器と木製品が出土している。

下懸遺跡地点 13B 区北部、09C 区、00B 区南部から 00A 区と 09B 区東部・09A 区北東部において北西から南東方向に走る。寄島遺跡・下懸遺跡地点から碧海台地に沿って南下し、この地点で南東方向を変える。13B 区 053NR で廻間Ⅰ～Ⅱ式期の土器と木製品、自然木が出土している。09C 区で木製品が出土している。09A 区と 009B 区では上部で NR01、下部で NR02 が検出されている。NR01 は弥生時代中期と後期の土器が出土し、NR02 では弥生時代後期から古墳時代前期の土器と木製品が出土している。09A 区・09B 区 026NR から古墳時代初頭から後半の時期の土器が出土し、主体となるのは古墳時代初頭で、この時期の木製品、自然木が出土している。

以上、3 遺跡の居住域と墓域および河道について概説した。居住域と墓域の対応関係や詳細な時期的変遷の検討などは今後の課題である。



第 94 図 古墳時代前期の居住域と墓域

付表 遺構一覧1

姫下遺跡平成26年度14区

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14	001SK	6F7t	1	0.66	0.35	0.09	2.5Y7/2灰黄色粗粒砂
14	002SK	6F13s	1	2.09	1.61	0.42	2.5Y5/1黄灰色シルト:2.5Y7/1灰白色極細粒砂
14	003SD	6F15s	1	-	0.22	0.28	2.5Y7/6明黄褐色細粒砂:2.5Y5/1黄灰色細粒砂
14	004SK	6F15s	1	0.81	0.39	0.07	2.5Y7/3浅黄褐色極細粒砂
14	005SD	6F16t	1	-	0.92	0.16	2.5Y7/3浅黄褐色粗粒砂
14	006SD	6F14r	1	-	0.99	0.12	10YR5/2灰黄褐色シルト
14	007NR	6F15s	2	-	3.8	0.58	007NR遺構断面図参照
14	008SK	6F6s	2	0.25	0.21	0.22	008SK遺構断面図参照
14	009SK	6F6s	2	0.28	0.26	0.06	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	010SK	6F6s	2	0.32	0.25	0.12	2.5Y6/1黄灰色シルト:2.5Y6/1黄灰色シルト
14	011SK	6F6r	2	0.33	0.31	0.27	011SK遺構断面図参照
14	012SK	6F6s	2	0.33	0.25	0.25	012SK遺構断面図参照
14	013SK	6F7s	2	0.26	0.24	0.52	013SK遺構断面図参照
14	014SK	6F6s	2	0.28	0.26	0.27	014SK遺構断面図参照
14	015SK	6F6s	2	0.34	0.28	0.34	015SK遺構断面図参照
14	016SK	6F6s	2	0.3	0.28	0.24	016SK遺構断面図参照
14	017SK	6F6s	2	0.27	0.25	0.18	017SK遺構断面図参照
14	018SK	6F6t	2	0.48	0.36	0.13	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	019SK	6F6s	2	0.49	0.4	0.06	2.5Y5/2暗灰黄色
14	021SK	6F7s	2	1.72	1.44	0.09	021SK遺構断面図参照
14	022SK	6G6a	2	0.4	0.31	0.06	2.5Y4/2暗灰黄色シルト
14	023SK	6G7a	2	0.32	0.28	0.14	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	024SK	6G6a	2	0.43	0.38	0.07	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	025SK	6G6a	2	0.73	0.61	0.06	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	026SK	6G7a	2	0.78	0.71	0.57	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14	028SD	6G7a	2	3.27	0.7	0.04	2.5Y2/1黒色シルト
14	029SD	6G6a	2	-	0.26	0.03	2.5Y6/2灰黄色砂質
14	030SD	6G7a	2	-	0.41	0.06	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	031SK	6G8a	2	0.31	0.29	0.41	5Y3/1オリープ黒色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	032SD	6G7a	2	-	0.3	0.04	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	033SK	6G7a	2	0.34	0.23	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	034SK	6G7a	2	0.27	0.18	0.02	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	035SK	6G7a	2	0.54	0.33	0.32	2.5Y3/2黒褐色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14	036SK	6G7a	2	0.36	0.27	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	037SK	6G6a	2	-	1.53	0.34	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	039SK	6G7b	2	0.38	0.3	0.22	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	040SK	6G7b	2	0.72	0.37	0.05	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	041SK	6G7b	2	0.37	0.33	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	042SK	6G7b	2	0.56	0.47	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	043SK	6G7b	2	0.25	0.23	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	044SK	6G7b	2	0.34	0.32	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	045SK	6G7b	2	0.31	0.27	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	046SK	6G7b	2	-	1.41	0.05	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	047SK	6G7b	2	-	1.8	0.13	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	048SD	6G7b	2	-	-	0.19	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト:2.5Y8/1灰白色細粒砂
14	049SK	6G8a	2	0.37	0.29	0.05	2.5Y4/2暗灰黄色シルト
14	051SK	6G9a	2	0.22	0.2	0.05	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	052SK	6G9a	2	0.36	0.31	0.22	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	053SK	6G9a	2	0.43	0.41	0.24	2.5Y3/2黒褐色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	054SK	6G8a	2	0.39	0.34	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	055SK	6G8a	2	0.38	0.31	0.25	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y7/1灰白色極細粒砂
14	056SK	6G8a	2	0.28	0.26	0.34	2.5Y3/1黒褐色シルト:5Y3/1オリープ黒色シルト
14	057SK	6G8a	2	0.72	0.58	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	058SK	6G8a	2	1.35	0.61	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	059SK	6F8t	2	0.43	0.37	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	060SK	6F7t	2	0.3	0.28	0.04	2.5Y6/2.灰黄色砂質シルト
14	061SD	6F7t	2	2.77	0.2	0.03	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	062SK	6F8t	2	0.25	0.22	0.05	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト

付表 遺構一覧2

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14	063SK	6F8t	2	0.41	0.38	0.31	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	064SK	6F8t	2	0.18	0.16	0.02	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	065SK	6F8t	2	0.29	0.24	0.19	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	066SK	6F9t	2	0.18	0.15	0.07	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	067SK	6F9t	2	0.26	0.22	0.59	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	068SK	6F9t	2	0.48	0.48	0.06	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	069SK	6F9t	2	0.61	0.5	0.08	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	070SK	6F9t	2	0.63	0.53	0.16	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	071SK	6F9t	2	0.31	0.29	0.11	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	072SK	6F9t	2	0.58	0.51	0.18	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	073SK	6F9t	2	0.57	0.47	0.16	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	074SK	6F9s	2	0.96	0.5	0.18	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	075SK	6F9s	2	0.18	0.18	0.08	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	076SK	6F8s	2	0.78	0.68	0.23	5Y3/1オリーブ黒色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	077SK	6F8s	2	0.23	0.21	0.17	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	079SK	6F8s	2	0.36	0.36	0.09	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	080SK	6F8s	2	0.3	0.28	0.13	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	081SK	6F8s	2	0.23	0.22	0.03	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	082SK	6F8s	2	0.49	0.38	0.04	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	083SK	6F8s	2	0.46	0.31	0.01	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	084SK	6F9s	2	0.2	0.18	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	085SK	6F9s	2	0.35	0.31	0.2	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	086SK	6F8s	2	0.24	0.23	0.11	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	087SK	6F8s	2	0.4	0.38	0.21	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	088SK	6F8r	2	0.33	0.31	0.02	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	089SK	6F8r	2	0.28	0.25	0.07	2.5Y2/1黒色シルト
14	090SD	6F9s	2	-	0.56	0.04	2.5Y2/1黒色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	091SD	6F8s	2	2.62	0.36	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	092SK	6F9r	2	0.4	0.37	0.3	2.5Y2/1黒色シルト
14	093SK	6F9r	2	0.37	0.33	0.19	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	094SD	6F9r	2	-	-	0.05	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	095SK	6F9r	2	0.3	0.22	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	096SD	6F10r	2	-	0.65	0.14	2.5Y3/1黒褐色砂質シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	097S1	6F10s	2	5.04	4.94	0.06	097S1遺構断面図参照
14	098SK	6F10t	2	0.27	0.22	0.21	5Y3/1オリーブ黒色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	099SK	6F10s	2	0.31	0.27	0.39	099SK遺構断面図参照
14	100SK	6F10s	2	0.68	0.56	0.31	100SK遺構断面図参照
14	102SK	6F10t	2	0.31	0.18	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	103SK	6F10s	2	0.25	0.25	0.17	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	104SK	6F10s	2	0.48	0.4	0.08	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	105SK	6F10s	2	0.33	0.28	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y5/2暗灰色シルト
14	106SK	6F10s	2	0.33	0.3	0.27	106SK遺構断面図参照
14	107S1	6F10s	2	5.26	5.17	0.04	107S1遺構断面図参照
14	108SK	6F11t	2	0.46	0.4	0.2	5Y3/1オリーブ黒色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14	109SK	6F11t	2	0.31	0.3	0.25	2.5Y3/1黒褐色シルト:5Y3/1オリーブ黒色シルト
14	110SK	6F10t	2	0.28	0.28	0.2	110SK遺構断面図参照
14	111SK	6F11t	2	0.74	0.53	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	112SD	6F10t	2	-	0.67	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	113SD	6F10t	2	-	-	0.18	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	114SD	6F9t	2	-	0.38	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	115SK	6F9t	2	0.54	0.44	0.14	2.5Y3/2黒褐色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	116SD	6F9t	2	5.53	0.4	0.04	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	117SK	6F10t	2	0.29	0.24	0.05	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	118SK	6G10a	2	-	-	0.13	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	119SK	6G10a	2	0.28	0.28	0.26	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	120SK	6G10a	2	0.43	0.31	0.24	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	121SK	6G10a	2	0.41	0.34	0.05	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	122SK	6G10a	2	0.62	0.54	0.12	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	123SK	6G10a	2	0.39	0.38	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	124SK	6G9a	2	0.51	0.44	0.15	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト

付表 遺構一覧3

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14	125SK	6G9a	2	0.72	0.62	0.08	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	126SK	6F10t	2	0.28	0.24	0.19	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	127SI	6G10a	2	4.98	4.65	0.04	127SI遺構断面図参照
14	128SD	6G10a	2	4.42	0.32	0.05	127SI遺構断面図参照
14	129SK	6G11a	2	0.33	0.32	0.08	2.5Y2/1黒色シルト
14	130SK	6G11a	2	0.35	0.28	0.12	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	131SK	6G11a	2	0.43	0.3	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	132SK	6G11a	2	0.29	0.19	0.06	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	133SK	6G12a	2	0.19	0.17	0.16	2.5Y2/1黒色シルト
14	134SK	6G11a	2	0.37	0.31	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	135SK	6F12t	2	0.63	0.47	0.35	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	136SK	6G12a	2	0.67	0.41	0.03	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	137SK	6G12a	2	0.27	0.21	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	138SD	6F12t	2	-	-	0.1	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	140SD	6F12t	2	-	0.32	0.02	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト2
14	141SD	6F11t	2	-	0.33	0.03	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	142SD	6F12t	2	-	0.22	0.02	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	143SK	6G13a	2	3.42	2.27	0.31	143SK遺構断面図参照
14	144SK	6F12t	2	0.68	0.75	0.33	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y3/1黒褐色砂質シルト
14	146SK	6F13t	2	3.02	1.33	0.17	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	147SK	6F13t	2	-	1.44	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	148SD	6F11s	2	11.2	0.34	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	149SD	6F12t	2	-	1.42	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	150SD	6F11t	2	2.09	0.63	0.06	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト:2.5Y7/1灰白色極細粒砂
14	152SI	6F11s	2	-	-	0.05	152SI遺構断面図参照
14	153SD	6F11s	2	-	-	0.02	152SI遺構断面図参照
14	155SD	6F10r	2	-	0.34	0.03	2.5Y2/1黒色シルト
14	156SD	6F10r	2	-	0.66	0.12	2.5Y5/1黄灰色シルト:2.5Y5/1黄灰色シルト
14	157SD	6F10r	2	-	0.44	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	159SI	6F12r	2	4.49	4.38	0.18	T2・T5土層断面図参照
14	160SK	6F12r	2	0.34	0.32	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	161SK	6F12r	2	0.3	0.21	0.07	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	162SK	6F12r	2	0.19	0.13	0.13	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	163SK	6F12r	2	0.4	0.38	0.04	2.5Y2/1黒色シルト
14	164SK	6F13r	2	0.66	0.55	0.03	2.5Y2/1黒色シルト
14	165SK	6F12r	2	0.46	0.43	0.1	2.5Y2/1黒色シルト
14	166SK	6F13r	2	0.56	0.46	0.09	2.5Y2/1黒色シルト
14	167SK	6F13r	2	1.29	0.95	0.05	2.5Y4/2暗灰黄色シルト
14	168SK	6F13r	2	0.36	0.23	0.06	2.5Y2/1黒色シルト
14	169SK	6F12r	2	1.11	0.93	0.07	2.5Y2/1黒色シルト
14	170SK	6F12r	2	0.53	0.4	0.07	2.5Y2/1黒色シルト
14	172SD	6F12s	2	5.92	0.34	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	173SD	6F13s	2	3.63	0.58	0.1	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	174SD	6F12s	2	2.11	0.3	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	176SK	6F12s	2	0.49	0.44	0.11	2.5Y2/1黒色シルト
14	177SK	6F12s	2	0.53	0.44	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14	178SK	6F12s	2	0.26	0.25	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	179SK	6F13t	2	0.27	0.21	0.09	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	180SK	6F13s	2	0.26	0.18	0.38	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	181SK	6F13t	2	0.32	0.32	0.26	2.5Y2/1黒色シルト
14	182SD	6F14q	2	1.97	0.26	0.02	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	183SD	6F14q	2	-	0.58	0.03	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	184SD	6F14r	2	-	0.46	0.02	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	185SD	6F14q	2	-	0.16	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	186SD	6F14q	2	-	0.34	0.04	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	187SK	6F9t	2	0.59	0.57	0.22	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	188SK	6F6t	2	0.61	0.47	0.31	2.5Y3/2黒褐色シルト:5Y3/1オリブ黒色シルト
14	189SK	6F15r	2	0.62	0.44	0.08	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	190SK	6F16r	2	-	0.63	0.07	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	191SK	6F16r	2	0.37	0.33	0.13	2.5Y2/1黒色粘質シルト

付表 遺構一覧4

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14	192SK	6F16s	2	-	-	0.17	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	194SK	6F16s	2	0.61	0.52	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	195SK	6F16s	2	1.83	1.55	0.65	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	196SK	6F16s	2	-	0.87	0.08	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	197SK	6F16s	2	-	-	0.1	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	198SK	6F15r	2	0.76	0.73	0.06	2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
14	199SD	6F15r	2	-	0.4	0.24	2.5Y5/1黄灰色シルト
14	200SK	6F15r	2	0.54	0.52	0.26	2.5Y4/1黄灰色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	202SK	6F13s	2	0.5	0.44	0.05	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14	203SK	6F13s	2	0.52	0.28	0.15	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	204SK	6G13a	2	0.29	0.26	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	205SK	6G13a	2	0.29	0.23	0.08	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	206SK	6G13a	2	-	0.63	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	207SK	6F12t	2	0.54	0.38	0.35	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	209SK	6F9s	2	0.34	0.27	0.02	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	210SK	6F9s	2	0.37	0.36	0.02	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	211SK	6F9s	2	0.61	0.48	0.17	211SK・212SK遺構断面図参照
14	212SK	6F9s	2	0.46	0.4	0.29	211SK・212SK遺構断面図参照
14	213SK	6F9s	2	0.68	0.65	0.11	2.5Y3/2黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	214SK	6F9r	2	0.73	0.6	0.55	214SK遺構断面図参照
14	216SK	6F9r	2	-	0.36	0.13	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	217SK	6F9r	2	0.43	0.4	0.1	2.5Y3/2黒褐色シルト:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	218SK	6F10s	2	-	0.57	0.02	2.5Y3/2黒褐色シルト:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	219SK	6F10s	2	0.67	0.63	0.09	097SI遺構断面図参照
14	220SK	6F10s	2	0.82	0.54	0.4	220SK遺構断面図参照
14	221SK	6F10s	2	0.67	0.38	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	223SK	6F10s	2	-	0.57	0.02	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	224SK	6F10s	2	0.5	0.42	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14	225SK	6F10s	2	0.5	0.48	0.37	225SK遺構断面図参照
14	226SD	6F10s	2	5.04	0.82	0.12	097SI遺構断面図参照
14	228SK	6F11t	2	0.27	0.19	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	229SK	6F11t	2	0.72	0.61	0.38	229SK遺構断面図参照
14	230SD	6F10s	2	5.26	0.56	0.08	107SI遺構断面図参照
14	231SK	6G10a	2	0.3	0.24	0.07	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	233SK	6F10t	2	0.34	0.27	0.18	5Y3/1オリブ黒色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14	234SK	6F10s	2	0.42	-	0.31	2.5Y3/2黒褐色シルト:2.5Y3/2黒褐色シルト
14	235SK	6F10s	2	-	-	0.12	2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14	236SK	6F10s	2	0.28	0.24	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	237SK	6F10t	2	0.43	0.43	0.05	2.5Y3/2黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	238SK	6F10s	2	0.22	0.19	0.05	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	239SK	6F10s	2	0.3	0.2	0.22	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	241SI	6F12r	2	5.42	-	0.24	T2・T4土層断面図参照
14	242SI	6F12r	2	-	-	0.24	T2・T3・T4・T5・T6土層断面図参照
14	243SI	6F12r	2	-	-	0.24	T3遺構断面図参照
14	244SI	6F10r	2	-11.61	-10.5	0.28	244SI遺構断面図参照
14	246SK	6F11r	2	1.07	0.9	0.57	244SI遺構断面図・T6土層断面図参照
14	247SK	6F11s	2	0.95	0.7	0.48	247SK遺構断面図参照
14	248SD	6F10r	2	9.41	1.26	0.41	T2・T3・T4・T6遺構断面図参照
14	249SK	6F8t	2	0.21	0.19	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	250SK	6G8a	2	1.65	-0.61	0.12	2.5Y5/2暗灰黄色砂質
14	251SK	6G8a	2	-	0.92	0.06	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	252SK	6G6a	2	0.64	0.38	0.05	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	253SK	6G7a	2	0.54	-	0.23	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	254SK	6G8a	2	0.23	0.21	0.04	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	255SK	6G8a	2	0.24	0.21	0.03	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	256SK	6G8a	2	0.44	0.34	0.05	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	257SK	6G7a	2	0.58	0.41	0.04	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	258SK	6G7a	2	-	0.29	0.09	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	259SK	6F10t	2	0.33	0.23	0.15	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	260SK	6F10t	2	-	0.28	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト

付表 遺構一覧5

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14	261SK	6G7a	2	0.33	0.29	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	262SK	6G7a	2	-	0.22	0.03	2.5Y3/2黒褐色シルト
14	263SK	6F10t	2	0.24	0.2	0.18	2.5Y2/1黒色シルト
14	264SK	6G8a	2	-	0.28	0.11	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	265SK	6F10r	2	0.27	0.27	0.06	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	266SK	6F9r	2	0.27	0.26	0.1	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	267SK	6F9r	2	0.41	0.4	0.1	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	268SK	6F8s	2	0.84	0.61	0.24	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	269SK	6F8t	2	0.37	0.34	0.07	2.5Y4/1黄灰色シルト
14	270SK	6F8s	2	0.44	0.4	0.17	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	271SK	6G6a	2	0.35	0.31	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	272SK	6G6a	2	-	0.25	0.03	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	273SK	6G6a	2	0.59	0.57	0.38	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	275SK	6G7a	2	0.32	0.29	0.44	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト:2.5Y7/1灰白色極細粒砂
14	276SK	6F10t	2	-	0.27	0.09	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	277SK	6F10t	2	-	0.31	0.1	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	278SK	6F8t	2	0.29	0.29	0.13	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	279SB	6F6s	2	4.99	3.37	-	279SB遺構エレベーション図参照
14	280SB	6F8s	2	5.5	3.58	-	280SB遺構エレベーション図参照
14	281SB	6F10t	2	3.8	3.61	-	281SB遺構エレベーション図参照
14	282SK	6F10t	2	0.62	0.51	0.25	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	283SK	6G10a	2	0.4	0.32	0.36	283SK遺構断面図参照
14	284SK	6F12t	2	0.46	0.36	0.43	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	285SK	6F11s	2	0.36	0.31	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	286SK	6F11s	2	0.77	0.56	0.18	286SK遺構断面図参照
14	287SK	6F11s	2	0.31	0.25	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	288SK	6F11s	2	0.73	0.68	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	289SK	6F12r	2	0.52	0.37	0.3	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14	290SK	6F12r	2	0.93	0.91	0.19	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト:2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14	291SK	6F12r	2	0.93	0.81	0.54	291SK遺構断面図参照
14	292SK	6F12r	2	0.29	0.26	0.16	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	293SK	6F11r	2	0.23	0.23	0.13	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	294SK	6F12r	2	0.32	0.31	0.19	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	295SK	6F11r	2	0.38	0.32	0.14	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	296SK	6F10s	2	0.46	0.41	0.41	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	297SK	6F10s	2	-0.61	0.36	0.34	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	298SK	6F11s	2	0.61	0.49	0.13	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	299SK	6F12r	2	0.24	0.24	0.1	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	300SK	6F11r	2	0.28	0.28	0.19	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14	301SK	6F11r	2	0.32	0.27	0.08	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	302SK	6F11r	2	0.3	0.22	0.09	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	303SK	6F11r	2	0.41	0.34	0.27	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	304SK	6F11r	2	0.38	-	0.12	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14	305SK	6F11s	2	0.24	0.2	0.08	2.5Y6/2灰黄色砂質シルト
14	306SK	6F11s	2	0.6	0.42	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	307SK	6F11s	2	-	0.3	0.15	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	308SK	6F10s	2	0.29	0.29	0.27	2.5Y3/1黒褐色シルト
14	309SK	6F10s	2	-0.66	0.45	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14	310SK	6F10s	2	0.24	0.23	0.19	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄色砂質シルト

姫下遺跡令和3年度21区

調査区	遺構記号	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
21	001SX	605415-605420	1	(7.80)	(2.35)	0.34	7.5Y5/2灰褐色粘質シルト
21	002NR	300415-610405	1	(27.45)	(16.60)	0.91	2.5Y6/1黄灰色粘質シルト
21	003SP	605410	2	0.49	0.48	0.17	10YR5/3にぶい黄褐色粘質シルト
21	004SK	605415-605420	2	1.12	(0.71)	0.23	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	005SP	605415	2	0.69	0.52	0.19	10YR4/2灰黄褐色粘質シルト
21	006SP	605415	2	0.52	0.43	0.08	10YR4/2灰黄褐色粘質シルト

付表 遺構一覧6

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
21	007SP	605415	2	0.41	0.31	0.10	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	008SP	605415	2	0.42	0.32	0.08	10YR4/2灰黄褐色粘質シルト
21	009SP	605415	2	0.32	0.25	0.05	10YR4/2灰黄褐色シルト
21	010SP	605415	2	0.43	0.33	0.04	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	011SP	605415	2	(0.46)	0.40	0.12	10YR5/3にぶい黄褐色粘質シルト
21	012SK	605415	2	1.66	1.23	0.14	2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルト
21	013SX	605410・005415	2	1.73	0.99	0.47	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	014SD	585400・090400	1	(7.28)	0.68	0.07	2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルト
21	015SD	590400	1	1.92	0.84	0.19	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	016SP	585400	1	0.40	0.35	0.03	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	017SP	585400	1	0.75	0.65	0.09	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	018SD	585400・090400	1	3.41	0.84	0.10	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	020SK	590400	1	0.92	0.85	0.35	2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
21	022SI	605415	2	(1.80)	(1.53)	0.21	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	023SE	585415・090415	1	1.30	1.09	0.81	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	024SP	585415	1	0.37	0.22	0.08	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	025SP	585415	1	0.48	0.35	0.09	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	026SP	585415	1	0.80	0.47	0.17	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	027SK	585415	1	0.83	0.67	0.06	10YR5/1黒灰色粘質シルト
21	028SX	590410・090415	1	(7.64)	(1.20)	0.30	7.5YR5/2灰褐色粘質シルト
21	029SE	595415	2	1.36	(0.73)	0.49	2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
21	030SP	605415	2	0.47	0.43	0.13	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	031SP	605415	2	0.19	(0.14)	0.07	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	032SP	605415	2	0.45	0.32	0.10	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	033SK	605420	2	(1.36)	(1.12)	0.17	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	034SI	605415・005420	2	(1.43)	(1.20)	0.19	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	035SP	605415	2	0.29	0.27	0.10	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	036SP	605415	2	0.31	0.29	0.10	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	037SP	605415	2	0.26	0.21	0.09	2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
21	038SP	605420	2	(0.63)	0.40	0.09	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	039NR	590400・005420	1	(17.65)	6.99	1.07	2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルト
21	040SP	605420	2	0.43	0.33	0.10	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	041SD	590410・090415	1	(7.01)	(1.11)	0.28	10YR6/3にぶい黄褐色粘質シルト
21	042SP	595415	2	0.38	0.31	0.19	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	043SD	595415	2	(1.30)	0.35	0.08	10YR5/2灰黄褐色粘質シルト
21	044SD	595415	2	(1.58)	0.80	0.13	2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルト
21	045SK	605420	2	(0.85)	(0.60)	0.12	2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルト

青島遺跡平成26年度14A～14E区

調査区	遺構名	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14A	001SK	2E9r	1	0.3	0.29	0.05	2.5Y5/1黄灰色シルト
14A	002SK	2E9r	1	0.28	0.17	0.21	2.5Y5/1黄灰色シルト:N5/1灰色粘質シルト
14A	003SK	1E20s	1	0.29	0.28	0.12	2.5Y5/1黄灰色シルト
14A	006SD	2E1s	2	-	-	0.38	006SD遺構断面図参照
14A	010SD	2E4s	2	-	1.4	0.06	2.5GY2/1黒色シルト
14A	013SD	2E4s	2	-	2.5	0.04	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	014SK	2E5s	2	-	0.34	0.04	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	015SK	2E5s	2	-	-	0.1	2.5Y2/1黒色シルト
14A	016SK	2E5s	2	-	-	0.06	2.5Y5/1黄灰色シルト
14A	017SD	2E5r	2	-	0.24	0.21	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	018SK	2E6r	2	-	-	0.12	2.5Y3/1黒褐色シルト
14A	019SK	2E6r	2	0.58	0.44	0.03	2.5Y5/1黄灰色シルト
14A	021SK	2E6r	2	-	-	0.04	2.5GY2/1黒色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14A	022SD	2E6r	2	-	0.31	0.03	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	025SD	2E6r	2	-	-	0.49	025SD断面図参照
14A	026NR	2E13q	2	-	-	1.02	026NR断面図参照
14A	027SK	2E17q	2	-	0.38	0.03	2.5Y2/1黒色シルト
14A	028SK	2E17q	2	0.41	0.29	0.03	2.5Y2/1黒色シルト

付表 遺構一覽 7

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14A	029SK	2E17q	2	0.34	0.27	0.03	2.5Y2/1黒色シルト
14A	031SK	2E17q	2	0.77	0.46	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14A	032SI	2E17q	2	-	3.95	0.03	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト;2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14A	033SK	2E18p	2	0.41	0.38	0.22	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	034SK	2E18q	2	-	-	0.03	2.5Y2/1黒色シルト;2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	036SK	2E19q	2	0.48	0.42	0.07	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	037SK	2E19q	2	0.32	0.29	0.07	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	038SK	2E19q	2	-	-	0.49	037SK・038SK遺構断面図参照
14A	042SK	2E19q	2	-	-	0.06	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	043SK	2E19p	2	0.26	0.26	0.41	043SK遺構断面図参照
14A	045SI	2E19p	2	3.1	-	0.07	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	046SK	2E19p	2	0.44	0.37	0.44	036SK・046SK遺構断面図参照
14A	047SK	2E18q	2	0.54	0.49	0.08	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	048SK	2E18q	2	-	0.62	0.06	5Y3/1オリープ黒色砂質シルト
14A	049SK	2E17q	2	-	0.48	0.04	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	050SK	2E17q	2	0.35	0.33	0.09	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	051SK	2E17q	2	0.75	0.7	0.12	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	053SK	2E18q	2	0.26	0.26	0.06	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	054SK	2E4s	-	-	0.55	0.05	2.5GY2/1黒色シルト;2.5Y3/1黒褐色シルト
14A	055SK	2E17q	2	0.3	0.29	0.12	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	056SK	2E19p	2	0.25	0.25	0.06	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	057SK	2E19p	2	0.32	0.26	0.07	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	058SK	2E19q	2	-	-	0.09	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	059SK	2E19q	2	0.69	0.63	0.08	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト;2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14A	060SK	2E19q	2	-	0.39	0.03	2.5Y3/1黒褐色シルト
14A	061SD	2E19p	2	-	0.3	0.06	2.5Y4/1黄灰色砂質シルト
14A	062SK	1E20s	2	-	0.58	0.06	2.5Y2/1黒色粘質シルト
14A	100SD	1E18t	2	-	-	0.16	100NR断面図参照
14B	001SD	10F19b	1	-	1.05	0.07	N5/0灰色粘質土
14B	002SK	1E16t	1	-	2.8	0.84	002SK断面図参照
14B	003SD	10F14c	2	-	0.93	0.18	010SI・011SI遺構断面図参照
14B	004SK	10F14c	2	-	-	0.08	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	005SI	10F14c	2	-	-	0.08	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	006SD	10F14c	2	-	-	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y7/1灰白色砂質シルト
14B	008SD	10F14c	2	-	0.36	0.06	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	009SK	10F14c	2	0.6	0.39	0.06	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	010SI	10F15c	2	-	-	0.09	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	011SI	10F15c	2	-	-	0.09	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	015SK	10F14c	2	0.41	0.35	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	018SD	10F17c	2	-	0.35	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	019SD	10F17c	2	-	0.31	0.07	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	020SD	10F18c	2	-	0.37	0.09	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	021SK	10F18c	2	-	-	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	022SK	10F18c	2	-	0.5	0.12	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	023SK	10F18c	2	-	0.37	0.12	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	024SK	10F18c	2	-	0.32	0.22	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	025SD	10F19c	2	-	0.54	0.08	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	026SD	10F20b	2	-	0.28	0.05	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	027SK	10F20b	2	0.27	0.24	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	028SK	10F20b	2	0.21	0.21	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	029SD	1F1b	2	-	0.88	0.36	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	030SK	1F2b	2	-	0.7	0.07	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	031SD	1F2b	2	-	0.44	0.07	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	032SD	1F2b	2	-	0.32	0.05	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	033SD	1F2b	2	-	0.38	0.05	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	034SD	1F3b	2	-	0.75	0.31	2.5Y2/1黒色シルト
14B	035SD	1F3b	2	-	0.27	0.07	5Y5/1灰色シルト
14B	036SD	1F3b	2	-	0.44	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	037SD	1F3b	2	-	0.34	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	038SK	1F5b	2	0.6	0.56	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト

付表 遺構一覽 8

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14B	039SD	1F5b	2	-	0.37	0.12	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	040SD	1F5b	2	-	0.31	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	041SK	1F5b	2	0.25	0.2	0.03	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	042SD	1F5a	2	-	0.64	0.22	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	043SK	1F6b	2	-	-	0.29	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	044SD	1F6a	2	-	0.3	0.18	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	045SD	1F7a	2	-	0.34	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	046SD	1F7a	2	-	0.25	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	047SD	1F7a	2	-	0.36	0.05	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	048SK	1F7a	2	0.35	0.28	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	049SD	1F7a	2	-	0.37	0.12	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	050SK	1F7a	2	-	0.67	0.12	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	051SK	1F7a	2	0.49	0.46	0.09	2.5Y2/1黒色シルト
14B	052SD	1F8a	2	-	0.45	0.13	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	053SD	1F8a	2	-	0.29	0.06	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	055SD	1F8a	2	-	0.39	0.2	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	056SD	1F9a	2	-	0.49	0.15	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	057SK	1F9a	2	-	0.87	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	058SK	1F9a	2	-	0.24	0.07	2.5Y2/1黒色シルト
14B	059SD	1F9a	2	-	0.58	0.19	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	060SK	1F9a	2	0.3	0.23	0.06	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	061SK	1F10a	2	-	0.94	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	062SD	1F10a	2	-	0.49	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	063SD	1F10a	2	-	0.26	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	064SD	1F10a	2	-	0.31	0.03	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	065SD	1F10a	2	-	0.48	0.03	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	066SD	1F11a	2	-	10.41	0.27	066SD断面図参照
14B	067SD	1E13t	2	-	0.39	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	068SK	1E13t	2	-	-	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	069SD	1E13t	2	-	0.6	0.17	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	070SK	1E14t	2	-	0.49	0.11	2.5Y4/1黄灰色シルト
14B	072SD	1E17t	2	-	-	0.3	西壁基本断面図・東壁基本断面図参照
14B	073SK	10F14c	2	0.26	0.24	0.22	2.5Y2/1黒色粘質土
14B	074SK	10F15c	2	-	-	0.08	2.5Y2/1黒色シルト;2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	075SK	10F15c	2	0.35	0.22	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト
14B	076SK	10F15c	2	0.21	0.19	0.39	075SK・076SK・077SK断面図参照
14B	077SK	10F15c	2	0.34	0.32	0.14	2.5Y3/2黒褐色シルト
14B	078SK	10F15c	2	0.29	0.24	0.14	2.5Y2/1黒色粘質土;2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	079SK	10F15c	2	0.48	0.32	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	080SD	1E14t	2	-	0.32	0.08	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	081SD	1E14t	2	-	0.36	0.12	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	082SD	1E15t	2	-	0.5	0.1	2.5Y5/1黄灰色シルト
14B	100SD	1E18t	2	-	-	0.3	100SD断面図参照
14C	001SD	10F13f	2	-	0.59	0.2	10YR3/1黒褐色シルト;5Y3/1オリーブ黒色粘質シルト
14C	002SI	10F14h	2	-	-	0.09	002SI・048SK・049SK遺構断面図参照
14C	003SK	10F14h	2	0.47	0.4	0.26	2.5Y4/1黄灰色シルト
14C	004SD	10F14h	2	-	0.4	0.14	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	005SI	10F13h	2	5.71	-	0.12	005SI・039SD遺構断面図参照
14C	009SK	10F14g	2	0.38	-	0.24	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y5/2暗黄褐色シルト
14C	010SK	10F14g	2	-	-0.31	0.32	2.5Y3/2黒褐色シルト;2.5GY2/1黒色シルト
14C	011SD	10F14g	2	1.68	0.27	0.08	2.5Y5/1黄灰色シルト
14C	012SK	10F14g	2	0.31	0.27	0.3	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	013SD	10F14g	2	-	0.25	0.1	2.5GY2/1黒色シルト;2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	014SD	10F14g	2	-	0.31	0.07	2.5Y5/1黄灰色シルト
14C	015SD	10F14g	2	-	0.35	0.09	2.5Y5/1黄灰色シルト
14C	016SD	10F14g	2	-	0.18	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	017SI	10F13f	2	-	-	0.14	2.5Y3/1黒褐色シルト;2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
14C	018SD	10F13g	2	-	0.24	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14C	020SD	10F13g	2	-	0.39	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	021SD	10F12e	2	-	0.53	0.22	10YR3/1黒褐色シルト;2.5Y5/1黄灰色粘質シルト

付表 遺構一覽9

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14C	023SD	10F13f	2	-	0.35	0.2	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	024SD	10F13e	2	-	0.47	0.15	2.5Y3/1黒褐色シルト:5Y3/1オリーブ黒色粘質シルト
14C	025SD	10F13e	2	0.93	0.21	0.02	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	026SD	10F13e	2	1.65	0.29	0.03	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	027SD	10F13e	2	-	0.23	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	028SD	10F13e	2	-	0.22	0.03	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	029SD	10F13f	2	-	0.28	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	030SD	10F14h	2	-0.96	-	0.08	2.5Y4/2暗灰黄色シルト
14C	031SK	10F14h	2	0.3	0.28	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	032SK	10F14h	2	-	0.15	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	036SK	10F13g	2	0.45	0.39	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	037SK	10F13g	2	0.84	0.54	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	038SK	10F13g	2	0.49	0.4	0.07	2.5GY2/1黒色粘質シルト
14C	039SD	10F13g	2	-	1.19	0.27	005S1・039SD断面図参照
14C	042SD	10F13g	2	-	0.32	0.1	2.5GY2/1黒色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	044SK	10F14h	2	0.54	-0.39	0.51	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y3/2黒褐色シルト
14C	047SD	10F14h	2	-	0.99	0.15	2.5Y2/1黒色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14C	048SK	10F14h	2	-	0.34	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	049SK	10F14h	2	0.44	0.44	0.42	5Y3/1オリーブ黒色シルト:5Y3/1オリーブ黒色シルト
14C	050SK	10F13g	2	0.53	0.51	0.36	050SK断面図参照
14C	051SK	10F14h	2	0.51	0.51	0.44	051SK断面図参照
14C	053SK	10F13h	2	0.27	0.19	0.04	2.5Y5/1黄灰色シルト
14C	054SK	10F13h	2	0.28	0.2	0.21	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14C	055SK	10F13f	2	0.32	0.26	0.21	2.5GY3/1黒色粘質シルト:2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14C	056SK	10F13h	2	-	-	0.05	2.5Y5/2暗灰黄色シルト:5Y3/1オリーブ黒色粘質シルト
14D	001SD	1F17c	2	-	5.18	0.23	南壁断面図参照
14D	002SK	1F16b	2	0.31	0.3	0.09	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14D	003SK	1F16b	2	0.57	0.45	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14D	004SK	1F16b	2	-	0.27	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14D	005SK	1F17b	2	0.26	0.17	0.05	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14D	006SD	1F16b	2	1.46	0.35	0.07	5Y3/1オリーブ黒色粘質シルト
14D	007SD	1F16b	2	-	0.24	0.05	5Y3/1オリーブ黒色粘質シルト
14D	009SK	1F16a	2	-	0.38	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14D	010SK	1F16a	2	0.33	0.28	0.03	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14D	011SK	1F16a	2	0.25	0.22	0.04	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14D	012SK	1F16a	2	0.3	0.2	0.05	2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト:2.5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
14D	013SD	1F16a	2	-	1.15	0.07	5Y3/1オリーブ黒色シルト
14D	014SK	1F16a	2	0.45	0.26	0.04	2.5Y5/2暗灰黄色砂質
14E	001NR	7F8r	2	-	-	0.45	北壁セクション参照
14E	002SD	7F7s	2	-	1.66	0.11	北壁セクション参照
14E	003SD	7F5r	2	-	-	0.22	北壁セクション参照
14E	004SD	7F5r	2	-	1.25	0.35	北壁セクション参照
14E	005SK	7F8r	2	0.28	0.26	0.05	:2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y4/1黄灰色シルト
14E	006SK	7F8r	2	0.43	0.28	0.02	2.5Y3/2黒褐色シルト
14E	007SK	7F8r	2	0.42	0.28	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y4/1黄灰色シルト
14E	008SK	7F8r	2	0.42	0.27	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	009SD	7F4o	2	-	0.34	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	010SD	7F4o	2	-	0.32	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	011SD	7F4o	2	-	0.33	0.09	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	012SD	7F4o	2	-	0.3	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	013SD	7F9o	2	-	-	0.14	013SD断面図参照
14E	014SD	7F8p	2	-	2.32	0.05	10YR3/1黒褐色シルト
14E	015SD	7F9q	2	2.77	0.4	0.05	2.5Y2/1黒色シルト
14E	016SD	7F9q	2	-	0.27	0.03	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14E	017SD	7F9q	2	2.15	0.33	0.18	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14E	018SD	7F9q	2	-	0.52	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	019SD	7F9q	2	-	0.56	0.03	2.5Y5/1黄灰色シルト
14E	020SK	7F9q	2	0.5	0.46	0.05	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	021SD	7F9q	2	-	2.19	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	023SI	7F9q	2	3.63	3.04	0.16	023SI遺構断面図参照

付表 遺構一覧10

調査区	遺構	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
14E	024SD	7F9q	2	-	0.42	0.03	2.5Y2/1黒色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14E	026SI	7F9q	2	3.6	-	0.59	2.5Y5/2暗灰黄色シルト:2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14E	027SD	7F10p	2	-	0.51	0.03	2.5Y2/1黒色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14E	028SK	7F10q	2	-	0.39	0.03	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14E	029SK	7F10q	2	0.77	0.49	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14E	030SD	7F10q	2	-	0.69	0.12	10YR3/2黒褐色シルト:2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	031SD	7F10q	2	-	0.46	0.1	031SD断面図参照
14E	032SK	7F10q	2	1.4	1.28	0.19	032SK断面図参照
14E	033SK	7F10q	2	0.57	0.52	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	034SD	7F10q	2	2.62	0.35	0.04	2.5Y5/1黄灰色砂質シルト
14E	035SK	7F10p	2	0.25	0.19	0.09	10YR3/1黒褐色シルト
14E	036SI	7F10p	2	4.3	3.6	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	037SD	7F10p	2	-	0.46	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y5/2暗灰黄色シルト
14E	038SD	7F10p	2	-	0.32	0.06	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	039SK	7F10p	2	0.3	0.27	0.02	2.5Y4/1黄灰色シルト
14E	040SD	7F10p	2	-	0.45	0.15	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	042SK	7F9p	2	0.97	0.54	0.03	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	043SK	7F9p	2	0.6	0.57	0.02	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	044SK	7F9p	2	-	-	0.04	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	045SK	7F10p	2	0.44	0.31	0.06	2.5Y4/1黄灰色シルト
14E	046SD	7F10o	2	1.74	0.44	0.02	10YR3/1黒褐色シルト
14E	047SK	7F10o	2	0.39	0.36	0.04	2.5Y4/1黄灰色シルト
14E	049SK	7F11o	2	0.39	0.28	0.05	10YR4/2灰黄褐色シルト
14E	050SD	7F11p	2	3.52	0.35	0.03	2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂
14E	051SD	7F11p	2	5.11	0.39	0.03	2.5Y6/3にぶい黄色極細粒砂
14E	053SD	7F11p	2	-	1.91	0.11	053SD断面図参照
14E	054SD	7F10q	2	-	0.48	0.07	.5Y4/1黄灰色シルト:2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14E	055SK	7F10q	2	-	-	0.04	2.5Y6/1黄灰色砂質シルト
14E	059SD	7F15q	2	-	-	0.1	10YR3/1黒褐色シルト
14E	060SD	7F14q	2	-	0.73	0.13	10YR3/1黒褐色シルト
14E	061SD	7F14q	2	-	0.59	0.07	7.5YR6/1褐灰色極細粒砂
14E	062SD	7F14q	2	-	-	0.16	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y5/1黄灰色極細粒砂
14E	063SD	7F14q	2	-	1.14	0.12	10YR3/1黒褐色シルト:2.5Y4/1黄灰色シルト
14E	064SD	7F14q	2	-	0.38	0.15	10YR3/1黒褐色シルト:2.5Y6/1黄灰色極細粒砂
14E	065SD	7F14q	2	-	0.26	0.03	2.5Y5/1黄灰色極細粒砂
14E	066SD	7F14q	2	-	0.5	0.15	10YR3/1黒褐色シルト:2.5Y6/1黄灰色極細粒砂
14E	067SD	7F8q	2	-	0.56	0.15	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	068SK	7F9q	2	-	0.25	0.18	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	069SK	7F10p	2	0.21	0.17	0.06	10YR3/1黒褐色シルト
14E	070SK	7F10p	2	0.18	0.17	0.04	10YR3/1黒褐色シルト
14E	071SK	7F10q	2	0.62	0.44	0.11	10YR3/2黒褐色シルト:2.5Y7/4浅黄色極細粒砂
14E	072SD	7F9p	2	-	0.39	0.05	2.5Y2/1黒色シルト
14E	073SK	7F9q	2	1.3	1.06	0.15	073SK遺構断面図参照
14E	074SD	7F8q	2	3.1	0.37	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	075SK	7F11p	2	0.23	0.22	0.07	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	076SK	7F9p	2	0.51	0.43	0.31	076SK断面図参照
14E	077SK	7F9q	2	0.18	0.17	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y5/1黄灰色極細粒砂
14E	078SK	7F9p	2	0.25	0.2	0.19	2.5Y3/1黒褐色シルト:2.5Y6/2灰黄極細粒砂
14E	079SK	7F9q	2	0.22	0.21	0.05	2.5Y7/2灰黄色極細粒砂
14E	080SK	7F9q	2	0.68	0.55	0.27	023SI断面図参照
14E	081SK	7F9q	2	0.21	0.18	0.05	2.5Y7/2灰黄色極細粒砂
14E	082SK	7F10p	2	0.33	0.19	0.03	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	083SK	7F10p	2	0.32	0.2	0.08	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	084SK	7F14q	2	0.37	0.24	0.08	10YR3/1黒褐色シルト
14E	085SD	7F15q	2	-	0.44	0.03	2.5Y6/1黄灰色極細粒砂
14E	086SK	7F9p	2	0.24	0.24	0.11	2.5Y3/1黒褐色シルト
14E	87SD	7F9q	2	-	1.7	0.1	2.5Y3/1黒褐色シルト

付表 遺構一覧 11

寄島遺跡・下懸遺跡平成28年度16区

調査区	遺構名	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
16	001NR	19535~19540	1	32m	-	1m	調査区断面図参照

下懸遺跡平成30年度18A区・18B区

調査区	遺構名	グリッド	検出面	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	埋土
18A	001SD	2654・2655	1	(2.54)	2.68	0.22	10YR5/2褐灰色シルト
18A	002SI	2654・2655	2	(1.44)	(0.87)	0.08	002SI遺構図参照
18A	003SK	2654~2655	2	(0.98)	(0.41)	0.14	10YR4/1褐灰色粘土
18A	004SI	2655	2	(1.20)	(1.04)	0.10	004SI遺構図参照
18A	005SK	2655	2	(1.50)	0.84	0.12	10YR5/1褐灰色粘土:5GY6/1オリーブ灰粘土
18A	006SI	2655・2755	2	4.16	(1.73)	0.06	N5/0灰色粘土
18A	007SK	2755	2	2.85	(0.88)	0.29	007SK遺構図参照
18A	008SI	2855	2	(2.42)	(1.39)	0.03	7.5YR5/1褐灰色粘土
18B	010SK	2855	2	1.09	(0.49)	0.08	10YR5/1褐灰色シルト:5Y6灰色シルト
18B	011SK	2855	2	0.95	0.44	0.08	7.5YR5/1褐灰色粘土:5Y6/1灰色シルト
18B	012SD	2855	2	(2.39)	0.65	0.06	10YR5/1褐灰色シルト
18B	013SD	2855	2	(1.12)	(0.47)	0.04	10YR5/1褐灰色シルト
18B	014SD	2855	2	(0.71)	0.34	0.10	10YR5/1褐灰色シルト:5Y6/1灰色シルト
18B	015SD	2855・2955	2	(2.40)	0.38	0.11	10YR5/1褐灰色シルト
18B	016SK	3155	2	(0.38)	(0.17)	0.23	5PB5/1青灰色シルト
18B	017SK	3155	2	(0.47)	0.46	0.24	10YR4/1褐灰色粘土:10YR5/1褐灰色細粒砂
18B	018SD	3155	2	(1.50)	0.76	0.17	N5/0灰色シルト:2.5Y6/1オリーブ灰色シルト
18B	019SK	3155	2	(0.68)	(0.14)	0.11	5PB5/1青灰色シルト
18B	020SK	3155	2	(0.79)	(0.55)	0.23	N5/0灰色シルト:5PB5/1青灰色シルト
18B	021SI	2855	2	4.00	-	0.19	021SI断面図参照

付表 遺物一覧1
 姫下遺跡平成26年度14区

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
001	007SI	古墳(土師器)	甕	8.6	—	9.4	赤	内面: 磨蝕, ナズ, オオニ 外面: 磨蝕, ナズ, 板ノヅク	
002	007SI	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(3.5)	赤	内面: 黒目含む, 2mm大 磨蝕含む	
003	154SI	古墳(土師器)	甕	13.0	—	(6.7)	中々粗	内面: ハク, 磨蝕, 板ノヅク 外面: コロナダ, ハク	
004	154SI	古墳(土師器)	甕	18.2	—	(5.8)	赤	内面: 黒目含む, ナズ 外面: コロナダ, 板ノヅク	
005	154SI	古墳(土師器)	甕	—	—	(6.2)	赤	内面: 磨蝕 外面: 磨蝕	
006	159SI	古墳(土師器)	甕	13.6	—	(4.0)	赤	内面: コロナダ, オオニ 外面: コロナダ, タケノコ, 磨蝕	
007	159SI	古墳(土師器)	甕	13.6	—	(5.1)	赤	内面: コロナダ, ナズ 外面: コロナダ, タケノコ	
008	241SI	古墳(土師器)	甕	16.2	—	(4.2)	中々粗	内面: 黒目含む, 3mm大 磨蝕含む	
009	241SI	古墳(土師器)	甕	19.6	—	(3.5)	赤	内面: コロナダ, 板ノヅク 外面: コロナダ, ハク	
010	241SI	古墳(土師器)	甕	—	5.0	(2.2)	赤	内面: 磨蝕 外面: ハク	
011	242SI	古墳(土師器)	甕	18.4	—	(2.3)	中々粗	内面: 磨蝕 外面: コロナダ, 板ノヅク	
012	242SI	古墳(土師器)	甕	—	4.2	(3.6)	赤	内面: ハク, 磨蝕 外面: 板ノヅク, 磨蝕	
013	243SI	古墳(土師器)	甕	14.0	—	(3.7)	赤	内面: 磨蝕, 土着 外面: 磨蝕, コロナダ, ハク, タケノコ	
014	243SI	古墳(土師器)	高杯	12.6	—	(3.8)	中々粗	内面: 磨蝕 外面: 磨蝕	
015	244SI	古墳(土師器)	甕	14.4	—	(3.6)	赤	内面: コロナダ, ハク 外面: ハク	
016	244SI	古墳(土師器)	甕	14.2	—	(3.4)	赤	内面: 磨蝕, オオニ 外面: コロナダ, ハク	
017	244SI	古墳(土師器)	甕	—	8.9	(7.4)	赤	内面: 板ノヅク, コロナダ 外面: ハク, ナズ, コロナダ	
018	244SI	古墳(土師器)	甕	—	8.9	(4.3)	赤	内面: ナズ, 板ノヅク, オオニ, コロナダ 外面: タケノコ, ナズ, コロナダ	
019	244SI	古墳(土師器)	甕	—	9.1	(6.1)	赤	内面: ハク, コロナダ 外面: ハク, コロナダ	
020	244SI	古墳(土師器)	甕	—	9.2	(5.8)	赤	内面: ハク, オオニ, コロナダ 外面: タケノコ, コロナダ	
021	244SI	古墳(土師器)	高杯	—	14.4	(2.5)	中々粗	内面: ハク, 磨蝕 外面: 磨蝕	
022	244SI	古墳(土師器)	高杯	—	11.0	(7.5)	赤	内面: コロナダ 外面: 土着	
023	244SI	古墳(土師器)	鉢	—	3.6	(2.5)	赤	内面: 磨蝕, オオニ 外面: 磨蝕, オオニ	
024	021SK	古墳(土師器)	甕	29.6	—	(13.6)	赤	内面: 黒目含む, ハク 外面: コロナダ, ハク, コロナダ, 板ノヅク, 磨蝕	
025	021SK	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(6.2)	中々粗	内面: ハク, 板ノヅク 外面: 磨蝕	
026	021SK	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(5.2)	中々粗	内面: 黒目含む, 3mm大 磨蝕含む	
027	021SK	古墳(土師器)	甕	—	7.4	(4.9)	赤	内面: 板ノヅク, コロナダ 外面: コロナダ, コロナダ	
028	021SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(6.7)	赤	内面: 土着, 土着 外面: 土着, 適合型コロナダ	
029	021SK	古墳(土師器)	高杯	—	10.5	(7.8)	中々粗	内面: 板ノヅク, コロナダ 外面: 板ノヅク	
030	120SK	古墳(土師器)	甕	—	6.8	(1.8)	赤	内面: 磨蝕 外面: ハク	
031	125SK	古墳(土師器)	甕	13.4	—	(2.8)	赤	内面: コロナダ, オオニ, ナズ 外面: コロナダ, ハク	
032	125SK	古墳(土師器)	甕	—	7.0	(2.8)	赤	内面: 板ノヅク 外面: ハク	
033	136SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(6.6)	赤	内面: 土着, ナズ 外面: 板ノヅク (ナズ型)	
034	214SK	古墳(土師器)	鉢	—	3.2	(3.9)	赤	内面: 板ノヅク 外面: ナズ, オオニ	
035	289SK	古墳(土師器)	蹄台	—	—	(7.2)	赤	内面: 磨蝕, 土着 外面: コロナダ, ナズ (一部ハク状)	
036	290SK	古墳(土師器)	高杯	10.2	—	(5.4)	赤	内面: 土着 外面: 土着	
037	138SD	古墳(土師器)	甕	—	7.0	(2.5)	赤	内面: 板ノヅク 外面: ナズ, オオニ	
038	156SD	古墳(土師器)	甕	—	7.9	(1.5)	中々粗	内面: 板ノヅク (一部ハク状) 外面: 板ノヅク	
039	156SD	古墳(土師器)	甕	—	14.6	(6.6)	赤	内面: ハク, オオニ, ハク 外面: 磨蝕	
040	226SD	古墳(土師器)	甕	26.4	—	(5.0)	中々粗	内面: コロナダ 外面: 土着	
041	143SK	古墳(土師器)	甕	17.2	—	(8.1)	赤	内面: ハク 外面: ハク	
042	143SK	古墳(土師器)	甕	—	4.0	(3.5)	赤	内面: 板ノヅク 外面: 土着	
043	143SK	古墳(土師器)	甕	—	3.4	(2.2)	中々粗	内面: 板ノヅク 外面: コロナダ, ナズ	
044	143SK	古墳(土師器)	甕	—	—	(4.4)	中々粗	内面: 黒目含む, 3mm大 磨蝕含む	
045	143SK	古墳(土師器)	甕	—	—	(5.0)	中々粗	内面: 磨蝕 外面: 磨蝕	
046	143SK	古墳(土師器)	甕	11.0	—	(4.4)	赤	内面: コロナダ 外面: ハク	

付表 遺物一覽2

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
047	143SK	古墳(土師器)	甕	17.0	—	(3.9)	赤	黒石・雲母含む	にじみ焼 内面:ヨコナガ、ハタ、タビ 外面:ヨコナガ、ハタ、敷ナガ
048	143SK	古墳(土師器)	甕	18.0	—	(11.3)	赤	黒石・石灰・雲母含む、2mm大礫含む	浅黄緑 内面:ヨコナガ、ハタ、オオニ、ナガ 外面:黒目、ヨコナガ、オオニ
049	143SK	古墳(土師器)	甕	11.0	—	(7.7)	中々紅	黒石・石灰・雲母含む、 ~4mm大礫含む	にじみ赤焼 内面:ヨコナガ、敷ナガ 外面:ヨコナガ、オオニ、ハタ
050	143SK	古墳(土師器)	甕	19.0	—	(7.3)	赤	黒石・石灰・雲母含む	にじみ黄焼 内面:ヨコナガ、オオニ、敷ナガ 外面:ヨコナガ、敷ナガ、ナガ
051	143SK	古墳(土師器)	甕	14.9	—	(10.2)	中々紅	黒石・雲母含む、 ~4mm大礫含む	橙 内面:敷ナガ 外面:ヨコナガ、ナガ、ハタ、オオニ
052	143SK	古墳(土師器)	甕	36.0	—	(7.4)	赤	黒石	橙 内面:ヨコシガ、タビミガ 外面:タビミガ→オオニミガ、敷ナガ(タビミガ)
053	143SK	古墳(土師器)	甕	15.6	—	(8.7)	赤	黒石・石灰含む	橙 内面:ヨコナガ、赤焼 外面:ヨコナガ、オオニ
054	143SK	古墳(土師器)	甕	12.6	—	(4.8)	中々紅	黒石・雲母含む、 ~5mm大礫含む	灰黄 内面:黒いナガ、オオニ 外面:白磁黒目焼、黒いタビハケ
055	143SK	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(5.3)	中々紅	石灰・雲母含む、3mm大礫含む	浅黄緑 内面:ヨコナガ、ハタ、敷ナガ 外面:ヨコナガ、ハタ
056	143SK	古墳(土師器)	甕	17.0	—	(5.5)	赤	黒石・雲母含む	にじみ焼 内面:敷ナガ→ヨコナガ、敷ナガ 外面:ヨコナガ、ハタ
057	143SK	古墳(土師器)	甕	18.2	—	(5.2)	中々紅	黒石・雲母含む、 ~4mm大礫含む	灰緑 内面:ヨコナガ、ハタ→敷ナガ 外面:ヨコナガ、ハタ
058	143SK	古墳(土師器)	甕	21.0	—	(6.7)	赤	黒石・石灰・雲母含む、 ~4mm大礫含む	にじみ焼 内面:赤焼、ヨコナガ、オオニ、ナガ 外面:赤焼、オオニ、黒いナガ
059	143SK	古墳(土師器)	甕	33.4	—	(11.0)	赤	黒石・雲母含む	にじみ焼 内面:ナガ→ハタ、ヨコナガ 外面:黒目、(タビ)ヨコナガ、オオニミガ、ヨコナガ
060	143SK	古墳(土師器)	甕	17.8	—	(5.4)	中々紅	黒石・雲母含む、 ~3mm大礫含む	にじみ焼 内面:ヨコナガ→ヨコナガ、敷ナガ、オオニ 外面:オオニ→タビハケ
061	143SK	古墳(土師器)	甕	—	3.5	(2.6)	中々紅	黒石・石灰・雲母含む、 ~2mm大礫含む	にじみ焼 内面:タビミガ→ナガ 外面:オオニ、オオニ
062	143SK	古墳(土師器)	甕	—	3.8	(2.8)	中々紅	黒石・石灰・雲母含む、 ~3mm大礫含む	橙 内面:タビ 外面:タビ
063	143SK	古墳(土師器)	甕	—	8.4	(12.1)	赤	黒石・石灰・雲母含む、2mm大礫含む	橙 内面:敷ナガ(タビミガ)、敷ナガ 外面:黒いナガ、オオニ、ナガ、敷ナガ
064	143SK	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(4.5)	中々紅	黒石・雲母含む、 ~4mm大礫含む	にじみ焼 内面:敷ナガ、ヨコナガ 外面:ヨコナガ→ナガ
065	143SK	古墳(土師器)	甕	—	8.8	(5.5)	赤	黒石・石灰含む、2mm大礫含む	橙 内面:敷ナガ、ヨコナガ 外面:敷ナガ、赤焼、ヨコナガ
066	143SK	古墳(土師器)	甕	—	4.3	(3.1)	中々紅	黒石・雲母含む、 ~3mm大礫含む	明赤 内面:ハタ 外面:ハタ
067	143SK	古墳(土師器)	高杯	21.0	—	(4.9)	赤	黒石・雲母含む	浅緑 内面:ハタ→ミガ 外面:ミガ
068	143SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(4.6)	中々紅	黒石・石灰・雲母含む、 ~4mm大礫含む	にじみ焼 内面:タビミガ、赤焼 外面:タビミガ
069	143SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(6.4)	赤	黒石・石灰・雲母含む	灰白 内面:赤焼、しほり 外面:赤焼
070	143SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(6.7)	中々紅	黒石・石灰・雲母含む、 ~3mm大礫含む	赤黒 内面:ミガ、敷ナガ(黒ハケ) 外面:タビミガ→ヨコシミガ、タビミガ
071	143SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(4.6)	赤	黒石含む	橙 内面:ミガ、敷ナガ、ハタ 外面:ミガ
072	143SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(4.9)	中々紅	黒石・雲母含む、 ~3mm大礫含む	灰黄 内面:ミガ、ハタ 外面:ミガ
073	-	古墳(土師器)	甕	18.6	—	(2.5)	赤	黒石・石灰含む、 ~4mm大礫含む	橙 内面:ヨコナガ、ハタ 外面:白磁黒目赤焼、ヨコナガ
074	-	古墳(土師器)	甕	25.0	—	(3.6)	赤	黒石	橙 内面:ミガ 外面:黒磁黒目赤、ナガ
075	-	古墳(土師器)	甕	25.0	—	(2.9)	赤	黒石含む	にじみ焼 内面:ナガ→黒磁黒目赤 外面:黒磁黒目赤、黒磁黒目赤、黒磁黒目赤、ナガ
076	-	古墳(土師器)	甕	15.8	—	(3.8)	赤	黒石・雲母含む	にじみ焼 内面:ヨコナガ、ハタ 外面:ヨコナガ、ハタ
077	-	古墳(土師器)	甕	23.4	—	(2.9)	赤	黒石・雲母含む	灰黄緑 内面:ミガ 外面:ミガ、ハタ→ナガ
078	-	古墳(土師器)	甕	17.0	—	(2.9)	赤	黒石・石灰・雲母含む、2mm大礫含む	橙 内面:ヨコナガ 外面:赤焼
079	-	古墳(土師器)	甕	24.0	—	(7.6)	赤	黒石・雲母含む	浅黄緑 内面:二枚目刻文、赤焼 外面:黒磁黒目赤、赤焼
080	-	古墳(土師器)	甕	19.6	—	(5.2)	中々紅	黒石・石灰・雲母含む、2mm大礫含む	橙 内面:ヨコナガ、ハタ、オオニ 外面:ヨコナガ、ハタ
081	-	古墳(土師器)	甕	17.0	—	(4.5)	赤	黒石・雲母含む	明赤 内面:黒磁黒目赤、ハタ 外面:黒磁黒目赤、タビハケ、ヨコナガ
082	-	古墳(土師器)	甕	14.2	—	(3.6)	赤	黒石・石灰含む	にじみ焼 内面:ヨコナガ、ハタ、赤焼 外面:白磁黒目赤焼
083	-	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(4.2)	赤	黒石含む、2mm大礫含む	橙 内面:赤焼 外面:ヨコナガ、赤焼
084	-	古墳(土師器)	甕	14.6	—	(4.9)	赤	黒石・石灰含む、2mm大礫含む	橙 内面:赤焼 外面:赤焼
085	-	古墳(土師器)	甕	11.2	—	(3.8)	赤	黒石・石灰含む	赤 内面:ハタ、ナガ、オオニ 外面:ヨコナガ、タビハタ、ナガ
086	-	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(3.6)	赤	黒石・石灰含む、2mm大礫含む	にじみ焼 内面:ヨコナガ→ヨコナガ、敷ナガ 外面:ヨコナガ、ハタ、ナガ
087	-	古墳(土師器)	甕	—	—	(2.6)	赤	黒石・雲母含む、2mm大礫含む	浅黄緑 内面:ヨコナガ、オオニ 外面:ヨコナガ、ハタ
088	-	古墳(土師器)	甕	—	—	(3.3)	赤	黒石・石灰含む	橙 内面:ハタ、ナガ 外面:赤焼、ハタ
089	-	古墳(土師器)	甕	18.2	—	(3.4)	赤	黒石・石灰・雲母含む	にじみ黄焼 内面:ヨコナガ、敷ナガ 外面:ヨコナガ→ナガ、赤焼、タビハタ→ヨコナガ
090	-	古墳(土師器)	甕	—	6.4	(8.8)	赤	黒石	にじみ焼 内面:ヨコナガ、敷ナガ 外面:ハタ、オオニ、ナガ
091	-	古墳(土師器)	甕	—	6.8	(2.7)	赤	黒石・石灰含む、2mm大礫含む	明赤 内面:赤焼 外面:ナガ、ハタ、オオニ
092	-	古墳(土師器)	甕	—	3.7	(2.0)	中々紅	黒石・石灰・雲母含む、2mm大礫含む	橙 内面:敷ナガ、オオニ 外面:オオニ
093	-	古墳(土師器)	甕	—	4.7	(2.0)	紅	黒石・石灰・雲母含む、6mm大礫含む	にじみ焼 内面:敷ナガ 外面:ナガ
094	-	古墳(土師器)	甕	—	4.2	(2.2)	赤	黒石	にじみ焼 内面:敷ナガ、ナガ 外面:オオニ、ナガ

付表 遺物一覧3

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
095	-	古墳(土師器)	甕	—	6.2	(4.0)	黒石・石灰・雲母含む	黒	内面: 磨滅, 転ナブ 外面: 転ナブ
096	-	古墳(土師器)	甕	—	5.0	(3.4)	赤石・石灰含む, 2m大 磨含む	黒	内面: 転ナブ 外面: オオムシ・ナブ
097	-	古墳(土師器)	甕	—	5.6	(3.0)	黒	黒	内面: ナブ, 転ナブ 外面: オオムシ・ナブ
098	-	古墳(土師器)	甕	—	9.6	(5.1)	黒	黒	内面: オオムシ・ナブ 外面: 磨
099	-	古墳(土師器)	高杯	20.0	—	(9.1)	赤石・雲母含む, 3m大 磨含む	黒	内面: 磨滅, ココナデ 外面: ココナデ・ナブ, ナブ
100	-	古墳(土師器)	高杯	—	—	(6.8)	黒	赤石・石灰含む	内面: ナブ, ナブ 外面: タケナブ, ナブ
101	-	古墳(土師器)	高杯	—	—	(7.6)	赤石・石灰含む	赤黒	内面: ナブ, しぼり, ナブ 外面: ナブ, 転ナブ
102	-	古墳(土師器)	高杯	—	—	(7.8)	赤石・石灰・雲母含む, 小磯多く含む	赤黒	内面: しぼり 外面: 磨滅, タケナブ, ナブ
103	-	古墳(土師器)	高杯	—	—	(9.1)	赤石・石灰含む, 2m大 磨含む	赤黒	内面: 磨滅, タケナブ 外面: 磨・転ナブ
104	-	古墳(土師器)	甕	—	—	(5.9)	赤石・石灰含む, 2m大 磨含む	赤黒	内面: しぼり, ナブ 外面: 磨・磨滅, タケナブ, 磨滅
105	-	古墳(土師器)	高杯	—	—	(4.8)	赤石・石灰含む	赤	内面: 磨滅 外面: 磨滅
106	-	古墳(土師器)	鉢	12.2	—	(3.5)	赤石・雲母含む	浅黒	内面: 磨滅(ナブ) 外面: ココナデ, タケナブ
107	-	古墳(土師器)	鉢	10.4	2.5	6.3	赤石・石灰含む, ~3m大 磨含む	黒	内面: 転ナブ・ココナデ, 転ナブ 外面: ナブ, オオムシ・ナブ, オオムシ
108	-	古墳(土師器)	蓋	10.9	1.5	6.4	赤石・石灰含む	赤黒	内面: しぼり(方向不明), ココナデ, ナブ 外面: しぼり, ナブ, ココナデ
109	-	古墳(土師器)	蓋	—	4.1	5.7	赤石含む	赤黒	内面: 転ナブ(タケナブ) 外面: しぼり
110	-	古墳(土師器)	蓋	—	2.8	(1.4)	赤石・石灰・雲母含む, 3 m大磨含む	赤黒	内面: 磨滅 外面: オオムシ・ナブ
111	-	古墳(土師器)	蓋	—	2.8	(1.6)	赤石・石灰・雲母含む, 2 m大磨含む	赤黒	内面: 転ナブ 外面: ナブ, 磨滅
112	-	古墳(土師器)	鉢	—	10.0	(3.4)	赤石・石灰含む, 2m大 磨含む	赤黒	内面: ナブ, 磨滅 外面: 磨滅
113	-	古墳(土師器)	蓋	—	—	(2.8)	赤石含む, 2m大磨含む	浅黒	内面: 転ナブ(タケナブ), ナブ 外面: タケナブ・タケナブ
114	-	古墳(土師器)	ニ チュア	—	—	(3.0)	赤石含む	黒	内面: ナブ 外面: ナブ, オオムシ
115	-	古墳(土師器)	ニ チュア	—	3.4	(2.3)	赤石	黒	内面: ナブ 外面: オオムシ
116	-	古墳(土師器)	ニ チュア	—	4.0	(5.2)	赤石・雲母含む	赤黒	内面: ナブ, オオムシ 外面: オオムシ・ナブ
117	-	古墳(土師器)	ニ チュア	5.2	3.3	2.7	赤石含む, 2m大磨含む	赤	内面: オオムシ, ナブ 外面: オオムシ
118	048SD	古代(須恵器)	杯身	13.2	—	(3.0)	赤石含む	灰	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
119	090SD	古代(須恵器)	碗	—	6.4	(1.7)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
120	-	古代(須恵器)	碗	14.2	7.0	(3.7)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
121	-	古代(須恵器)	碗	15.0	—	(3.7)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
122	-	古代(須恵器)	碗	—	7.1	(2.4)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
123	-	古代(須恵器)	碗	—	8.4	(2.4)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
124	-	古代(須恵器)	碗	—	7.1	(1.8)	赤石	焼灰	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
125	-	古代(須恵器)	碗	—	6.2	(1.7)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
126	-	古代(須恵器)	碗	—	7.2	(2.0)	黒色石含む	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
127	-	古代(須恵器)	碗	—	6.4	(2.1)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
128	-	古代(須恵器)	碗	—	8.0	(1.5)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
129	-	古代(須恵器)	不明	—	5.0	(2.3)	赤石含む	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
130	-	中世(山岳系)	碗	—	—	(1.6)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
131	-	中世(山岳系)	碗	—	6.4	(2.3)	赤石	灰白	内面: コクロナデ 外面: コクロナデ
132	-	古代(土製品)	瓦	長8.6	幅5.9	厚2.0	赤石含む	浅黒	内面: 磨滅 外面: 磨滅, タケナブ
133	007NR	古代(土製品)	瓦	長(11.3)	幅(6.2)	厚2.2	赤石・石灰含む, 3m大 磨含む	浅黒	内面: 磨滅 外面: ナブ
134	-	中世(山岳系)	陶丸	長1.9	幅1.9	厚1.9	赤石	赤	オオムシ
135	-	中世(山岳系)	陶丸	長1.6	幅1.7	厚1.5	赤石	赤	赤
136	-	弥生(弥生土器)	蓋	—	—	(6.7)	赤石	赤	内面: 磨滅 外面: ナブ・磨滅
S001	150SI	不明(石製品)	磨石	長5.7	幅4.9	厚3.6	—	灰白	—

姫下遺跡令和3年度21区

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
001	022SI	古墳(土師器)	甕	28.0	—	(3.0)	赤石含む	黒	内面: ココナデ, ココナデ 外面: 磨, タケナブ

付表 遺物一覽4

国庫番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・編文
002	022SI	古墳(土師器)	甕	16.6	—	(2.4)	赤	赤褐色	内面:ハタケヨコナデ 外面:ハタケヨコナデ
003	038SP	古墳(土師器)	壺	—	—	(2.6)	赤	灰白	内面:ナデ, オオキ 外面:二段斜削山田文, 巻結線編文
004	004SK	古墳(土師器)	壺	—	4.0	(3.6)	赤	石灰・黒得色	内面:板ナデ 外面:板ナデ, 底部ケズリ
005	004SK	古墳(土師器)	甕	—	8.0	(3.2)	中々紅	灰赤・石黄含む, ~2mm大塵埃含む	内面:板ナデ, ナデ 外面:板ナデ
006	004SK	古墳(土師器)	鉢	10.8	—	(5.0)	赤	灰赤・石黄含む, ~2mm大塵埃含む	内面:ハタケヨコナデ, 板ナデ 外面:ヨコナデ, 板ナデ
007	004SK	古墳(土師器)	甕	21.8	—	(8.7)	赤	灰赤・黒得色, ~2mm大塵埃含む	内面:ヨコナデ, ナデ, オオキ 外面:ヨコナデ, ナデ, 板ナデ(ハタケ状), 板ナデ
008	004SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(4.4)	赤	灰赤・石黄・黒得色, ~2mm大塵埃含む	内面:ミダケ, ナデ 外面:ミダケ
009	-	古墳(土師器)	壺	—	—	(4.8)	赤	灰赤・石黄含む	内面:板ナデ(オオキ状) 外面:二段斜削山田文, 巻結線編文, 二段斜削山田文
010	-	古墳(土師器)	壺	12.0	—	(5.7)	赤	灰赤含む	内面:磨練, ミダケあり 外面:磨練
011	-	古墳(土師器)	壺	20.0	—	(3.0)	中々紅	灰赤・石黄含む, 2~3mm大塵埃含む	内面:磨練 外面:磨練
012	-	古墳(土師器)	壺	—	4.0	(2.0)	中々紅	灰赤・石黄含む, 2~3mm大塵埃含む	内面:磨練 外面:ナデ
013	-	古墳(土師器)	甕	—	8.2	(5.5)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む	内面:ハタケ, 板ナデ, ヨコナデ 外面:ナデ, ハタケヨコナデ, ハタケ, ヨコナデ
014	-	古墳(土師器)	甕	—	3.6	(2.3)	赤	黒得色含む	内面:板ナデ 外面:板ナデ
015	-	古墳(土師器)	甕	—	3.7	(2.4)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む	内面:ハタケ 外面:黒いハタケ, オオキ
016	-	古墳(土師器)	甕	—	6.6	(1.5)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む	内面:ハタケ 外面:ハタケヨコナデ
017	-	古墳(土師器)	高杯	—	—	(5.1)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む	内面:ミダケ, ナデ 外面:ミダケ
018	-	古墳(土師器)	高杯	—	20.0	(3.0)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む	内面:ミダケ 外面:ミダケ, ヨコナデ
019	-	中世(山系織)	碗	17.0	—	(3.7)	赤	灰白	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ
020	039NR	古墳(土師器)	甕	14.0	—	(4.0)	中々紅	灰赤・黒得色含む, ~2mm大塵埃含む	内面:ヨコナデ, 板ナデ, ヨコナデ 外面:ハタケヨコナデ, オオキ, 板ナデ
021	039NR	古墳(土師器)	高杯	—	7.6	(3.8)	赤	灰赤・黒得色含む	内面:ミダケ, ナデ, 板ナデ, ヨコナデ 外面:ヨコナデ, ナデ
022	039NR	古墳(土師器)	不明	—	2.4	(1.2)	中々紅	灰赤含む, ~2mm大塵埃含む	内面:磨練 外面:磨練
023	039NR	古墳(土師器)	高杯	—	11.0	(7.9)	中々紅	灰赤・黒得色含む, ~2mm大塵埃含む	内面:ミダケ, ナデ, ヨコナデ 外面:磨結線編文, ナデ, ヨコナデ
024	039NR	古墳(土師器)	高杯	30.0	—	(4.0)	中々紅	灰赤・黒得色含む, 3mm大塵埃含む	内面:ナデ, ミダケ 外面:ヨコナデ, ナデ
025	039NR	古墳(土師器)	鉢	11.0	—	(7.3)	中々紅	灰赤・黒得色含む, 3mm大塵埃含む	内面:ヨコナデ 外面:ハタケヨコナデ, ナデ
026	-	不明	土製品	長10.0	幅4.5	厚2.5	中々紅	灰赤・黒得色含む, ~2mm大塵埃含む	オオキ, ナデ
027	-	古墳(土師器)	甕	—	6.0	(2.4)	中々紅	灰赤・黒得色含む, ~2mm大塵埃含む	内面:板ナデ 外面:オオキ
028	-	不明	円盤	長4.2	幅4.0	厚1.6	赤	灰赤・黒得色含む	—
029	-	中世(山系織)	皿	—	3.8	(1.7)	赤	灰白	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ

寄島遺跡26年度14A~14E区

国庫番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・編文
001	006SD	古墳(土師器)	壺	—	—	(4.4)	赤	灰赤	内面:ヨコナデ, 板ナデ 外面:ヨコナデ, 板ナデ
002	006SD	古墳(土師器)	壺	—	6.0	(2.0)	赤	灰赤	内面:磨練 外面:磨練
003	006SD	古墳(土師器)	高杯	—	—	(7.3)	中々紅	灰赤・石黄・黒得色含む, 3mm大塵埃含む	内面:ナデ, ミダケ 外面:ナデ
004	006SD	古墳(土師器)	壺	12.0	—	7.9	赤	灰赤含む	内面:ヨコナデ, ミダケ 外面:ヨコナデ
005	031SK	古墳(土師器)	鉢	9.1	4.2	(7.1)	中々紅	灰赤・石黄・黒得色含む, 2mm大塵埃含む	内面:板ナデ(オオキ状) 外面:ナメハタ
006	053SK	古墳(土師器)	高杯	—	—	(4.2)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む, 3mm大塵埃含む	内面:板ナデ, ミダケ, オオキ 外面:磨結線編文, ミダケ
007	026NR	古墳(土師器)	壺	16.8	—	(5.2)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む, 3mm大塵埃含む	内面:ハタケヨコナデ, 板ナデ(ハタケ状) 外面:白線状山田文, 磨結線編文, ナデ
008	026NR	古墳(土師器)	壺	17.0	—	(5.0)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む	内面:ハタケ(ハタケ状), オオキ 外面:黒いハタケ, 流線
009	026NR	古墳(土師器)	壺	15.2	—	(5.2)	赤	灰赤・石黄含む	内面:ミダケ, ハタケ, ナデ 外面:ハタケヨコナデ, ヨコナデ
010	026NR	古墳(土師器)	壺	14.8	—	(4.3)	中々紅	灰赤・石黄含む, 2mm大塵埃含む	内面:ハタケヨコナデ, ハタケ 外面:ハタケヨコナデ, ハタケ
011	026NR	古墳(土師器)	壺	18.6	—	(5.9)	中々紅	灰赤・石黄含む	内面:ミダケ, オオキ, 板ナデ 外面:オオキ
012	026NR	古墳(土師器)	壺	18.4	—	(5.3)	赤	灰赤・黒得色含む	内面:ヨコナデ, オオキ, ナデ 外面:ヨコナデ, ハタケ
013	026NR	古墳(土師器)	壺	—	—	(4.8)	赤	灰赤・石黄・黒得色含む, 2mm大塵埃含む	内面:オオキ 外面:オオキ
014	026NR	古墳(土師器)	壺	—	—	(4.2)	赤	灰赤	内面:オオキ・板ナデ 外面:磨結線編文, 段状文
015	026NR	古墳(土師器)	壺	—	—	(4.3)	赤	灰赤	内面:板ナデ 外面:板ナデ
016	026NR	古墳(土師器)	壺	—	—	(7.5)	赤	灰赤	内面:ヨコナデ 外面:磨結線編文, 磨結線編文, 磨結文, ヨコナデ

付表 遺物一覽5

図版番号	遺構	呼称(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
017	026NR	古墳(土師器)	蓋	—	8.6	(27.0)	灰	にじみ黄緑	内面:ハナケ→ナツグ、オキエ、ナツグ、ハク 外面:ハナケ→オキエ→オキエ
018	026NR	古墳(土師器)	蓋	—	4.6	(2.3)	灰	にじみ黄	内面:ハナケ 外面:ナツグ
019	026NR	古墳(土師器)	蓋	—	7.0	(2.6)	中々粗	にじみ黄緑	内面:飯ナツグ 外面:飯ナツグ→ナツグ
020	026NR	古墳(土師器)	蓋	—	8.0	(4.9)	灰	濃緑	内面:飯ナツグ(ナツグ脱)、ナツグ 外面:飯ナツグ→ナツグ
021	026NR	古墳(土師器)	蓋	—	7.8	(5.7)	灰	にじみ黄緑	内面:飯ナツグ 外面:飯ナツグ
022	026NR	古墳(土師器)	甕	17.8	—	(5.7)	灰	灰褐	内面:飯ナツグ→ヨコナツグ、ケズリ 外面:ヨコナツグ、飯ナツグ
023	026NR	古墳(土師器)	甕	15.4	—	(4.2)	灰	内面:ヨコナツグ 外面:ヨコナツグ、ヨコナツグ	
024	026NR	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(4.5)	中々粗	にじみ黄	内面:ヨコナツグ→ナツグ 外面:ヨコナツグ、飯ナツグ
025	026NR	古墳(土師器)	甕	13.2	—	(5.1)	中々粗	灰褐	内面:濃緑、ナツグ、飯ナツグ 外面:濃緑、ヨコナツグ、飯ナツグ
026	026NR	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(12.1)	灰	灰黄	内面:ハナケ→ヨコナツグ、ナツグ 外面:飯ナツグ→ヨコナツグ、ヨコナツグ、ハナケ、濃緑
027	026NR	古墳(土師器)	甕	20.6	—	(3.0)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ 外面:ヨコナツグ→ヨコナツグ
028	026NR	古墳(土師器)	甕	21.8	—	(2.9)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ→ヨコナツグ 外面:ヨコナツグ→ヨコナツグ、ナツグ
029	026NR	古墳(土師器)	甕	17.6	—	(4.4)	灰	にじみ黄緑	内面:濃緑、オキエ 外面:ヨコナツグ、濃緑
030	026NR	古墳(土師器)	甕	22.0	—	(4.1)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、ナツグ 外面:ヨコナツグ、ハナケ
031	026NR	古墳(土師器)	甕	17.0	—	(4.7)	灰	にじみ黄	内面:ハナケ、飯ナツグ 外面:ハナケ
032	026NR	古墳(土師器)	甕	21.2	—	(5.3)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ→ヨコナツグ、飯ナツグ 外面:ヨコナツグ、ハナケ→ヨコナツグ、オキエ→ハナケ
033	026NR	古墳(土師器)	甕	34.4	—	(6.0)	中々粗	にじみ黄	内面:ヨコナツグ→ヨコナツグ、ケズリ 外面:ヨコナツグ、ハナケ
034	026NR	古墳(土師器)	甕	14.2	—	(5.0)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、ハナケ、オキエ、飯ナツグ 外面:ヨコナツグ、ハナケ、オキエ
035	026NR	古墳(土師器)	甕	19.2	—	(6.3)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、ハナケ、オキエ 外面:ヨコナツグ、ナツグ
036	026NR	古墳(土師器)	甕	26.0	—	(6.5)	中々粗	細灰	内面:ヨコナツグ→ヨコナツグ、ケズリ 外面:ヨコナツグ、オキエ、ハナケ、オキエ→ハナケ
037	026NR	古墳(土師器)	甕	15.2	—	(12.5)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、ハナケ、オキエ(ナツグ脱) 外面:ヨコナツグ、オキエ、ハナケ→ヨコナツグ
038	026NR	古墳(土師器)	甕	18.8	—	(9.2)	中々粗	灰白	内面:ヨコナツグ、オキエ、ナツグ 外面:ヨコナツグ、オキエ→ヨコナツグ、ハナケ
039	026NR	古墳(土師器)	甕	20.0	—	(13.8)	灰	にじみ黄	内面:ハナケ、ナツグ、オキエ、ナツグ 外面:ヨコナツグ、飯ナツグ
040	026NR	古墳(土師器)	甕	28.0	—	(3.9)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、飯ナツグ 外面:オキエ→ヨコナツグ
041	026NR	古墳(土師器)	甕	23.0	—	(6.9)	灰	にじみ黄緑	内面:ヨコナツグ、ハナケ、オキエ、飯ナツグ、ナツグ 外面:ヨコナツグ、オキエ→ハナケ
042	026NR	古墳(土師器)	甕	24.0	—	(15.0)	中々粗	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、ケズリ、飯ナツグ 外面:ヨコナツグ、オキエ、オキエ→ハナケ→ナツグ、ハナケ
043	026NR	古墳(土師器)	甕	19.0	—	(8.0)	灰	にじみ黄	内面:ハナケ→ヨコナツグ、飯ナツグ 外面:ハナケ→ヨコナツグ、ナツグ→ハナケ
044	026NR	古墳(土師器)	甕	—	—	(9.4)	灰	にじみ黄緑	内面:ハナケ、オキエ、飯ナツグ→ナツグ 外面:ハナケ→ナツグ
045	026NR	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(4.9)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、ハナケ 外面:ヨコナツグ、飯ナツグ
046	026NR	古墳(土師器)	甕	17.6	—	(7.2)	灰	にじみ黄緑	内面:ヨコナツグ、ナツグ 外面:ヨコナツグ、オキエ
047	026NR	古墳(土師器)	甕	20.0	—	(4.2)	灰	にじみ黄緑	内面:ヨコナツグ→ヨコナツグ、ナツグ 外面:ヨコナツグ
048	026NR	古墳(土師器)	甕	14.0	—	(5.5)	灰	濃	内面:ヨコナツグ、飯ナツグ→ナツグ 外面:オキエ
049	026NR	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(5.6)	灰	濃	内面:飯ナツグ→ヨコナツグ、ナツグ 外面:オキエ→ナツグ、オキエ→ハナケ
050	026NR	古墳(土師器)	甕	14.0	—	(6.6)	灰	にじみ黄緑	内面:ヨコナツグ、オキエ、飯ナツグ 外面:ヨコナツグ、オキエ→ハナケ
051	026NR	古墳(土師器)	甕	17.6	—	(6.6)	灰	にじみ黄	内面:ハナケ、ナツグ 外面:ヨコナツグ、ナツグ
052	026NR	古墳(土師器)	甕	12.2	—	(15.9)	灰	灰褐	内面:飯ナツグ→ヨコナツグ、飯ナツグ、ナツグ 外面:オキエ、ナツグ、飯ナツグ、ケズリ
053	026NR	古墳(土師器)	甕	19.0	—	(20.3)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、ハナケ、飯ナツグ、オキエ、ナツグ 外面:ヨコナツグ、ナツグ、濃緑に紅い筋目
054	026NR	古墳(土師器)	甕	20.4	9.3	27.6	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ、飯ナツグ、ナツグ、オキエ、ハナケ、ヨコナツグ 外面:ヨコナツグ、ハナケ、ナツグ
055	026NR	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(3.2)	灰	灰白	内面:飯ナツグ、飯ナツグ 外面:ヨコナツグ、飯ナツグ(オキエ)
056	026NR	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(2.8)	中々粗	灰黄	内面:ヨコナツグ、飯ナツグ、飯ナツグ→ヨコナツグ 外面:ヨコナツグ、ハナケ
057	026NR	古墳(土師器)	甕	17.4	—	(3.6)	中々粗	にじみ黄	内面:ヨコナツグ 外面:ヨコナツグ、ハナケ
058	026NR	古墳(土師器)	甕	18.4	—	(2.1)	灰	にじみ黄	内面:ヨコナツグ 外面:飯ナツグ、ヨコナツグ
059	026NR	古墳(土師器)	甕	19.0	—	(2.8)	灰	にじみ黄緑	内面:濃緑 外面:飯ナツグ、ハナケ
060	026NR	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(5.9)	灰	にじみ黄	内面:ハナケ→ヨコナツグ、オキエ→ナツグ 外面:ヨコナツグ、飯ナツグ、飯ナツグ、飯ナツグ、飯ナツグ、飯ナツグ
061	026NR	古墳(土師器)	甕	13.7	—	(2.1)	中々粗	灰黄緑	内面:ヨコナツグ、ハナケ、ナツグ 外面:ヨコナツグ、ハナケ、濃緑
062	026NR	古墳(土師器)	甕	15.6	—	(2.7)	灰	にじみ黄緑	内面:ヨコナツグ、ハナケ 外面:ヨコナツグ、ハナケ、飯ナツグ→ヨコナツグ
063	026NR	古墳(土師器)	甕	24.6	—	(2.8)	中々粗	灰白	内面:ヨコナツグ、ヨコナツグ、オキエ→ナツグ 外面:ヨコナツグ、押引、ハナケ
064	026NR	古墳(土師器)	甕	15.2	—	(14.4)	中々粗	灰黄緑	内面:ヨコナツグ、飯ナツグ(濃緑)、飯ナツグ(中粒ナツグ) 外面:ヨコナツグ(濃緑)、オキエ→ナツグ、オキエ→ナツグ

付表 遺物一覽6

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文	
065	026NR	古墳(土師器)	甕	—	7.3	(22.0)	泥	灰白~黄	内面:クマズ、ハク 外面:ハク、散チ、ナツ	
066	026NR	古墳(土師器)	甕	—	—	(21.5)	泥	灰白~黄	内面:散チ、ハク 外面:ハク	
067	026NR	古墳(土師器)	甕	—	4.3	(2.0)	泥	灰白	内面:散チ 外面:磨縁	
068	026NR	古墳(土師器)	甕	—	4.3	(2.1)	泥	灰白	内面:散チ 外面:散チ	
069	026NR	古墳(土師器)	甕	—	4.8	(1.9)	中~粗	灰白~黄	内面:クマズ、散チ 外面:オオユ、ナツ、散チ	
070	026NR	古墳(土師器)	甕	—	4.4	(2.3)	中~粗	灰白	内面:散チ 外面:ハク	
071	026NR	古墳(土師器)	甕	—	4.6	(3.6)	泥	灰白	内面:ヨコナツ、散チ 外面:ヨコナツ、ナツ	
072	026NR	古墳(土師器)	甕	—	5.6	(3.6)	泥	灰白~黄	内面:ミダテ 外面:オオユ、ナツ、磨縁跡、ナツ、オオユ	
073	026NR	古墳(土師器)	甕	—	6.9	(5.7)	泥	灰白~黄	内面:散チ(クマズ脱)、ナツ 外面:オオユ、ナツ、オオユ	
074	026NR	古墳(土師器)	甕	—	6.8	(6.2)	泥	灰白~黄	内面:散チ、オオユ、散チ 外面:散チ、オオユ	
075	026NR	古墳(土師器)	甕	—	8.0	(5.7)	泥	灰白	内面:ハク、ヨコナツ 外面:ナツ、ヨコナツ、ヨコナツ	
076	026NR	古墳(土師器)	甕	—	7.2	(3.7)	泥	灰白~黄	内面:散チ、クマズ 外面:磨縁	
077	026NR	古墳(土師器)	甕	—	7.4	(4.5)	泥	灰白~黄	内面:ハク、ナツ、オオユ、散チ(クマズ脱) 外面:オオユ	
078	026NR	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(4.6)	泥	灰白	内面:散チ+ヨコナツ 外面:ヨコナツ、ナツ、ハク、ヨコナツ	
079	026NR	古墳(土師器)	甕	—	9.4	(4.8)	泥	灰白	内面:散チ、散チ、ヨコナツ 外面:ハク、ヨコナツ	
080	026NR	古墳(土師器)	甕	—	8.8	(5.1)	泥	灰白	内面:散チ、ナツ 外面:散チ+ナツ	
081	026NR	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(5.3)	泥	灰白	内面:ハク、しぼり、ハク、ヨコナツ 外面:クマズ、ナツ、ハク	
082	026NR	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(5.8)	泥	灰白~黄	内面:散チ+ヨコナツ、ナツ 外面:ハク	
083	026NR	古墳(土師器)	甕	—	10.0	(5.6)	泥	灰白~黄	内面:ハク+ナツ、ハク+ヨコナツ 外面:オオユ、ナツ、磨縁	
084	026NR	古墳(土師器)	甕	—	10.0	(4.7)	中~粗	灰白	内面:散チ、ハク 外面:オオユ、ナツ、散チ、磨縁	
085	026NR	古墳(土師器)	甕	—	9.2	(5.4)	中~粗	灰白	内面:ナツ、オオユ、ヨコナツ 外面:オオユ、散チ、ヨコナツ、磨縁	
086	026NR	古墳(土師器)	甕	—	10.0	(5.3)	中~粗	灰白	内面:散チ、オオユ、ナツ、散チ 外面:磨縁+クマズ	
087	026NR	古墳(土師器)	甕	—	8.4	(6.9)	粗	明赤	内面:磨縁、ナツ、オオユ、ヨコナツ 外面:ハク、散チ	
088	026NR	古墳(土師器)	高杯	20.8	—	(5.8)	泥	灰白	内面:ヨコナツ、オオユ 外面:ヨコナツ、オオユ	
089	026NR	古墳(土師器)	高杯	22.0	—	(5.8)	泥	灰白	内面:ミダテ 外面:ミダテ	
090	026NR	古墳(土師器)	高杯	20.0	—	(7.3)	泥	灰白~黄	内面:クマズ 外面:ヨコナツ+オオユ	
091	026NR	古墳(土師器)	高杯	26.0	—	(6.3)	中~粗	黄	内面:ミダテ、ミダテ 外面:ミダテ、ヨコナツ+ミダテ	
092	026NR	古墳(土師器)	高杯	26.9	—	(6.4)	泥	灰白	内面:ミダテ 外面:ミダテ	
093	026NR	古墳(土師器)	高杯	26.0	—	(6.1)	泥	明赤	内面:ヨコナツ+ミダテ 外面:ヨコナツ、オオユ	
094	026NR	古墳(土師器)	高杯	24.0	—	(10.7)	中~粗	灰白~黄	内面:クマズ、オオユ、磨縁 外面:ヨコナツ、オオユ	
095	026NR	古墳(土師器)	高杯	25.8	—	(11.3)	泥	灰白~黄	内面:ヨコナツ、ミダテ 外面:ヨコナツ、ミダテ	
096	026NR	古墳(土師器)	高杯	26.9	—	(13.0)	泥	灰白~黄	内面:クマズ+オオユ、内縁部ヨコナツ 外面:クマズ+オオユ	
097	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	(17.0)	中~粗	灰白~黄	内面:散チ、しぼり、散チ 外面:ミダテ、磨縁跡、ミダテ	
098	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	(8.6)	泥	灰白	内面:オオユ、しぼり、ハク 外面:磨縁跡、ミダテ	
099	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	(9.6)	泥	灰白	内面:ミダテ、しぼり、散チ、ナツ 外面:ミダテ、磨縁跡、ミダテ	
100	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	(14.1)	泥	灰白~黄	内面:ミダテ、しぼり、クマズ 外面:ミダテ、磨縁跡、ミダテ	
101	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	14.6	(5.1)	中~粗	灰白	内面:ハク、ヨコナツ 外面:ミダテ
102	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	(11.7)	泥	灰白~黄	内面:ミダテ、しぼり、散チ、ヨコナツ 外面:クマズ+オオユ	
103	026NR	古墳(土師器)	高杯	25.8	13.8	26.8	中~粗	灰白	内面:ミダテ、散チ、しぼり、ハク、ヨコナツ 外面:ミダテ、ミダテ+磨縁跡	
104	026NR	古墳(土師器)	高杯	26.6	15.8	(25.9)	泥	灰白	内面:オオユ、しぼり、ナツ、ヨコナツ 外面:ハク、ナツ、ハク+ミダテ	
105	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	11.6	(10.1)	中~粗	灰白~黄	内面:磨縁、ナツ、散チ(クマズ脱)、ヨコナツ 外面:ハク、ナツ、ハク+ミダテ
106	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	14.5	(9.2)	泥	灰白~黄	内面:ミダテ、しぼり、散チ、ヨコナツ 外面:オオユ
107	026NR	古墳(土師器)	高杯	11.6	—	(2.8)	泥	灰白~黄	内面:ミダテ、ハク 外面:磨縁跡、ハク+磨縁跡、ミダテ	
108	026NR	古墳(土師器)	高杯	11.8	—	(4.9)	泥	灰白	内面:ミダテ 外面:ミダテ	
109	026NR	古墳(土師器)	高杯	14.6	—	(4.9)	泥	灰白	内面:ミダテ 外面:ミダテ	
110	026NR	古墳(土師器)	高杯	15.0	—	(5.6)	泥	灰白	内面:ミダテ 外面:ミダテ	
111	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	7.0	(6.7)	粗	灰白	内面:ミダテ、散チ、ヨコナツ 外面:クマズ+オオユ
112	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	—	10.6	(6.1)	中~粗	灰白	内面:ナツ、ヨコナツ+ヨコナツ 外面:磨縁跡、ハク+ミダテ、ヨコナツ(ハク脱)

付表 遺物一覽7

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
113	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	6.8	(6.9)	黒	紅い燻	内面:ミダテ、敷ナツ 外面:クサミダテ、オサニミダテ、クサミダテ
114	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	13.0	(4.9)	やや粗	灰黒	内面:敷ナツ、クサミダテ 外面:磨縁
115	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	11.6	(5.6)	粗	黒	内面:ミダテ、オサニ、敷ナツ→コソナツ 外面:磨縁縁取、クサミダテ
116	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	10.1	(5.7)	粗	紅い燻	内面:コソナツ、磨縁 外面:磨縁縁取、磨縁
117	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	13.2	(1.9)	粗	紅い燻	内面:コソナツ 外面:ミダテ、磨縁縁取、磨縁山折文
118	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	12.8	(7.5)	粗	紅い燻	内面:ミダテ、ナツ、ハク、コソナツ 外面:ハク→ミダテ
119	026NR	古墳(土師器)	高杯	—	9.8	(6.7)	粗	灰黒	内面:敷ナツ、コソナツ 外面:クサミダテ、オサニ、コソナツ
120	026NR	古墳(土師器)	高杯	14.8	10.2	10.3	粗	紅い燻	内面:ミダテ、敷ナツ、コソナツ 外面:ハク→ミダテ、磨縁縁取、ミダテ、コソナツ
121	026NR	古墳(土師器)	高杯	11.3	9.6	9.9	粗	紅い燻	内面:コソナツ、ミダテ、しぼり、敷ナツ 外面:ハク→ミダテ、磨縁縁取、ミダテ
122	026NR	古墳(土師器)	壺	9.5	—	(3.2)	粗	灰白	内面:クサミダテ、磨縁 外面:コソナツ、クサミダテ、コソナツ
123	026NR	古墳(土師器)	壺	12.8	—	(7.2)	粗	灰石・石灰・黒色含む	内面:コソナツ、コソナツ、磨縁縁多い 外面:磨縁、コソナツ
124	026NR	古墳(土師器)	壺	11.2	5.0	19.8	粗	明褐色	内面:コソナツ、ミダテ、敷ナツ 外面:コソナツの条線、ミダテ
125	026NR	古墳(土師器)	壺	—	3.8	(9.5)	粗	灰石・黒色含む	内面:オサニ、ナツ、敷ナツ、ナツ 外面:ナツ、ミダテ、クサミ
126	026NR	古墳(土師器)	壺	—	4.6	(2.8)	粗	灰石・石灰・黒色含む	内面:敷ナツ、ハク 外面:ミダテ
127	026NR	古墳(土師器)	器台	21.0	—	(3.6)	粗	紅い燻	内面:ハク→ミダテ 外面:ハク→ミダテ
128	026NR	古墳(土師器)	器台	19.4	15.2	16.4	粗	紅い燻	内面:コソナツ、敷ナツ 外面:ハク→ミダテ
129	026NR	古墳(土師器)	鉢	11.0	4.8	6.5	やや粗	灰石・石灰・黒色含む、2mm大礫含む	内面:コソナツ 外面:オサニ、ナツ
130	026NR	古墳(土師器)	鉢	11.0	4.8	7.5	粗	灰石含む、2mm大礫含む	内面:コソナツ、オサニ、ナツ 外面:コソナツ、オサニ、ナツ
131	026NR	古墳(土師器)	鉢	11.6	—	(3.5)	粗	灰石・石灰・黒色含む	内面:ハク→コソナツ、ナツ 外面:コソナツ、磨縁のヒダナツ、ハク
132	026NR	古墳(土師器)	鉢	10.0	4.7	4.7	粗	灰石・石灰含む、2mm大礫含む	内面:オサニ、ナツ 外面:オサニ、ナツ
133	026NR	古墳(土師器)	鉢	10.0	—	(4.2)	粗	灰石・石灰・黒色含む	内面:オサニ、敷ナツ 外面:コソナツ、オサニ、ハク→ミダテ
134	026NR	古墳(土師器)	鉢	—	3.4	(2.6)	やや粗	灰石・石灰含む、4mm大礫含む	内面:敷ナツ 外面:敷ナツ
135	026NR	古墳(土師器)	鉢	—	3.5	(2.9)	粗	灰石・石灰含む	内面:ナツ 外面:敷ナツ
136	026NR	古墳(土師器)	鉢	—	5.0	(4.6)	粗	灰石・黒色含む	内面:敷ナツ→ナツ 外面:敷ナツ→ナツ
137	026NR	古墳(土師器)	ニ ミ チャ	2.0	1.9	4.6	粗	灰石・石灰含む、2mm大礫含む	内面:敷ナツ(クサミダテ)、敷ナツ(ハク状) 外面:敷ナツ(一部ハク状)→部分のにミダテ、オサニ
138	026NR	古墳(土師器)	ニ ミ チャ	3.7	2.9	3.6	粗	灰石・黒色含む	内面:ナツ 外面:オサニ→ナツ
139	026NR	縄文(縄文土器)	深鉢	—	—	(4.3)	粗	灰石・石灰・黒色含む、 →2mm大礫含む	内面:ナツ、磨縁 外面:磨縁、磨縁文
140	026NR	弥生(弥生土器)	高杯	10.7	—	(2.5)	やや粗	黒	内面:ハク→コソナツ、敷ナツ 外面:ハク→コソナツ、磨縁
141	-	古代(灰輪陶器)	灰輪碗	14.0	—	(5.8)	灰白	灰白	内面:コソナツ 外面:コソナツ
142	-	古代(灰輪陶器)	灰輪碗	16.0	—	(2.8)	粗	灰石含む	内面:コソナツ 外面:コソナツ
143	-	古代(灰輪陶器)	灰輪碗	—	7.3	(2.9)	粗	灰白	内面:コソナツ 外面:コソナツ
144	-	古代(灰輪陶器)	灰輪碗	—	8.2	(2.1)	粗	灰石含む	内面:コソナツ 外面:コソナツ
145	-	中世(山菜焼)	山菜焼	—	7.4	(2.0)	粗	灰石含む	内面:コソナツ 外面:コソナツ
146	003SD	古墳(土師器)	壺	15.0	—	(3.7)	粗	灰石・石灰・黒色含む、2mm大礫含む	内面:コソナツ→二枚縁縁取状文、コソナツ 外面:口縁縁取、縁取付文、クサミダテ→コソナツ
147	003SD	古墳(土師器)	壺	—	—	(4.9)	やや粗	紅い燻	内面:オサニ、ナツ 外面:磨縁縁取、磨縁縁取文
148	003SD	古墳(土師器)	壺	—	6.0	(2.1)	粗	灰石・石灰含む、2mm大礫含む	内面:敷ナツ 外面:ハク→コソナツ
149	003SD	古墳(土師器)	壺	—	4.3	(1.7)	粗	灰石・石灰・黒色含む、3mm大礫含む	内面:敷ナツ 外面:敷ナツ
150	066SD	古墳(土師器)	壺	—	8.4	(3.1)	やや粗	紅い燻	内面:敷ナツ(クサミダテ) 外面:ハク
151	003SD	古墳(土師器)	壺	15.4	—	(3.5)	やや粗	灰石・石灰・黒色含む	内面:コソナツ(条線状)、オサニ 外面:コソナツ(条線状)、ハク、オサニ
152	003SD	古墳(土師器)	壺	—	6.4	(2.0)	粗	黒	内面:オサニ、磨縁 外面:磨縁
153	003SD	古墳(土師器)	壺	—	5.4	(2.2)	粗	灰石・石灰含む、5mm大礫含む	内面:磨縁 外面:敷ナツ(一部ハク状)
154	003SD	古墳(土師器)	壺	—	8.3	(5.5)	粗	黒	内面:敷ナツ、ナツ 外面:ハク、オサニ、ナツ、磨縁
155	003SD	古墳(土師器)	高杯	—	—	(6.4)	粗	紅い燻	内面:磨縁、しぼり、ナツ、コソナツ 外面:ミダテ
156	003SD	古墳(土師器)	壺	—	4.8	(4.0)	粗	紅い燻	内面:敷ナツ 外面:ハク、クサミ
157	003SD	古墳(土師器)	鉢	11.5	—	6.8	粗	紅い燻	内面:磨縁 外面:ミダテ、ハク、磨縁
158	012SD	古墳(土師器)	壺	—	—	(1.0)	粗	紅い燻	内面:オサニ、ナツ 外面:オサニ、ナツ
159	013SD	古墳(土師器)	高杯	—	14.2	(8.0)	粗	灰石・石灰含む、2mm大礫含む	内面:磨縁、ハク、コソナツ 外面:ミダテ、コソナツ
160	019SD	古墳(土師器)	壺	—	8.0	(5.1)	やや粗	紅い燻	内面:敷ナツ、ハク 外面:ハク、敷ナツ、コソナツ

付表 遺物一覧8

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
161	011SI	古墳(土師器)	壺	—	—	(7.7)	中々硬 長石・石黄含む、3m大層 含む	にぶい黄	内面:ハク、板ナブ 外面:ハク+一帯の黒施文、縞刺状文、ハク
162	-	古墳(土師器)	壺	—	6.3	(10.8)	硬 長石・石黄含む	明赤黄	内面:板ナブ 外面:黒コナダ、ハク
163	-	古墳(土師器)	壺	—	7.0	(4.3)	硬 長石・石黄含む	にぶい黄	内面:ハク、板ナブ、縞刺 外面:ハク
164	-	古墳(土師器)	高杯	—	—	(4.2)	硬 長石・石黄含む	灰黄緑	内面:ナブ、板ナブ 外面:ミダマ、黒コナダ
165	-	古墳(土師器)	器台	9.5	—	(2.4)	硬 長石・石黄・黒粒含む	橙	内面:ミダマ、縞刺 外面:ミダマ
166	-	古墳(土師器)	壺	—	3.4	(2.2)	中々硬 長石・石黄含む、3m大層 含む	にぶい黄緑	内面:ナブ 外面:縞刺
167	-	古墳(土師器)	壺	—	3.0	(2.5)	中々硬 長石・石黄含む、2m大層 含む	灰黄	内面:板ナブ 外面:ミダマ、縞刺、オオエ
168	-	弥生土器(赤土土器)	深鉢	—	—	(6.2)	中々硬	黒黄	内面:黒コナダ 外面:二枚貝黒施文
169	-	古代(須恵器)	杯身	—	10.4	(2.8)	硬	灰白	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
170	-	古代(須恵器)	碗	—	6.8	(2.1)	硬	灰白	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
171	-	中世(山系陶)	碗	14.8	—	(3.9)	硬	灰白	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
172	-	中世(山系陶)	碗	—	7.9	(1.8)	硬	灰白	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
173	-	中世(山系陶)	碗	—	6.8	(1.2)	硬	灰白	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
174	-	中世(山系陶)	碗	—	6.8	(1.6)	硬	灰白	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
175	-	中世(山系陶)	皿	8.7	5.4	1.9	硬 長石含む、2m大層含む	灰白	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
176	-	中世(古瀬戸)	皿	10.4	5.1	2.3	硬	灰白	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
177	002SI	古墳(土師器)	壺	14.0	—	(14.9)	中々硬 長石・黒粒含む、3m大層 含む	にぶい黄	内面:オオエ、縞刺、ナブor板ナブ 外面:黒コナダ、ナブ
178	002SI	古墳(土師器)	壺	26.0	—	(5.9)	硬 長石・石黄・黒粒含む、4 m大層含む	にぶい黄	内面:ミダマ 外面:縞刺、ミダマ
179	002SI	古墳(土師器)	壺	23.1	—	(4.3)	硬 長石・石黄含む、2m大 層含む	橙	内面:縞刺 外面:縞刺
180	002SI	古墳(土師器)	壺	—	7.0	(8.0)	硬 長石・石黄含む	浅黄緑	内面:板ナブ 外面:板ナブ[ハク状の部分あり]
181	002SI	古墳(土師器)	壺	16.6	—	(3.8)	硬 長石・石黄・黒粒含む	にぶい黄緑	内面:ハク、縞刺 外面:ハク、縞刺
182	002SI	古墳(土師器)	高杯	—	—	(9.6)	硬 長石含む	浅黄緑	内面:縞刺、しほり、ナブ 外面:縞刺、板ナブ
183	002SI	古墳(土師器)	高杯	15.8	10.8	13.5	中々硬	明赤黄	内面:ナブ、板ナブ、ナブ、板ナブ 外面:オオエ、ナブ、板ナブ、板ナブ[ハク状]
184	002SI	古墳(土師器)	高杯	—	9.0	(3.6)	硬 長石・石黄含む	にぶい黄	内面:しほり、ハク 外面:縞刺、ミダマ、縞刺
185	002SI	古墳(土師器)	壺	9.4	—	(3.8)	硬 長石含む	橙	内面:黒コナダ、板ナブ 外面:縞刺
186	005SI	古墳(土師器)	壺	15.4	—	(4.5)	硬 長石含む	橙	内面:ヨコシギキ 外面:ヨコシギキ、縞刺
187	005SI	古墳(土師器)	壺	—	—	(3.3)	硬 長石・石黄・黒粒含む	橙	内面:縞刺、ミダマ 外面:黒コナダ(条線あり)、縞刺
188	005SI	古墳(土師器)	器台	—	11.8	(8.4)	中々硬 長石・石黄含む、2m大層 含む	明赤黄	内面:ミダマ、縞刺、ケズリ、ナブ 外面:黒コナダ、黒コナダ+ミダマ、縞刺
189	005SI	古墳(土師器)	壺	17.0	—	(8.5)	硬 長石・石黄含む	にぶい黄	内面:黒コナダ、ハク、板ナブ、縞刺 外面:黒コナダ、ハク
190	005SI	古墳(土師器)	壺	11.4	3.4	15.5	硬 長石・石黄含む、2m大層 含む	にぶい黄緑	内面:黒コナダ、ナブ+縞刺、ケズリ 外面:黒コナダ、ミダマ
191	017SI	古墳(土師器)	高杯	—	10.6	(9.7)	中々硬 長石・黒粒含む、3m大層 含む	明赤黄	内面:ケズリ、ナブ、縞刺 外面:ヨコシギキ
192	049SK	古墳(土師器)	壺	20.0	—	(4.3)	硬 長石・石黄・黒粒含む	にぶい黄緑	内面:黒コナダ、ヨコシギキ、板ナブ 外面:黒コナダ、オオエ+ハク
193	030SI	古墳(土師器)	壺	—	10.0	(6.9)	硬 長石・石黄・黒粒含む	橙	内面:板ナブ、ハク 外面:オオエ+ハク+オオエ+ハク
194	001SD	中世(土師器)	皿	8.0	—	1.3	硬 長石・石黄・黒粒含む、2 m大層含む	にぶい黄	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
195	001SD	古墳(土師器)	壺	16.0	—	(3.2)	硬 長石・石黄・黒粒含む、3 m大層含む	にぶい黄	内面:縞刺 外面:縞刺、黒コナダ
196	001SD	古墳(土師器)	壺	18.2	—	(3.2)	中々硬 長石・石黄含む、2m大層 含む	橙	内面:ミダマ+縞刺 外面:ミダマ+縞刺
197	001SD	古墳(土師器)	壺	15.4	—	(3.2)	硬 長石・石黄・黒粒含む	にぶい黄	内面:ハク+黒コナダ、ナブ 外面:ハク+黒コナダ、縞刺
198	001SD	古墳(土師器)	壺	—	5.2	(3.4)	中々硬 長石・石黄含む	にぶい黄	内面:ハク、板ナブ、縞刺 外面:オオエ、ナブ、縞刺
199	001SD	古墳(土師器)	壺	—	5.2	(1.8)	中々硬 長石・石黄・黒粒含む、2 m大層含む	にぶい黄緑	内面:縞刺 外面:縞刺、オオエ
200	001SD	古墳(土師器)	壺	—	8.4	(3.4)	硬 長石・石黄含む、2m大層 含む	灰白	内面:板ナブ 外面:縞刺、板ナブ
201	001SD	古墳(土師器)	高杯	—	12.4	(6.0)	硬 長石・石黄含む、2m大層 含む	にぶい黄	内面:縞刺 外面:ミダマ、縞刺
202	001SD	古墳(土師器)	鉢	24.8	5.0	(13.0)	中々硬 長石・石黄含む、3m大層 含む	明赤黄	内面:縞刺、ナブ 外面:黒コナダ、ミダマ、縞刺
203	038SD	古墳(土師器)	壺	19.5	—	(2.8)	硬 長石・黒粒含む	にぶい黄	内面:縞刺状文、縞刺 外面:黒コナダ
204	039SD	古墳(土師器)	壺	22.0	—	(2.9)	硬 長石・石黄・黒粒含む	にぶい黄	内面:黒コナダ、板ナブ 外面:黒コナダ、ハク
205	039SD	古墳(土師器)	壺	—	11.0	(5.4)	硬 長石・石黄・黒粒含む	にぶい黄	内面:オオエ、ナブ 外面:ハク、ナブ
206	039SD	古墳(土師器)	壺	—	9.4	(5.7)	硬 長石・石黄・黒粒含む	浅黄緑	内面:縞刺、板ナブ 外面:ハク
207	039SD	古墳(土師器)	壺	21.4	—	(4.9)	硬 長石・石黄・黒粒含む	灰黄緑	内面:黒コナダ 外面:黒コナダ
208	-	古墳(土師器)	壺	25.0	—	(8.7)	中々硬 長石・黒粒含む、2m大層 含む	にぶい黄	内面:縞刺 外面:黒コナダ、オオエ、ミダマ

付表 遺物一覽9

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
209	-	古墳(土師器)	甕	9.6	—	(10.0)	灰	にぶい黄	内面:ヨコナダ, オオニ, ナダ, 飯ナダ 外面:ヨコナダ, ハク, オオニ
210	-	古墳(土師器)	甕	—	7.6	(4.8)	灰	灰石・石黄含む	内面:飯ナダ 外面:ヨコナダ 底面:ハク
211	-	古墳(土師器)	甕	—	8.0	(3.5)	中々粗	灰石・石黄含む, 3mm大礫含む	内面:飯ナダ 外面:磨減
212	-	古墳(土師器)	甕	—	9.6	(5.6)	—	灰石・石黄・霰石含む, 3mm大礫含む	内面:黄いハク 外面:ヨコナダ, タダハク
213	-	古墳(土師器)	鉢	14.2	3.0	6.0	—	灰石・霰石含む, 2mm大礫含む	内面:にぶい黄
214	-	古墳(土師器)	甕	11.0	—	(4.0)	—	灰石・石黄・霰石含む, 2mm大礫含む	内面:ヨコナダ, 飯ナダ, ヨコナダ 外面:磨減, ミガキ
215	-	古墳(土師器)	甕	18.3	—	(5.2)	—	灰石・石黄・霰石含む, 2mm大礫含む	内面:飯ナダ・ヨコナダ, ナダ 外面:ヨコナダ, ハケ・ナダ
216	-	古墳(土師器)	鉢	—	3.9	(4.4)	—	灰石・石黄含む, 2mm大礫含む	内面:磨ナダ 外面:オオニ, ナダ
217	001SD	古墳(土師器)	杯身	11.6	5.6	3.9	—	—	内面:ヨコナダ 外面:ヨコナダ, タダ
218	001SD	古墳(土師器)	杯身	14.0	—	(2.1)	—	—	内面:ヨコナダ 外面:ヨコナダ
219	001SD	古墳(土師器)	杯身	11.2	—	(2.1)	—	—	内面:ヨコナダ 外面:ヨコナダ
220	001SD	古墳(土師器)	杯身	—	—	(2.5)	—	—	内面:ヨコナダ 外面:ヨコナダ
221	-	古墳(土師器)	碗	—	7.2	(1.7)	—	灰石含む, 2mm大礫含む	にぶい黄
222	-	古墳(土師器)	皿	—	7.7	(2.1)	—	灰石・石黄含む, 2mm大礫含む	灰白
223	023SI	古墳(土師器)	甕	—	3.6	(2.0)	—	灰石・石黄・霰石含む, 4mm大礫含む	にぶい黄
224	023SI	古墳(土師器)	甕	—	4.3	(2.9)	—	灰石・石黄・霰石含む, 2mm大礫含む	にぶい黄
225	023SI	古墳(土師器)	甕	—	8.8	(5.5)	—	灰石・石黄・霰石含む	黄褐色
226	023SI	古墳(土師器)	高杯	15.0	—	(3.2)	—	灰石・霰石含む	にぶい黄
227	026SI	古墳(土師器)	蓋	15.0	—	4.7	—	灰石・石黄・霰石含む	にぶい黄
228	026SI	古墳(土師器)	蓋	10.4	—	(5.0)	—	灰石・石黄含む	にぶい黄
229	033SK	古墳(土師器)	甕	13.0	—	(6.5)	—	灰石・石黄・霰石含む, 4mm大礫含む	黄褐色
230	011SD	古墳(土師器)	甕	16.4	—	(11.6)	—	灰石・石黄含む, 2mm大礫含む	にぶい黄
231	013SD	古墳(土師器)	甕	17.0	—	(5.5)	—	灰石・石黄・霰石含む, 3mm大礫含む	にぶい黄
232	013SD	古墳(土師器)	甕	15.4	—	(5.7)	—	灰石・石黄・霰石含む	黄
233	013SD	古墳(土師器)	甕	—	6.0	(4.1)	粗	灰石・石黄含む, 3mm大礫含む	灰褐
234	013SD	古墳(土師器)	甕	—	6.8	(3.1)	—	灰石含む	黄
235	013SD	古墳(土師器)	甕	—	8.8	(4.7)	—	灰石・石黄含む, 2mm大礫含む	黄褐色
236	013SD	古墳(土師器)	甕	—	—	(4.9)	—	灰石・石黄含む, 5mm大礫含む	にぶい黄
237	013SD	古墳(土師器)	不明	—	—	(7.5)	—	—	黄褐色
238	013SD	古墳(土師器)	ミユ チュウ	—	2.6	(2.5)	—	灰石・石黄含む	にぶい黄
239	013SD	古墳(土師器)	杯身	—	5.2	(1.9)	—	灰石・石黄含む, 2mm大礫含む	灰
240	013SD	中世(山岳碗)	碗	—	7.0	(2.4)	—	—	内面:ヨコナダ, 磨減 外面:ヨコナダ
241	014SD	古墳(土師器)	甕	21.0	—	(3.5)	—	灰石・石黄・霰石含む, 3mm大礫含む	黄
242	014SD	古墳(土師器)	甕	22.0	—	(6.4)	—	灰石含む	にぶい黄
243	014SD	古墳(土師器)	甕	20.2	—	(4.2)	—	灰石・石黄含む	にぶい黄
244	014SD	古墳(土師器)	甕	23.1	—	(3.1)	中々粗	灰石・石黄含む	にぶい黄
245	014SD	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(2.2)	—	灰石・石黄含む	にぶい黄
246	014SD	古墳(土師器)	甕	—	5.4	(2.8)	中々粗	灰石・石黄・霰石含む, 2mm大礫含む	黄
247	014SD	古墳(土師器)	甕	—	7.6	(4.0)	—	灰石・石黄・霰石含む, 2mm大礫含む	にぶい黄
248	014SD	古墳(土師器)	高杯	—	9.8	(9.8)	中々粗	灰石・石黄・霰石含む, 3mm大礫含む	黄
249	014SD	古墳(土師器)	甕	8.0	—	(6.6)	—	灰石・石黄・霰石含む	にぶい黄
250	014SD	古墳(土師器)	甕	—	2.8	(1.4)	中々粗	灰石・石黄含む, 2mm大礫含む	にぶい黄
251	014SD	古墳(土師器)	甕	—	4.6	(2.4)	—	灰石・石黄・霰石含む	にぶい黄
252	019SD	古墳(土師器)	甕	—	6.0	(2.6)	—	灰石・石黄・霰石含む, 2mm大礫含む	にぶい黄
253	019SD	古墳(土師器)	高杯	21.0	—	(6.4)	—	灰石・石黄・霰石含む, 2mm大礫含む	黄褐色
254	030SD	古代(民船陶碗)	碗	14.0	—	(2.5)	—	灰石含む	内面:ヨコナダ 外面:ヨコナダ
255	040SD	古墳(土師器)	高杯	—	—	(7.4)	—	灰石・霰石含む	内面:ミガキ, タダ, 飯ナダ 外面:飯ナダ, ミガキ, 磨減跡
256	053SD	古墳(土師器)	甕	—	—	(12.3)	—	灰石・石黄含む, 5mm大礫含む	内面:ハク, 磨減, オオニ, ナダ, ハク 外面:磨減, ハク, 磨減跡, 磨減跡状文

付表 遺物一覧10

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・本文
257	053SD	古墳(土師器)	甕	—	4.0	(7.7)	赤	長石・石英含む	内面:ハタテオキス 外面:磨滅
258	053SD	中世(山系陶)	甕	—	7.4	(2.1)	赤	灰白	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
259	067SD	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(5.3)	赤	長石・雲母含む	内面:ハタ、板ナダ、ヨロナダ 外面:タテハタ、ヨロナダ
260	087SD/ト レンナ	古墳(土師器)	甕	—	7.3	(4.9)	赤	長石・石英含む、4m大磨 含む	内面:磨滅、板ナダ 外面:磨滅、オキス、ナダ
261	087SD	古墳(土師器)	甕	—	3.8	(5.7)	赤	長石・石英・雲母含む	内面:ナダ 外面:ハタ
262	087SD	中世(山系陶)	甕	16.1	7.1	6.0	赤	明輝灰	内面:ロクロナダ、磨滅ナダ 外面:ロクロナダ
263	087SD	中世(山系陶)	甕	—	9.6	(3.5)	赤	長石含む	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
264	087SD	中世(山系陶)	甕	—	8.2	(2.5)	赤	長石含む	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
265	087SD	中世(山系陶)	甕	—	8.7	(2.3)	赤	長石含む	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
266	026NR	古墳(土師器)	器台	12.2	—	(3.8)	中々粗	長石・石英含む	内面:ミダキ 外面:ミダキ、磨滅
267	026NR	古墳(土師器)	器台	10.8	—	(4.2)	中々粗	長石・石英含む	内面:ミダキ 外面:ヨロナダ、ミダキ
268	026NR	古墳(土師器)	甕	21.0	—	(10.1)	中々粗	長石・石英・雲母含む、5 m大磨含む	内面:ヨロナダ、オキス、ナダ、磨滅 外面:ヨロナダ、磨滅ハタ、磨滅
269	-	弥生(弥生土師)	高杯	—	—	(11.0)	赤	長石・雲母含む	内面:磨滅 外面:磨滅
270	-	古墳(土師器)	甕	16.8	—	(7.5)	赤	長石・石英・雲母含む、2 m大磨含む	内面:ヨロナダ、板ナダ、ヨロナダ 外面:ヨロナダ、タタキ
271	-	古墳(土師器)	甕	14.0	—	(6.6)	赤	長石・石英・雲母含む、2 m大磨含む	内面:ヨロナダ、オキス、ナダ 外面:ヨロナダ、磨滅ハタ
272	-	古墳(土師器)	甕	14.6	—	(5.9)	赤	長石・石英含む	内面:ヨロナダ、オキス、ナダ 外面:ヨロナダ、タタキナダ、ナダ
273	-	古墳(土師器)	甕	—	5.4	(4.2)	中々粗	長石・石英含む	内面:板ナダ 外面:磨滅、ハタ
274	-	古墳(土師器)	甕	10.4	—	(3.8)	赤	長石・石英・雲母含む、2 m大磨含む	内面:ハタ、ナダ 外面:ハタ、ナダ
275	-	古墳(土師器)	甕	—	4.1	(3.2)	赤	長石・石英含む	内面:板ナダ 外面:磨滅
276	-	古墳(土師器)	高杯	24.6	—	(3.6)	赤	長石・雲母含む	内面:磨滅 外面:ミダキ、磨滅
277	-	古墳(土師器)	高杯	24.0	—	(7.6)	赤	長石・石英・雲母含む、3 m大磨含む	内面:ミダキ 外面:ミダキ
278	-	中世(山系陶)	甕	15.0	6.0	5.2	赤	灰白	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
279	-	中世(山系陶)	甕	16.8	—	(2.5)	赤	灰白	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
280	-	中世(山系陶)	甕	—	8.4	(2.1)	赤	長石含む	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
281	-	中世(山系陶)	甕	—	7.0	(2.3)	赤	明輝灰	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ、タタキ、ナダ
282	-	中世(山系陶)	甕	—	7.2	(2.2)	中々粗	長石・石英含む	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
283	-	中世(山系陶)	甕	—	8.0	(3.3)	赤	長石含む	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
284	-	中世(山系陶)	甕	—	9.2	(2.1)	赤	灰白	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
285	-	中世(山系陶)	甕	—	7.4	(2.7)	粗	長石・石英含む、2m大磨 含む	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
286	-	中世(山系陶)	片口鉢	—	6.8	(2.1)	赤	灰白	内面:ロクロナダ 外面:ロクロナダ
S001	-	不明(石製品)	不明	長7.5	幅2.8	厚1.7	片麻岩	灰	内面:— 外面:—
S002	-	不明(石製品)	不明	長20.6	幅19.4	厚6.8	砂岩	灰	内面:— 外面:—
S003	01SSD	縄文(石器)	石鏃	長2.9	幅1.5	厚0.5	下石石	灰白	内面:— 外面:—
S004	001SD	中世(石製品)	砥石	長16.8	幅8.5	厚7.6	粗粒質砂 岩	灰白	内面:— 外面:—
S005	037SK	古墳(石製品)	不明	長22.2	幅11.7	厚2.2	緑色片岩	緑灰	内面:— 外面:—
S006	002SI	古墳(石製品)	砥石	長4.4	幅5.3	厚3.5	砥石	灰白	内面:— 外面:—
S007	-	不明(石製品)	砥石	長6.3	幅4.6	厚3.0	安山岩	灰白	内面:— 外面:—

寄島遺跡平成28年度16区・下懸遺跡平成28年度16区

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・本文
001	001NR	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(1.9)	中々粗	長石・雲母含む	内面:磨滅 外面:磨滅、板ナダ、磨滅ハタ(磨)、タタキ(磨、→1区目参照)、ハタ
002	001NR	古墳(土師器)	甕	15.7	—	(3.3)	粗	長石・石英・雲母含む、3 m大磨含む	内面:ハタ、磨滅 外面:ヨロナダ、ハタ
003	001NR	古墳(土師器)	甕	16.2	—	(5.8)	中々粗	石英・雲母含む、2m大磨 含む	内面:ミダキ、ハタ、板ナダ(ハタ) 外面:ミダキ、ハタ、ヨロナダ、磨滅
004	001NR	古墳(土師器)	甕	29.1	—	(9.4)	中々粗	長石・石英含む、5m大磨 含む	内面:ヨロナダ、磨滅 外面:ヨロナダ、磨滅
005	001NR	古墳(土師器)	甕	14.4	—	(4.8)	赤	灰白	内面:ヨロナダ、板ナダ一部ハタ 外面:ヨロナダ、磨滅
006	001NR	古墳(土師器)	甕	14.0	—	(4.1)	赤	灰黒	内面:ヨロナダ、板ナダ 外面:ヨロナダ、ハタ、ナダ
007	001NR	古墳(土師器)	甕	16.6	—	(4.1)	赤	長石・雲母含む	内面:ヨロナダ、磨滅 外面:ヨロナダ、磨滅

付表 遺物一覽 11

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
008	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	—	(6.4)	中々粒 長石・石英を含む	灰黒陶	内面:ヨコナガ、ハコ 外面:ハケ→ヨコナガ、ハケ→ヨコナガ→横線刻文、ナダ
009	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	—	(8.3)	細 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄緑	内面:ヨコナガ 外面:横線刻文、ナダ→ナダ
010	001NR	古墳(土師器)	蓋	20.5	—	(7.9)	中々粒 長石・雲母を含む、2mm大礫を含む	灰陶	内面:ハケ→ナダ 外面:ハケ→ナダ、横線刻文
011	001NR	古墳(土師器)	蓋	16.0	—	(5.8)	細 長石・石英・雲母を含む	灰黒陶	内面:ヨコナガ、ハケ→ナダ 外面:ヨコナガ、ナダ
012	001NR	古墳(土師器)	蓋	13.1	—	(10.5)	細 長石・石英・雲母を含む、2mm大礫を含む	新緑灰	内面:ヨコナガ、ヨコナガ→ヨコナガ、ナダ、オオス、板ナダ 外面:ヨコナガ、ハケ
013	001NR	古墳(土師器)	蓋	12.0	—	(12.1)	細 長石・石英・雲母を含む	灰黒陶	内面:ヨコナガ、オオス、ナダ、ハケ 外面:ヨコナガ、細いナダ
014	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	7.4	(21.4)	細 長石・石英・雲母を含む	灰黒陶	内面:オオス、板ナダ 外面:ハケ→ナダ(長径)、ハケ→ナダ
015	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	7.2	(25.4)	細 長石・石英を含む、5mm大礫を含む	灰黒陶	内面:ナダ、オオス、板ナダ、ハダ 外面:ヨコナガ、ハケ→ナダ、ハケ
016	001NR	古墳(土師器)	蓋	11.0	5.5	17.9	中々粒 長石・石英・雲母を含む、4mm大礫を含む	にじみ・黄緑	内面:ナダ、オオス、板ナダ、ハダ 外面:ヨコナガ、細いナダ
017	001NR	古墳(土師器)	蓋	14.4	4.0	29.4	細 長石・雲母を含む	灰陶	内面:ヨコナガ、板ナダ→ナダ 外面:ヨコナガ、ハケ→ナダ、オオス→ナダ
018	001NR	古墳(土師器)	蓋	16.5	6.7	32.8	細	にじみ・黄緑	内面:ヨコナガ、ハダ、ナダ 外面:ヨコナガ、ナダ、ハダ、ナダ、オオス、細いハダ
019	001NR	古墳(土師器)	蓋	12.2	6.6	26.6	中々粒 長石・石英・雲母を含む、3mm大礫を含む	にじみ・黄緑	内面:板ナダ→ヨコナガ、オオス、念部ハダ 外面:ヨコナガ→細目、ナダ→ハダ、雲母、細目、ハダ、オオス
020	001NR	古墳(土師器)	蓋	15.8	7.8	28.0	細 長石・雲母を含む	にじみ・黄緑	内面:ヨコナガ、ナダ、横線、オオス 外面:ヨコナガ、横線刻文、雲母、ナダ
021	001NR	古墳(土師器)	蓋	14.5	7.0	27.1	細 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄緑	内面:円形刻文(長径刻文)、ハダ 外面:ヨコナガ(長径刻文)、ハケ→ヨコナガ、横線刻文
022	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	6.1	(2.4)	中々粒 石英・雲母を含む、2mm大礫を含む	黒陶	内面:板ナダ 外面:板ナダ、ナダ、オオス
023	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	6.1	(2.7)	中々粒 石英・雲母を含む、2mm大礫を含む	灰陶	内面:ハダ、板ナダ 外面:ナダ→横線
024	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	6.7	(3.3)	細 長石・石英・雲母を含む、4mm大礫を含む	灰黒陶	内面:板ナダ、ナダ 外面:ハダ
025	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	7.5	(4.2)	細 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄	内面:板ナダ 外面:ヨコナガ→ハダ
026	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	7.7	(4.1)	細 長石・石英・雲母を含む、3mm大礫を含む	にじみ・黄	内面:板ナダ 外面:細いナダ、オオス→ナダ
027	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	6.0	(2.9)	中々粒 長石・雲母を含む、3mm大礫を含む	黒	内面:板ナダ 外面:板ナダ
028	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	6.8	(3.0)	中々粒 長石・石英・雲母を含む	灰陶	内面:ナダ 外面:ハケ→ナダ→ハダ、ナダ
029	001NR	古墳(土師器)	蓋	—	6.7	(4.8)	細 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄	内面:ナダ、ハダ 外面:ハケ→ナダ、ナダ
030	001NR	古墳(土師器)	甕	18.0	—	(4.8)	細 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄	内面:ヨコナガ、ナダ 外面:横線、ヨコナガ、板ナダ→ナダ
031	001NR	古墳(土師器)	甕	11.0	—	(5.9)	細	灰黒陶	内面:ヨコナガ、ハダ、ナダ 外面:ヨコナガ、オオス
032	001NR	古墳(土師器)	甕	30.0	—	(5.8)	細 長石・石英・雲母を含む、3mm大礫を含む	にじみ・黄緑	内面:ヨコナガ、板ナダ 外面:ヨコナガ、ハケ→ナダ
033	001NR	古墳(土師器)	甕	14.8	—	(7.2)	中々粒 石英・雲母を含む、3mm大礫を含む	にじみ・黄	内面:ヨコナガ、オオス、ナダ、板ナダ 外面:ヨコナガ、ハダ、ナダ
034	001NR	古墳(土師器)	甕	17.2	—	(6.5)	中々粒 3mm大礫を含む	灰黒陶	内面:ヨコナガ、ハダ、ナダ 外面:ヨコナガ、細いハダ
035	001NR	古墳(土師器)	甕	18.0	—	(4.7)	細 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄緑	内面:ハダ、板ナダ 外面:板ナダ
036	001NR	古墳(土師器)	甕	19.6	—	(11.5)	細	灰陶	内面:ハケ→板ナダ 外面:ヨコナガ、ハダ
037	001NR	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(3.3)	中々粒 長石を含む、2mm大礫を含む	灰陶	内面:ハケ→ヨコナガ、ナダ 外面:ヨコナガ、ハダ
038	001NR	古墳(土師器)	甕	20.6	—	(3.3)	細 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄	内面:ハケ→ナダ、ハダ 外面:ハケ→ナダ
039	001NR	古墳(土師器)	甕	17.2	—	(5.5)	細 長石・石英・雲母を含む、2mm大礫を含む	灰黒陶	内面:ヨコナガ、ハダ、板ナダ 外面:ヨコナガ、ハダ
040	001NR	古墳(土師器)	甕	18.8	—	(5.0)	細 長石を含む	灰黒陶	内面:ハダ、板ナダ 外面:ヨコナガ、ハダ
041	001NR	古墳(土師器)	甕	22.8	—	(6.6)	細	灰白	内面:ヨコナガ、板ナダ(長径のみあり) 外面:オオス、ナダ、ハダ
042	001NR	古墳(土師器)	甕	18.2	—	(14.6)	細 長石を含む	灰陶	内面:ヨコナガ、ハダ、ナダ 外面:ヨコナガ、ハダ
043	001NR	古墳(土師器)	甕	19.0	—	(5.0)	細 石英・雲母を含む	にじみ・黄緑	内面:板ナダ、ヨコナガ 外面:ナダ、オオス、板ナダ、ナダ
044	001NR	古墳(土師器)	甕	16.8	—	(16.3)	細 長石を含む	灰黒陶	内面:ヨコナガ、ヨコハダ 外面:ヨコナガ、オオス、オオス→ハダ、ナダ、ハダ
045	001NR	古墳(土師器)	甕	37.0	—	(9.0)	細 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄緑	内面:ヨコナガ、ハダ、板ナダ 外面:ヨコナガ、オオス→ハダ→ナダ、ハダ
046	001NR	古墳(土師器)	甕	18.7	—	(10.8)	細 長石・石英・雲母を含む、2mm大礫を含む	にじみ・黄緑	内面:ハケ→ヨコナガ、オオス、板ナダ(ナダ付) 外面:ハケ→ヨコナガ、横線刻文、ハダ
047	001NR	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(14.6)	細 長石・石英・雲母を含む、3mm大礫を含む	灰陶	内面:ヨコナガ、ハダ、板ナダ 外面:細目、ヨコナガ、ハダ
048	001NR	古墳(土師器)	甕	15.2	—	(5.2)	細 長石・石英を含む	灰陶	内面:ナダ、板ナダ 外面:ナダ、ハダ
049	001NR	古墳(土師器)	甕	19.0	—	(4.8)	中々粒 長石・石英・雲母を含む	にじみ・黄緑	内面:ハダ 外面:ハケ→ナダ
050	001NR	古墳(土師器)	甕	16.4	—	(6.5)	中々粒 長石・石英・雲母を含む、3mm大礫を含む	にじみ・黄緑	内面:オオス、ナダ、ハダ、ナダ 外面:ヨコナガ、ハダ、板ナダ
051	001NR	古墳(土師器)	甕	21.0	—	(4.8)	中々粒 長石・石英・雲母を含む、2mm大礫を含む	にじみ・黄	内面:ヨコナガ、板ナダ、ナダ 外面:ヨコナガ、ハダ、オオス、ナダ
052	001NR	古墳(土師器)	甕	10.4	—	(9.0)	細 長石・石英・雲母を含む、4mm大礫を含む	にじみ・黄緑	内面:板ナダ 外面:ヨコナガ、オオス、ナダ
053	001NR	古墳(土師器)	甕	11.7	5.6	12.1	中々粒 長石・石英を含む	にじみ・黄	内面:ヨコナガ、板ナダ、ハダ 外面:ヨコナガ、ハダ、ナダ
054	001NR	古墳(土師器)	甕	18.0	—	(12.2)	細 長石・石英・雲母を含む、3mm大礫を含む	黒陶	内面:ハダ、板ナダ 外面:ハダ、ハダ(横線)
055	001NR	古墳(土師器)	甕	26.9	—	(21.6)	細 長石・石英を含む	にじみ・黄	内面:板ナダ 外面:ハダ、オオス

付表 遺物一覧12

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
056	001NR	古墳(土師器)	甕	14.0	—	(3.1)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ、オモテ
057	001NR	古墳(土師器)	甕	17.6	—	(4.4)	滑	長石・石英を含む	内面:ヨコナガ、オモテ、ハタ、ナガ 外面:ヨコナガ、ハタ、ナガ
058	001NR	古墳(土師器)	甕	17.6	—	(4.0)	滑	長石・石英・雲母を含む	内面:ヨコナガ、磨縁 外面:ヨコナガ、ハタ、ナガ
059	001NR	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(2.5)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、2mm未満を含む	内面:ヨコナガ 外面:磨縁、ハタ
060	001NR	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(9.8)	滑	長石・石英・雲母を含む	内面:ヨコナガ、オモテ、ハタ 外面:ヨコナガ、オモテ、ハタ
061	001NR	古墳(土師器)	甕	22.0	—	(4.8)	滑	長石・雲母を含む	内面:ヨコナガ、ハタ、ナガ 外面:ヨコナガ、ハタ、ナガ
062	001NR	古墳(土師器)	甕	17.4	—	(2.7)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、4mm未満を含む	内面:ヨコナガ、ハタ 外面:ヨコナガ、ハタ
063	001NR	古墳(土師器)	甕	17.0	—	(8.8)	滑		内面:ヨコナガ、磨いハタ 外面:ヨコナガ、ハタ、オモテ、ナガ
064	001NR	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(9.0)	滑	長石・石英・雲母を含む	内面:ヨコナガ、オモテ、飯ナガ 外面:磨縁、ヨコナガ、ハタ、磨縁
065	001NR	古墳(土師器)	甕	—	3.0	(4.5)	滑	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:ナガ、ハタ 外面:ハタ、ナガ、オモテ
066	001NR	古墳(土師器)	甕	—	5.4	(4.2)	滑	長石・石英・雲母を含む	内面:ナガ、ハタ 外面:ハタ、ナガ、オモテ
067	001NR	古墳(土師器)	甕	—	4.8	(3.7)	滑	長石・石英・雲母を含む、4mm未満を含む	内面:飯ナガ 外面:ナガ、ハタ
068	001NR	古墳(土師器)	甕	13.2	—	(15.9)	滑	長石・雲母を含む	内面:磨いハタ(磨いハタナガ、ハタ、飯ナガ) 外面:ナガ、ハタ
069	001NR	古墳(土師器)	甕	17.0	—	(15.0)	滑	長石・石英・雲母を含む、6mm未満を含む	内面:飯ナガ→ヨコナガ、ナガ 外面:ヨコナガ、飯ナガ
070	001NR	古墳(土師器)	甕	—	—	(12.1)	滑	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:ナガ、オモテ、飯ナガ(ナガナガ) 外面:ナガ、オモテ、飯ナガ
071	001NR	古墳(土師器)	甕	17.8	—	(22.0)	滑	長石・石英・雲母を含む	内面:ヨコナガ、ナガ 外面:ヨコナガ、ナガ
072	001NR	古墳(土師器)	甕	18.0	9.2	26.8	滑	長石・石英・雲母を含む、4mm未満を含む	内面:ヨコナガ、ナガ、ハタ、しぼり、飯ナガ 外面:磨縁、ヨコナガ、ナガ、ハタ、しぼり、飯ナガ
073	001NR	古墳(土師器)	甕	19.6	8.4	27.3	滑	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:ヨコナガ、ナガ 外面:ヨコナガ、ナガ、ハタ
074	001NR	古墳(土師器)	甕	—	7.8	(14.0)	滑	長石・石英・雲母を含む	内面:飯ナガ、ナガ 外面:ハタ、ナガ
075	001NR	古墳(土師器)	甕	—	7.0	(4.0)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、4mm未満を含む	内面:飯ナガ、ヨコナガ 外面:ハタ→ナガ、ヨコナガ
076	001NR	古墳(土師器)	甕	—	7.8	(3.5)	滑		内面:ハタ 外面:オモテ、ヨコナガ
077	001NR	古墳(土師器)	甕	—	7.6	(4.3)	中々焼	長石・雲母を含む、2mm未満を含む	内面:飯ナガ、飯ナガ、オモテ、ナガ 外面:オモテ、ヨコナガ
078	001NR	古墳(土師器)	甕	—	8.5	(5.0)	滑	長石・石英を含む、5mm未満を含む	内面:ハタ、磨ナガ 外面:ハタ→ナガ
079	001NR	古墳(土師器)	甕	—	8.8	(5.2)	中々焼	長石・石英を含む、3mm未満を含む	内面:ハタ、しぼり、ナガ 外面:磨いハタ→ハタ
080	001NR	古墳(土師器)	甕	—	8.0	(5.3)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:ハタ、ナガ 外面:ハタ、ナガ、オモテ
081	001NR	古墳(土師器)	甕	—	8.8	(5.4)	滑	長石・石英・雲母を含む、6mm未満を含む	内面:ハタ、飯ナガ(ハタナガ) 外面:ハタ
082	001NR	古墳(土師器)	甕	—	8.2	(6.2)	滑	長石・石英を含む、2mm未満を含む	内面:飯ナガ、ヨコナガ 外面:ハタ→ナガ、オモテ、ヨコナガ
083	001NR	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(5.5)	滑	長石・石英を含む、2mm未満を含む	内面:飯ナガ 外面:ハタ、ナガ
084	001NR	古墳(土師器)	甕	—	9.2	(6.2)	滑	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:飯ナガ、ナガ、飯ナガ、ヨコナガ 外面:ハタ→ナガ、ヨコナガ
085	001NR	古墳(土師器)	甕	—	9.4	(6.7)	滑		内面:飯ナガ、ナガ、飯ナガ 外面:ハタ→ナガ、ヨコナガ
086	001NR	古墳(土師器)	甕	—	9.6	(6.2)	中々焼	長石・石英・雲母を含む	内面:飯ナガ、ナガ、飯ナガ 外面:ナガ、飯ナガ
087	001NR	古墳(土師器)	甕	—	10.8	(6.8)	滑	長石・石英・雲母を含む、2mm未満を含む	内面:ハタ 外面:ハタ、オモテ
088	001NR	古墳(土師器)	甕	—	8.6	(5.9)	滑	長石・雲母を含む	内面:ナガ、飯ナガ 外面:飯ナガ
089	001NR	古墳(土師器)	甕	—	8.0	(5.2)	滑	長石を含む	内面:飯ナガ 外面:ナガ、オモテ
090	001NR	古墳(土師器)	甕	—	5.3	(4.1)	中々焼	長石・雲母を含む	内面:ナガ、ハタ 外面:ハタ→ナガ
091	001NR	古墳(土師器)	甕	—	7.3	(6.1)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、2mm未満を含む	内面:飯ナガ、オモテ、ナガ、飯ナガ 外面:ハタ
092	001NR	古墳(土師器)	甕	15.2	—	(2.4)	滑	長石・石英・雲母を含む	内面:ヨコナガ、ハタ 外面:ヨコナガ、ハタ、飯ナガ
093	001NR	古墳(土師器)	甕	14.3	—	(4.9)	滑		内面:ヨコナガ、磨縁、ハタ、ハタ→ナガ、オモテ、ナガ 外面:ヨコナガ、磨縁、ハタ、ハタ→ナガ、オモテ、ナガ
094	001NR	古墳(土師器)	甕	14.4	—	(4.6)	滑	長石を含む	内面:ヨコナガ、ハタ、磨いハタ、ハタ→ナガ 外面:ヨコナガ、ナガ、ハタ→ナガ
095	001NR	古墳(土師器)	甕	13.6	—	(5.1)	滑	長石・石英・雲母を含む	内面:ヨコナガ、ハタ→ナガ、ナガ、オモテ 外面:ヨコナガ、磨縁、ハタ、磨縁、磨縁
096	001NR	古墳(土師器)	甕	14.2	—	(10.5)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:オモテ、ナガ、ハタ 外面:磨縁、磨縁、オモテ、ハタ
097	001NR	古墳(土師器)	高杯	28.0	—	(7.1)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:オモテ 外面:ヨコナガ→オモテ
098	001NR	古墳(土師器)	高杯	32.4	—	(6.2)	滑	長石・石英・雲母を含む、3mm未満を含む	内面:オモテ、オモテ、オモテ 外面:ヨコナガ→オモテ、飯ナガ→オモテ
099	001NR	古墳(土師器)	高杯	28.0	—	(9.5)	滑	長石・石英・雲母を含む、5mm未満を含む	内面:ヨコナガ、飯ナガ→オモテ、オモテ 外面:ヨコナガ、オモテ
100	001NR	古墳(土師器)	高杯	23.0	—	(3.9)	中々焼	長石・石英・雲母を含む	内面:磨縁 外面:オモテ
101	001NR	古墳(土師器)	高杯	22.2	—	(5.1)	中々焼	長石・石英・雲母を含む、2mm未満を含む	内面:ヨコナガ、ヨコナガ→オモテ 外面:ヨコナガ、ハタ→オモテ
102	001NR	古墳(土師器)	高杯	24.6	—	(4.3)	滑	長石・石英を含む	内面:磨縁(磨縁ナガ) 外面:オモテ、磨縁
103	001NR	古墳(土師器)	高杯	20.8	—	(7.0)	滑	長石・雲母を含む	内面:オモテ 外面:オモテ

付表 遺物一覧 13

図版番号	遺構	遺構 (種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
104	001NR	古墳 (土師器)	高杯	22.6	—	(9.8)	泥	灰白・黄	内面: ヨコナヅ、タテミゴキ 外面: ヨコナヅ、タテミゴキ
105	001NR	古墳 (土師器)	高杯	22.0	—	(8.0)	泥	灰白	内面: ヨコナヅ、ミゴキ 外面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ
106	001NR	古墳 (土師器)	高杯	24.3	—	(8.7)	泥	灰黄緑	内面: ナメミゴキ+タテミゴキ 外面: ハクヘミゴキ
107	001NR	古墳 (土師器)	高杯	24.6	—	(6.5)	泥	灰赤	内面: ミゴキ 外面: ミゴキ
108	001NR	古墳 (土師器)	高杯	24.4	—	(14.0)	中々粗	灰白・黄	内面: ヨコナヅ、タテミゴキ、しぼり 外面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ
109	001NR	古墳 (土師器)	高杯	23.0	10.4	16.1	中々粗	灰白・黄	内面: ヨコナヅ、オキ1ミ、麻、麻ナド1筋+ハクヘミゴキ、ヨコナヅ 外面: ヨコナヅ、ミゴキ、麻、オキナド1筋、ヨコナヅ
110	001NR	古墳 (土師器)	高杯	22.0	10.8	18.0	泥	灰赤	内面: ヨコナヅ、ミゴキ、しぼり、麻ナド1筋麻、ヨコナヅ 外面: ヨコナヅ、ミゴキ、タテミゴキ、タテミゴキ
111	001NR	古墳 (土師器)	高杯	27.0	12.2	20.5	泥	灰黄	内面: ヨコナヅ、タテミゴキ、しぼり、麻ナド1筋ヨコナヅ 外面: ヨコナヅ、タテミゴキ、ミゴキ
112	001NR	古墳 (土師器)	高杯	26.0	10.0	18.4	泥	灰白・黄緑	内面: ヨコナヅ、タテミゴキ、しぼり、ハク 外面: ヨコナヅ、タテミゴキ、麻、麻織文
113	001NR	古墳 (土師器)	高杯	25.0	11.3	18.2	泥	黄緑	内面: ヨコナヅ、ミゴキ、しぼり、ヨコナヅ 外面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ、ヨコナヅ
114	001NR	古墳 (土師器)	高杯	27.0	11.6	21.0	中々粗	灰黄	内面: ヨコナヅ、麻ナド1筋、しぼり、麻ナド、ナド、ヨコナヅ 外面: ヨコナヅ、麻ナド1筋ミゴキ、麻織麻織文、麻織
115	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	13.0	(9.3)	泥	灰黄	内面: オキナド、ハクヘミゴキ 外面: ハクヘミゴキ
116	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	12.6	(10.3)	泥	灰白・黄	内面: しぼり、麻ナド 外面: タテミゴキ、麻織麻織文
117	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	11.4	(9.4)	泥	灰白・黄緑	内面: ナド、ハク、ヨコナヅ 外面: ミゴキ、ハクヘミゴキ
118	001NR	古墳 (土師器)	高杯	16.8	—	(7.9)	泥	灰白・黄	内面: 麻ナド+ミゴキ 外面: ハクヘミゴキ
119	001NR	古墳 (土師器)	高杯	13.4	—	(4.2)	泥	灰白・黄	内面: ヨコナヅ、タテミゴキ 外面: ヨコナヅ、タテミゴキ
120	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	13.4	(10.0)	泥	灰黄	内面: ハクヘミゴキ、ハク 外面: ミゴキ、ハクヘミゴキ
121	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	12.2	(7.4)	泥	灰白・黄	内面: ミゴキ、しぼり、麻いハク 外面: ミゴキ、タテミゴキ
122	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	13.0	(6.8)	泥	灰白・黄	内面: しぼり、麻いハク 外面: ミゴキ
123	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	12.0	(6.4)	泥	灰白・黄	内面: ナド、ハク、ヨコナヅ 外面: ミゴキ
124	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	11.6	(5.9)	中々粗	灰白・黄	内面: ナド、ヨコナヅ 外面: ヨコナヅ、ヨコナヅ
125	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	12.2	(5.3)	泥	灰赤	内面: しぼり、ハクヘミゴキ 外面: ミゴキ
126	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	15.0	(5.2)	泥	灰白・黄	内面: しぼり、麻いハク、麻ナド、ヨコナヅ 外面: ミゴキ、ヨコナヅ
127	001NR	古墳 (土師器)	高杯	—	12.6	(5.5)	泥	灰白・黄	内面: ナド、麻ナド 外面: 麻ナド、ミゴキ
128	001NR	古墳 (土師器)	壺	7.5	—	(4.7)	泥	灰白・黄緑	内面: 麻織 外面: ミゴキ
129	001NR	古墳 (土師器)	壺	7.0	—	(6.4)	泥	灰白・黄緑	内面: ミゴキ、オキナド、ナド 外面: ミゴキ+麻織
130	001NR	古墳 (土師器)	壺	16.0	—	(5.4)	泥	灰白・黄緑	内面: ヨコナヅ、麻織文 外面: ヨコナヅ、麻織文、ハク
131	001NR	古墳 (土師器)	壺	9.6	—	(4.8)	泥	灰赤	内面: タテミゴキ 外面: タテミゴキ
132	001NR	古墳 (土師器)	壺	10.0	—	(6.5)	泥	灰赤	内面: ヨコナヅ+タテミゴキ、オキナド 外面: ヨコナヅ、タテミゴキ、オキナド
133	001NR	古墳 (土師器)	壺	14.0	—	(5.0)	泥	灰白・黄	内面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ 外面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ、ヨコミゴキ
134	001NR	古墳 (土師器)	壺	12.0	—	(7.6)	中々粗	灰赤	内面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ、ナド 外面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ
135	001NR	古墳 (土師器)	壺	11.8	—	(7.3)	泥	灰白・黄	内面: ミゴキ、麻織、ナド 外面: ミゴキ、麻織、ミゴキ、麻織
136	001NR	古墳 (土師器)	壺	14.8	—	(8.3)	泥	灰白・黄	内面: ミゴキ 外面: ミゴキ
137	001NR	古墳 (土師器)	壺	—	4.0	(3.5)	中々粗	灰赤	内面: ナド、麻ナド 外面: ミゴキ、麻織
138	001NR	古墳 (土師器)	壺	—	3.6	(11.2)	泥	灰赤	内面: オキナド、麻ナド、ハク 外面: ハクヘミゴキ、ヨコミゴキ、ナメミゴキ(麻織)、ナドナ
139	001NR	古墳 (土師器)	壺	—	4.5	(10.3)	泥	灰赤	内面: ナド、オキナド、ナドミ麻ナド 外面: ハクヘミゴキ、麻ナドミナド、ミゴキ
140	001NR	古墳 (土師器)	壺	—	3.6	(12.2)	中々粗	灰黄緑	内面: ナド、オキナド、ナドミハク 外面: ナドミナド、ヨコミゴキ、タテミゴキ
141	001NR	古墳 (土師器)	壺	—	3.0	(13.0)	中々粗	黄	内面: 麻織(ミゴキ) 外面: ハクヘミゴキ+麻織
142	001NR	古墳 (土師器)	壺	8.8	3.5	16.3	泥	灰白・黄緑	内面: タテミゴキ 外面: タテミゴキ、二枚貝刺文、麻織麻織文
143	001NR	古墳 (土師器)	壺	8.2	1.8	18.8	泥	灰白・黄	内面: ヨコナヅ、タテミゴキ 外面: ヨコナヅ、タテミゴキ、ヨコミゴキ
144	001NR	古墳 (土師器)	壺	17.4	9.9	15.2	泥	灰白・黄	内面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ、麻ナドミナド、ナド、オキナド 外面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ、ナド、ハク、麻織麻織文(口縁)
145	001NR	古墳 (土師器)	舞台	15.0	—	(1.7)	泥	灰白・黄	内面: ヨコナヅ、ハク 外面: ヨコナヅ、ハク
146	001NR	古墳 (土師器)	舞台	19.6	—	(5.4)	泥	灰白・黄	内面: ヨコミゴキ、タテミゴキ、ナド、ハク、麻ナド 外面: ナドミナド
147	001NR	古墳 (土師器)	舞台	—	16.0	(8.0)	中々粗	灰白・黄緑	内面: 麻ナド、ヨコナヅ 外面: ハクヘミゴキ+ミゴキ(麻織)、ヨコナヅ
148	001NR	古墳 (土師器)	舞台	—	14.6	(7.1)	泥	灰白・黄	内面: ハク、ヨコナヅ 外面: タテミゴキ、ヨコナヅ
149	001NR	古墳 (土師器)	舞台	20.0	15.0	15.0	泥	灰白・黄緑	内面: ナドミナド、ハク 外面: ミゴキ+ミゴキ
150	001NR	古墳 (土師器)	舞台	20.0	13.6	17.4	泥	灰白・黄	内面: ナドミナド、オキナド+オキナド、オキナド、ナド、ハク、麻ナド 外面: ヨコナヅ+タテミゴキ、オキナド+オキナド、ヨコナヅ+オキナド
151	001NR	古墳 (土師器)	舞台	16.8	12.8	15.9	泥	灰白・黄緑	内面: ナドミナド、麻織、ミゴキ、ナド、しぼり、ヨコナヅ、ヨコナヅ 外面: ヨコナヅ、ハクヘミゴキ、ヨコミゴキ

付表 遺物一覧 14

国庫番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・版文
152	001NR	古墳(土師器)	器台	19.2	13.6	16.5	赤	長石・石灰・雲母を含む。3mm大鱗を含む。	内面:ヨコナガ、縦シナミシボ、ナギ、しぼり、オキナ、ヨコナガ 外面:ヨコナガ、ハナシロシボ、ハナシロシボ、オキナ 底面:ヨコナガ、ハナ
153	001NR	古墳(土師器)	鉢	22.0	—	(10.9)	赤	長石・石灰・雲母を含む。	内面:ヨコナガ、ハナシロシボ、オキナ 外面:ヨコナガ、ハナ
154	001NR	古墳(土師器)	鉢	16.0	3.4	10.7	中々赤	長石・石灰・雲母を含む。4mm大鱗を含む。	内面:ヨコナガ、ハナ、ナギ、オキナ、雲母 外面:縦シナミシボ、横シナミシボ、ハナ、オキナ、板ナギ
155	001NR	古墳(土師器)	鉢	17.4	3.0	10.0	赤	長石・石灰・雲母を含む。3mm大鱗を含む。	内面:ヨコナガ、ナギ、オキナ、ハナ 外面:ヨコナガ、オキナ、ナギ、オキナ(板ナギ状)、ハナ
156	001NR	古墳(土師器)	鉢	24.2	—	(3.4)	赤	長石・石灰・雲母を含む。2mm大鱗を含む。	内面:ヨコナガ、板ナギ 外面:ヨコナガ、ハナ
157	001NR	古墳(土師器)	壺	8.6	—	(4.4)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ミヤナ、オキナ→板ナギ 外面:オキナミヤナ、ナギ
158	001NR	古墳(土師器)	壺	9.0	4.5	9.7	黒	長石・雲母を含む。3mm大鱗を含む。	内面:ヨコナガ、オキナ、板ナギ 外面:ヨコナガ、オキナ
159	001NR	古墳(土師器)	ヒュー チュウ	7.0	5.2	8.8	赤	長石・石灰・雲母を含む。	内面:ヨコナガ、ナギ(横線)、オキナ、ナギ 外面:ヨコナガ、ナギ、オキナ、ナギ、ヨコナガ
160	001NR	古墳(土師器)	鉢	15.3	—	(5.1)	赤	長石・雲母を含む。	内面:ミヤナ 外面:ミヤナ
161	001NR	古墳(土師器)	鉢	9.2	4.3	7.0	中々赤	長石・石灰・雲母を含む。2mm大鱗を含む。	内面:ヨコナガ、板ナギ 外面:ヨコナガ、板ナギ、ナギ
162	001NR	弥生(弥生土器)	高杯	—	—	(3.7)	赤	長石・石灰を含む。5mm大鱗を含む。	内面:タマシボ 外面:縦シナミシボ、横シナミシボ
163	001NR	弥生(弥生土器)	高杯	—	—	(7.2)	中々赤	長石・石灰を含む。	内面:しぼり 外面:ミヤナ、ミヤナ
164	001NR	弥生(弥生土器)	高杯	11.2	—	(3.8)	赤	長石を含む。	内面:ミヤナ、ミヤナ 外面:ヨコナガ、ミヤナ
165	001NR	古代(原形器)	杯身	13.0	—	(4.0)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
166	001NR	古代(原形器)	杯身	—	9.6	(1.9)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
167	001NR	古代(原形器)	杯蓋	—	—	(0.8)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
168	001NR	古代(原形器)	蓋	—	—	(5.2)	赤	長石・石灰・雲母を含む。	内面:ヨコナガ、しぼり、オキナ、ナギ 外面:ヨコナガ、縦シボ、ヨコナガ
169	001NR	古代(原形器)	瓶	長(8.0)	幅(5.0)	厚1.9	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
170	001NR	古代(灰輪陶器)	皿	—	8.0	(1.6)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
171	001NR	古代(灰輪陶器)	碗	—	7.3	(1.7)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
172	001NR	中世(山系陶)	碗	—	6.2	(3.0)	中々赤	長石を含む。	内面:ヨコナガ、静土ナギ 外面:ヨコナガ
173	001NR	中世(山系陶)	碗	—	8.3	(2.1)	中々赤	長石を含む。3mm大鱗を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
174	001NR	中世(山系陶)	碗	—	8.5	(2.7)	中々赤	長石を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
175	001NR	中世(山系陶)	碗	—	6.0	(2.5)	中々赤	長石を含む。	内面:ヨコナガ、ナギ 外面:ヨコナガ
176	001NR	中世(山系陶)	碗	—	6.4	(2.7)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
177	001NR	中世(山系陶)	碗	—	7.2	(2.9)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
178	001NR	中世(山系陶)	碗	—	8.0	(2.3)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
179	001NR	中世(山系陶)	碗	—	6.3	(2.3)	赤	長石・石灰を含む。4mm大鱗を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
180	001NR	中世(山系陶)	碗	—	—	(2.6)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
181	-	中世(山系陶)	碗	—	6.2	(3.6)	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ、静土ナギ 外面:ヨコナガ、ナギ
182	-	中世(山系陶)	碗	13.4	5.7	5.5	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
183	-	中世(山系陶)	碗	14.4	6.1	5.3	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
184	001NR	中世(山系陶)	皿	8.0	5.2	1.7	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
185	001NR	中世(山系陶)	皿	8.4	4.4	1.4	中々赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
186	001NR	中世(山系陶)	皿	8.4	5.5	1.5	中々赤	長石を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
187	001NR	中世(山系陶)	皿	8.6	5.2	1.6	中々赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
188	-	中世(山系陶)	皿	8.6	4.6	1.6	赤	長石・石灰を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
189	001NR	中世(土師器)	鉢	24.0	—	(3.6)	赤	長石・石灰・雲母を含む。	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
190	001NR	不明(陶製品)	陶碑	長5.3	幅2.1	厚1.8	赤	長石・石灰・雲母を含む。	内面:— 外面:—
W-1	001NR	古墳(木製品)	板	91.8	6.7	4.2			
W-2	001NR	古墳(木製品)	埴輪材	188.0	7.8	7.5			
W-3	001NR	古墳(木製品)	角棒	107.5	3.2	2.5			
W-4	001NR	古墳(木製品)	埴輪材	95.5	11.5	10.5			

下懸遺跡平成30年度18A区・18B区

国庫番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・版文
001	002SI	古墳(土師器)	高杯	—	—	(10.0)	赤	長石・石灰・雲母を含む。	内面:タマシボ、縦線、ナギ、板ナギ 外面:タマシボ、縦線

付表 遺物一覽 15

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文
002	002SI	古墳(土師器)	甕	—	8.3	(5.8)	灰	にじみ赤褐色	内面:ヨコナデ 外面:磨滅、多量ハナテ
003	004SI	古墳(土師器)	甕	16.8	—	(2.9)	灰	にじみ赤	内面:敷ナデ→ヨコナデ 外面:ヨコナデ、多量ハナテ→ヨコナデ
004	004SI	古墳(土師器)	甕	12.4	—	(4.4)	灰	灰褐色	内面:ヨコナデ、ヨコハテ、敷ナデ(ハナテ) 外面:ヨコナデ、ハナテ
005	004SI	古墳(土師器)	甕	21.5	—	(4.8)	灰	にじみ赤	内面:ヨコナデ、ハナテ 外面:ハナテ、磨滅、少量ハナテ
006	004SI	古墳(土師器)	甕	—	9.0	(4.5)	灰	灰褐色	内面:敷ナデ→ヨコナデ 外面:磨滅
007	004SI	古墳(土師器)	甕	—	9.8	(3.5)	灰	赤褐色	内面:ナデ、ヨコナデ 外面:多量ハナテ
008	004SI	古墳(土師器)	甕	8.0	—	(2.5)	灰	黄褐色	内面:ヨコナデ、敷ナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、オキニ、ナデ
009	004SI	古墳(土師器)	高杯	—	—	(5.7)	灰	黄褐色	内面:ナデ、オキニ、ナデ 外面:ナデ、オキニ、ナデ
010	008SI	古墳(土師器)	甕	—	6.7	(2.4)	灰	にじみ赤	内面:磨滅 外面:オキニ→ハナテ
011	008SI	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(3.8)	灰	にじみ赤	内面:ヨコナデ、ハナテ、敷ナデ 外面:ヨコナデ、ハナテ
012	008SI	古墳(土師器)	高杯	—	—	(5.0)	灰	にじみ赤	内面:敷ナデ 外面:磨滅線文(3段)
013	008SI	古代(原形器)	杯身	—	6.4	(1.4)	今中粗	灰白	内面:ロコナデ 外面:ロコナデ
014	010SK	古墳(土師器)	甕	—	—	(6.4)	灰	黄褐色	内面:敷ナデ、ナデ 外面:ハナテ→オキニ
015	011SK	古墳(土師器)	甕	—	7.4	(2.9)	今中粗	赤褐色	内面:敷ナデ 外面:敷ナデ、ナデ
016	011SK	古墳(土師器)	甕	14.4	—	(3.0)	灰	にじみ赤	内面:ハナテ→ヨコナデ 外面:ハナテ→ヨコナデ
017	011SK	古墳(土師器)	甕	—	5.0	(2.6)	灰	黄褐色	内面:敷ナデ 外面:ハナテ
018	001SD	古墳(土師器)	高杯	13.0	—	(6.5)	灰	にじみ赤	内面:敷ナデ→ヨコナデ、ナデ 外面:敷ナデ→ヨコナデ、敷ナデ
019	001SD	古墳(土師器)	甕	—	9.3	(5.5)	灰	にじみ赤	内面:敷ナデ、ヨコナデ 外面:ハナテ、磨滅、ヨコナデ
020	001SD	中世(常陸塚南西)	甕	—	—	(3.7)	灰	赤	内面:ナデ 外面:押印文
021	012SD	古墳(土師器)	甕	—	—	(6.4)	灰	にじみ黄褐色	内面:オキニ、ナデ 外面:磨滅羽状文、磨滅線文、ナデニギギ
022	-	古墳(土師器)	甕	16.0	—	(5.9)	灰	黄褐色	内面:磨滅 外面:磨滅
023	-	古墳(土師器)	甕	16.2	—	(2.2)	灰	にじみ赤	内面:ヨコナデ、磨滅 外面:ヨコナデ、ナデ
024	-	古墳(土師器)	甕	21.0	—	(2.0)	灰	にじみ黄褐色	内面:磨滅 外面:磨滅、ヨコナデ、ハナテ→ナデ
025	-	古墳(土師器)	甕	16.4	—	(6.3)	灰	灰褐色	内面:ニギギ、オキニ、敷ナデ 外面:ニギギ、ハナテ、オキニ、敷ナデ、磨滅線文、ハナテ、磨滅線文
026	-	古墳(土師器)	甕	10.6	—	(2.7)	灰	にじみ赤	内面:ニギギ、オキニ、ナデ 外面:ハナテ羽状文、ニギギ
027	-	古墳(土師器)	甕	12.0	—	(2.4)	灰	にじみ赤	内面:ニギギ、磨滅 外面:ハナテ、オキニ、ナデ
028	-	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(2.4)	灰	にじみ赤	内面:磨滅 外面:ヨコナデ
029	-	古墳(土師器)	甕	14.2	—	(4.4)	灰	赤褐色	内面:磨滅 外面:ヨコナデ
030	-	古墳(土師器)	甕	—	—	(14.7)	灰	にじみ赤	内面:磨滅(ナデ?) 外面:磨滅羽状文、磨滅線文、赤部→ハナテ→オキニ
031	-	古墳(土師器)	甕	—	—	(6.7)	灰	赤褐色	内面:磨滅 外面:磨滅羽状文、赤部→ハナテ
032	-	古墳(土師器)	甕	—	7.0	(8.9)	灰	にじみ赤	内面:敷ナデ 外面:ニギギ、敷ナデ
033	-	古墳(土師器)	甕	—	5.4	(2.2)	灰	にじみ赤	内面:敷ナデ、磨滅 外面:磨滅、オキニ
034	-	古墳(土師器)	甕	—	6.8	(1.8)	灰	にじみ赤	内面:オキニ、磨滅 外面:オキニ、磨滅
035	-	古墳(土師器)	甕	—	4.4	(2.2)	灰	にじみ赤	内面:ナデ 外面:ハナテ、ナデ
036	-	古墳(土師器)	甕	—	7.0	(2.1)	灰	にじみ黄褐色	内面:敷ナデ、ハナテ 外面:敷ナデ、ハナテ、磨滅
037	-	古墳(土師器)	甕	15.2	—	(2.1)	灰	にじみ赤褐色	内面:ハナテ 外面:ハナテ→ヨコナデ、ハナテ
038	-	古墳(土師器)	甕	24.0	—	(5.4)	灰	にじみ赤	内面:ヨコナデ、オキニ、ナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハナテ、磨滅
039	01SSD	古墳(土師器)	甕	17.9	—	(5.8)	灰	灰白	内面:磨滅、敷ナデ 外面:磨滅、ハナテ
040	-	古墳(土師器)	甕	17.6	—	(4.2)	灰	にじみ黄褐色	内面:磨滅 外面:敷ナデ→ナデ、ヨコナデ
041	-	古墳(土師器)	甕	18.0	—	(3.1)	灰	赤褐色	内面:ヨコナデ、ハナテ、磨滅 外面:磨滅、敷ナデ
042	-	古墳(土師器)	甕	15.2	—	(4.4)	今中粗	灰褐色	内面:ハナテ、オキニ、敷ナデ 外面:ハナテ、磨滅
043	-	古墳(土師器)	甕	15.0	—	(4.5)	灰	にじみ赤	内面:ヨコナデ、ヨコハテ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハナテ
044	-	古墳(土師器)	甕	17.6	—	(5.7)	灰	にじみ赤褐色	内面:ヨコナデ、ハナテ、オキニ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハナテ
045	-	古墳(土師器)	甕	21.4	—	(8.6)	灰	灰褐色	内面:ヨコナデ、磨滅、敷ナデ、ナデ 外面:ハナテ→ヨコナデ、ハナテ磨滅、ハナテ
046	-	古墳(土師器)	甕	25.0	—	(8.3)	灰	赤褐色	内面:ヨコナデ、磨滅、ナデ 外面:ヨコナデ、ハナテ
047	-	古墳(土師器)	甕	22.0	—	(7.9)	灰	赤褐色	内面:ヨコナデ、敷ナデ、オキニ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハナテ
048	-	古墳(土師器)	甕	14.4	—	(3.4)	灰	にじみ赤	内面:ヨコナデ、ハナテ 外面:ハナテ、磨滅
049	-	古墳(土師器)	甕	18.0	—	(3.5)	灰	にじみ赤	内面:ヨコナデ、ヨコハテ、敷ナデ、磨滅 外面:ヨコナデ、ハナテ、磨滅

付表 遺物一覧 16

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調査・解説
050	-	古墳(土師器)	甕	17.0	--	(4.4)	赤	紅石・黒母倉含む	内面:ヨコナガ、ケズリ 外面:ヨコナガ、オオムス、ナガ
051	-	古墳(土師器)	甕	11.8	--	(3.5)	赤	黒母倉含む	内面:ハク、磨滅 外面:ハク、磨滅
052	-	古墳(土師器)	甕	15.0	--	(4.4)	中～黒	黒石・黒母倉含む	内面:ヨコナガ、ハク、黒ナガ 外面:ヨコナガ、ハク
053	-	古墳(土師器)	甕	18.8	--	(2.7)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～3mm大磨り含む	内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ
054	-	古墳(土師器)	甕	--	5.0	(3.0)	灰白	黒石・黒母倉含む、2mm大磨り含む	内面:黒ナガ 外面:黒ナガ
055	-	古墳(土師器)	甕	--	4.0	(2.7)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、3 mm大磨り、赤褐色粘土含む	内面:黒ナガ、オオムス 外面:黒ナガ、ナガナ
056	-	古墳(土師器)	甕	--	5.6	(4.0)	赤	黒石・石灰含む	内面:黒ナガ、オオムス、磨滅 外面:ハク、磨滅
057	-	古墳(土師器)	甕	--	6.0	(3.3)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～3mm大磨り多量含む	内面:ミダキ 外面:ミダキ
058	-	古墳(土師器)	甕	--	6.2	(3.5)	赤	黒石・石灰含む	内面:黒ナガ、磨滅 外面:黒ナガ、オオムス、ハクナガ、磨滅
059	-	古墳(土師器)	甕	--	6.8	(4.0)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、4 mm大磨り含む	内面:ハク、磨滅 外面:ハク、磨滅
060	-	古墳(土師器)	甕	--	8.0	(4.0)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 mm白色粘土含む	内面:黒ナガ、ヨコナガ 外面:ハク、ヨコナガ
061	-	古墳(土師器)	甕	--	10.0	(3.2)	赤	黒石・黒母倉含む	内面:ヨコナガ、ヨコナガ 外面:ハク、ヨコナガ
062	-	古墳(土師器)	甕	--	10.0	(5.0)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む	内面:黒ナガ、ナガ、ヨコナガ 外面:黒ナガ、磨滅、ヨコナガ
063	-	古墳(土師器)	甕	--	8.6	(5.5)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む	内面:オオムス、ナガ、黒ナガ、ナガ 外面:黒いヨコナガナガ
064	-	古墳(土師器)	甕	--	9.0	(5.5)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、3 mm大磨り含む	内面:ハク、磨滅 外面:黒いハク
065	-	古墳(土師器)	甕	--	10.4	(5.2)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、4 mm大磨り含む	内面:ミダキ 外面:ハクナガ
066	-	古墳(土師器)	甕	--	9.1	(7.4)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む	内面:黒ナガ、オオムス、ナガ 外面:黒ナガ、ヨコナガ
067	-	古墳(土師器)	甕	13.6	9.0	19.9	中～黒	黒石・石灰・黒母倉含む、5 mm大磨り含む	内面:ヨコナガ、ケズリ、黒ナガ 外面:ヨコナガ、黒ナガ、磨滅、ナガ
068	-	古墳(土師器)	高杯	20.0	--	(4.1)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～2mm大磨り含む、赤褐色粘土含む	内面:ミダキ、磨滅 外面:ハク、磨滅
069	-	古墳(土師器)	高杯	28.0	--	(6.1)	中～黒	黒石・石灰・黒母倉含む、2 mm大磨り含む	内面:ミダキ 外面:ミダキ
070	-	古墳(土師器)	高杯	--	--	(6.4)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～2mm大磨り、赤褐色粘土上	内面:磨滅、ミダキ 外面:磨滅
071	-	古墳(土師器)	高杯	27.3	15.3	27.4	中～黒	黒石・石灰・黒母倉含む、4 mm大磨り含む	内面:ミダキ、磨滅、黒ナガ 外面:ミダキ、磨滅、磨滅継ぎ文
072	-	古墳(土師器)	高杯	25.0	--	(7.7)	赤	黒石・黒母倉含む、1～2mm 大磨り含む	内面:ミダキ 外面:ミダキ
073	-	古墳(土師器)	高杯	--	--	(5.4)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、3 mm大磨り含む	内面:ミダキ、しばり、ナガ 外面:磨滅継ぎ文、ナガ
074	-	古墳(土師器)	高杯	--	--	(5.8)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～5mm大磨り、赤褐色粘土含む	内面:しばり、ナガ 外面:磨滅継ぎ文、ミダキ
075	-	古墳(土師器)	高杯	--	--	(6.1)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～3mm大磨り含む	内面:ミダキ、しばり、磨滅 外面:ミダキ
076	-	古墳(土師器)	高杯	--	--	(5.9)	赤	黒石・石灰含む	内面:ミダキ、しばり、ナガ 外面:ヨコナガ、オオムス、ミダキ
077	-	古墳(土師器)	高杯	--	11.6	(5.4)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～3mm大磨り含む	内面:黒ナガ、ナガ、ヨコナガ 外面:ハクナガ、ヨコナガ
078	-	古墳(土師器)	高杯	--	--	(4.6)	赤	黒石・石灰含む、3mm大磨り 含む	内面:黒ナガ、磨滅 外面:黒ナガ
079	-	古墳(土師器)	高杯	--	10.8	(5.0)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～3mm大磨り含む	内面:しばり、黒ナガ、ヨコナガ 外面:オオムス、ヨコナガ
080	-	古墳(土師器)	甕	8.2	--	(4.9)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～2mm大磨り、赤褐色粘土含む	内面:ミダキ、磨滅、ナガ 外面:ミダキ
081	-	古墳(土師器)	甕	9.6	--	(4.5)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～2mm大磨り含む	内面:ヨコミダキナガ、オオムス、ナガ 外面:ミダキナガ
082	-	古墳(土師器)	甕	11.8	--	(7.0)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～4mm大磨り含む	内面:オオムス、磨滅 外面:オオムス、磨滅継ぎ文、磨滅
083	-	古墳(土師器)	甕	11.4	--	(2.7)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～4mm大磨り含む	内面:ナガナガ、磨滅 外面:磨滅
084	-	古墳(土師器)	甕	--	--	(4.0)	中～黒	黒石・黒母倉含む	内面:オオムス 外面:ミダキ
085	-	古墳(土師器)	甕	--	4.3	(2.2)	赤	黒石・石灰含む、2mm大磨り 含む	内面:オオムス、黒ナガ 外面:オオムス、黒ナガ
086	-	古墳(土師器)	甕	--	5.2	(1.7)	赤	黒石・石灰含む、2mm大磨り 含む	内面:ハク、黒ナガ 外面:ハク
087	-	古墳(土師器)	甕	--	5.4	(2.5)	中～黒	石灰・黒母倉含む、2mm大磨り 含む	内面:ナガ 外面:ナガ
088	-	古墳(土師器)	甕	10.0	4.3	12.7	赤	黒石・石灰含む	内面:ミダキ、ナガ、ハク 外面:ミダキ、ナガ
089	-	古墳(土師器)	鉢	16.2	--	(3.0)	赤	石灰・黒母倉含む、1～3mm 大磨り含む	内面:ハクナガナガ、オオムス、ナガ 外面:ヨコナガ、ハク
090	-	古墳(土師器)	鉢	--	4.6	(3.6)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～3mm大磨り、赤褐色粘土含む	内面:黒ナガ 外面:黒ナガ
091	-	古墳(土師器)	鉢	10.8	--	(4.6)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～4mm大磨り含む	内面:ヨコナガ、黒ナガ、ナガ 外面:ヨコナガ、オオムス、ナガ
092	-	古墳(土師器)	不明	--	6.8	(4.0)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～4mm大磨り含む	内面:ナガ、磨滅、ナガ 外面:ハクナガヨコナガ
093	-	古墳(土師器)	器台	8.5	9.4	6.0	粗	黒石・石灰含む、3mm大磨り 含む	内面:磨滅 外面:磨滅
094	-	古墳(土師器)	器台	8.8	--	(7.2)	赤	黒石・石灰・黒母倉含む、1 ～3mm大磨り多量含む	内面:磨滅、しばり、ハク 外面:ミダキ、磨滅
095	-	弥生(弥生土器)	高杯	22.0	--	(3.8)	赤	黒石・黒母倉含む、2mm大磨り、赤褐色粘土含む	内面:ヨコナガ、ミダキ 外面:ヨコナガ、ミダキ、ナガ
096	-	弥生(弥生土器)	高杯	--	--	(7.8)	赤	黒石・石灰含む、5mm大磨り 含む	内面:磨滅、黒ナガ 外面:磨滅継ぎ文
097	-	古代(原形器)	杯身	13.0	--	(3.4)	赤		内面:ヨコナガ 外面:ヨコナガ

付表 遺物一覧 17

図版番号	遺構	時代(種別)	器種	口径	底径	器高	胎土	色調	調整・施文	
098	-	古代(須恵器)	杯身	11.4	6.6	3.3	泥	灰石・石英含む、1~2mm大礫含む	灰白	内面:コクロナガ、磨練 外面:コクロナガ、手押ちへツナズリ
099	-	古代(須恵器)	杯身	11.9	8.3	4.0	中々粗		灰	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
100	-	古代(須恵器)	壺	--	4.9	(3.7)	泥	1mm程度含む	幅広い	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ、回転ケズリ
101	-	古代(土製品)	瓦	長21.0	幅21.0	厚2.5	泥	灰石含む	灰白	内面:赤目 外面:黒目多量
102	-	古代(土製品)	瓦	長15.4	幅11.7	厚1.9	泥	灰石・石英・雲母含む	黄	内面:赤目 外面:磨練
103	-	古代(灰輪陶器)	碗	14.9	--	(2.7)	泥		灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
104	-	古代(灰輪陶器)	碗	15.0	--	(2.6)	泥		灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
105	-	古代(灰輪陶器)	碗	--	8.0	(1.8)	泥		灰白	内面:コクロナガ 外面:ケズリ→ツナガ
106	-	古代(灰輪陶器)	碗	--	7.0	(2.3)	泥		灰白	内面:コクロナガ 外面:ケズリ→ロクロナガ
107	-	古代(灰輪陶器)	碗	--	6.9	(1.7)	泥		灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
108	-	古代(灰輪陶器)	皿	14.0	7.2	3.0	中々粗	灰石含む、2mm大礫含む	灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
109	-	古代(須恵器)	瓶	長4.5	幅3.0	厚1.2	泥	灰石・石英・雲母含む、1~2mm大礫含む	にじみ・黄緑	内面:-- 外面:オサエ、ナガ
110	-	中世(山岳碗)	碗	14.8	--	(3.8)	泥	灰石含む、1~5mm大礫含む	灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
111	-	中世(山岳碗)	碗	--	5.2	(1.1)	泥	石英含む、5mm大礫含む	灰白	内面:コクロナガ、静止ナガあり 外面:コクロナガ
112	-	中世(山岳碗)	碗	--	6.6	(2.1)	泥	石英含む、2mm大礫含む	灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
113	-	中世(山岳碗)	碗	--	6.4	(2.4)	泥		灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
114	-	中世(古瀬川陶器)	碗	--	7.6	(2.2)	泥		灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ
115	-	近世(陶器)	皿	25.0	--	(3.6)	泥	2mm大礫含む	灰白	内面:コクロナガ 外面:コクロナガ

写真図版

遺構 写真図版 1 ～ 28

遺物 写真図版 29 ～ 36

姫下遺跡（平成 26 年度）

写真図版 1



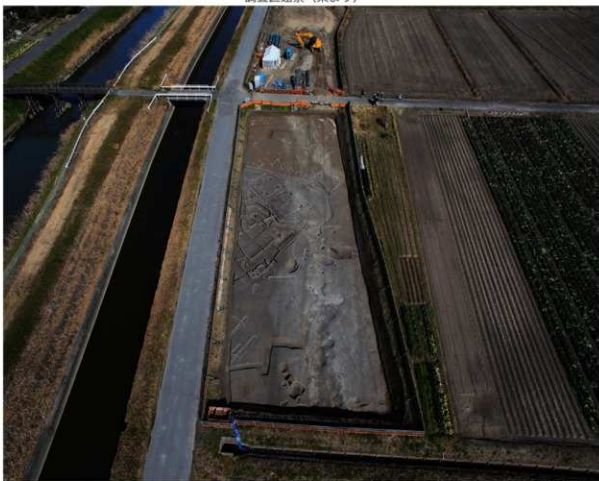
調査区遠景（北より）



上面完掘状況（南より）



調査区透景（東より）



下面完掘状況（北より）



下面完掘状況（真上）



241SI・242SI・243SI（南東より）



244SI（北西より）



竪穴建物群（北西より）



097SI (東より)



107SI (東より)



127SI (北西より)



152SI (南東より)



159SI (南東より)



021SK (東より)



0247SK 断面 (東より)



279SB (北より)



280SB（東より）



281SB（北より）



013SK（南より）



112SD（南より）



002SK（東より）



003SD（西より）



005SD（東より）



006SD（北より）



調査区全景（真上）



022SI（南西より）



034SI（南西より）



012SK（北より）



004SK 遺物出土状況（北より）



023SE 断面（南より）



029SE 断面（北より）



039NR 断面（東より）



A区全景（南より）



A区南半（北より）



A 区北半（北より）



A 区 006SD（南より）



A 区 32SI (東より)



A 区 045SI (西より)



A 区 006SD 西壁断面 (東より)



A 区 025SD (北より)



A 区 026NR 南岸 (南東より)



A 区 026NR 北岸 (南東より)



A 区 026NR 遺物出土状況 (南より)



B 区 005SI (北より)



B区全景（北より）



B区全景（南より）



B区北部遺構群（真上）



B区南半溝群（北より）



B区 010SI (北より)



B区 014SI (南より)



B区 066SD (北より)



B区 100SD (南より)



B区 100SD 西壁断面 (北より)



B区 002SK (北より)



C区 002SI (東より)



C区 005SI 炭化物出土状況 (東より)



C区遠景（東より）



C区全景（真上）



C区 005SI（南より）



C区 050SK 断ち割り状況（西より）



C区 051SK 断ち割り状況（南より）



C区 056SK 断面（南より）



C区 017SI（北より）



C区 030SL（北より）



C区 001SD（北より）



D区遠景（東）



D区全景（北より）



D区 001SD（南より）



D区 013SD（北より）



E区 023SI（北より）



E区 026SI（西より）



E区 036SI（西より）



E区 002SD（北より）



E区 003SD・004SD（北より）



E 区遺景（北より）



E 区全景（南より）



E 区 O21SD (西より)



E 区調査区中央部 (西より)



調査区遠景（北より）



調査区全景（北より）



西壁南部断面（北東より）



西壁北部断面（南東より）



西側拡張区（北東より）



001NR 遺物出土状況（北東より）



001NR 土器出土状況（東より）



木製品出土状況（北西より）



001NR 検出状況（東より）



001NR 土器出土状況（南より）



001NR 土器出土状況（南西より）



001NR 土器出土状況（北東より）



001NR 土器出土状況（東より）



001NR 土器出土状況（北より）



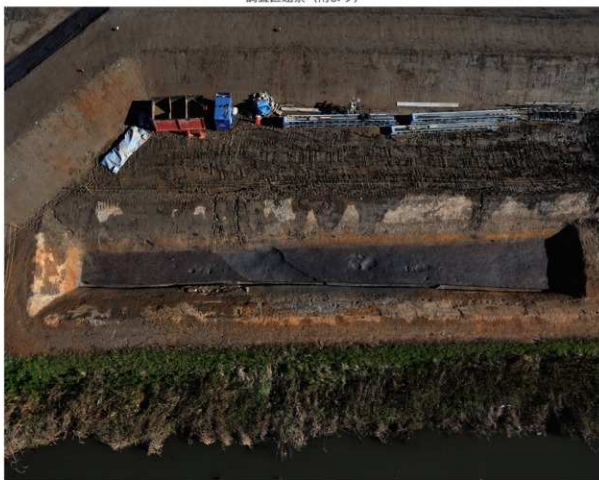
001NR 土器出土状況（南西より）



001NR 土器出土状況（南より）



調査区透景（南より）



A区上面（真上）



A区下面 (西より)



B区全景 (東より)



土器出土状況（南西より）



土器出土状況（北より）



土器出土状況（北より）



001SD（北東より）



002SI (西より)



004SI (西より)



006SI (東より)



008SI (南東より)



021SI (西より)



007SK (東より)



B区北部溝群 (西より)



001SD (北より)







143



159



177



183



190



209



262



S-2



S-3



S-4



S-5



S-7



14



15



16



17



18



19



20



21









報告書抄録

ふりがな	ひめしたいせきに・よせじまいせきに・しもかけいせきさん
書名	姫下遺跡Ⅱ・寄島遺跡Ⅱ・下懸遺跡Ⅲ
副書名	
巻次	1
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第223集
編著者名	酒井俊彦
編集機関	公益法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
所在地	〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24 TEL0567(67)4161
発行年月日	2024年3月31日

所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ひめしたいせき 姫下遺跡	あんにょうしおがわちよう 安城市小川町	23213	540121	34° 54′ 02″	137° 05′ 49″	2014年11月～ 2015年3月 2021 年7月～9月	1820㎡	中小河川改良事業 (鹿乗川) 緊急防災対策河川 事業(鹿乗川)
よせじまいせき 寄島遺跡			540124	34° 54′ 30″	137° 05′ 45″	2014年6月～12月 2017年1月～2月	3208㎡	中小河川改良事業 (鹿乗川)
しもかけいせき 下懸遺跡			540127	34° 54′ 20″	137° 45′ 43″	2017年1月～2月 2018年11月～ 2019年1月	1152㎡	中小河川改良事業 (鹿乗川)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
姫下遺跡	集落遺跡	古墳時代	竪穴建物	土器	
寄島遺跡			土坑	木製品	
下懸遺跡			溝 方形周溝墓 井戸 自然河道	土製品 石製品	

文書番号	遺跡名	発掘届	発掘許可	調査終了届	遺物発見届	埋蔵文化財 保管証	埋蔵文化財 認定
		姫下遺跡	25埋セ155 21.3.25	26教生19 26.4.4	26埋セ137 27.3.11	26埋セ137 27.3.11	26埋セ137 27.3.11
姫下遺跡		3埋セ9 3.4.8	3文芸378 3.4.27	3埋セ95 3.9.21	3埋セ95 3.9.21	3埋セ95 3.9.21	3文芸1577 3.10.4
寄島遺跡		25埋セ153 26.3.25	26教生138 26.4.11	26埋セ102 26.12.17	26埋セ102 26.12.17	26埋セ102 26.12.17	26教生2512 27.1.27
寄島遺跡		28埋セ83 28.12.20	28教生2979 28.12.28	28埋セ104-1 29.2.14	28埋セ104-3 29.2.14	28埋セ104-2 29.2.14	28教生3463 29.2.27
下懸遺跡		28埋セ82 28.12.20	28教生2978 28.12.28	28埋セ103-1 29.2.14	28埋セ103-3 29.2.14	28埋セ103-2 29.2.14	28教生3464 29.2.27
下懸遺跡		30埋セ70 30.9.27	30教生2497 30.10.25	30埋セ124 31.2.20	30埋セ124 31.2.20	30埋セ124 31.2.20	30教生4011 31.3.11

要約	<p>姫下遺跡・寄島遺跡・下懸遺跡は矢作川右岸の沖積地に立地する。鹿乗川流域に所在し、鹿乗川流域遺跡群と呼称される。当センターはこの遺跡群を平成10年度から調査を行なっており、今回平成26年から令和3年間に5回の調査を行なった。この調査によってこれまで確認されてきた古墳時代前期の居住域と墓城の展開および旧河道の状況がより明らかになった。</p>
----	---

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第223集

姫下遺跡Ⅱ・寄島遺跡Ⅱ・下懸遺跡Ⅲ

2024年3月31日

編集・発行 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

印刷 西濃印刷株式会社